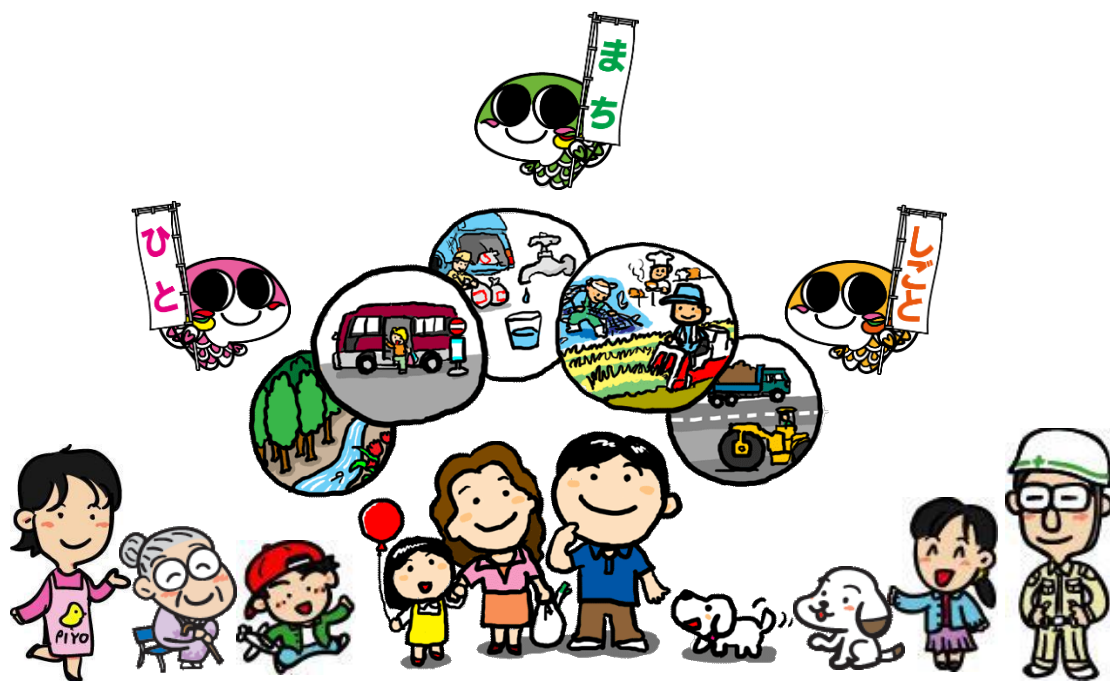


行政評価報告書

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査結果【政策評価】

大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略（後期基本計画実施計画）における
重要業績評価指標（KPI）の達成状況【施策評価】

大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略（後期基本計画実施計画）における
指標の達成状況【事業評価】



大 竹 市

令和3年（2021年）11月作成

目 次

第1章 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査報告書

第1節 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査項目	4
4 その他	4
第2節 アンケート分析（一般回答分）	5
1 総括（全体）分析	5
（1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について	8
（2）市民自治（問2）について	11
2 属性別分析	12
（1）性別	12
（2）年齢	14
（3）住所	17
（4）居住年数	18
（5）今後の居住意向	20
3 「わがまちプラン」中の数値の動き	22
（1）項目ごとの推移	22
（2）設問ごとの推移	22
第3節 アンケート分析（モニター回答分）	26
1 総括（全体）分析	26
（1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について	27
（2）市民自治（問2）について	29
（3）一般の回答との比較	29
第4節 自由記述「幸せ感に関するご意見、ご提案」など	30
1 個別の設問に関する回答（問1）	30
2 市民自治について（問2）	37
3 心配に思っていることと解消する方法（問3）	39
4 大竹市での「イチオシ」（問4）	47
5 幸せを感じる時（問5）	49
第5節 資料	53
1 アンケート調査用紙（一般用）	53
2 アンケート調査用紙（モニター用）	61

第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（K P I）及び指標の達成状況

第1節 概要	67
1 内容	67
2 数値の見方	67
第2節 重要業績評価指標（K P I）の達成状況	68
第3節 指標の達成状況	82



第1章 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査報告書

第1節 調査の概要

1 調査の目的

このアンケートは、市民の誇りや幸せ感を高め、第五次大竹市総合計画「わがまちプラン（平成23年3月策定）」のまちづくりのテーマである「大竹市に住んでよかった」と思えるようなまちづくりに役立てるため、本市の政策評価として平成23年度から実施しています。

また、このアンケートは、市民が心配や不安に思っていることを解消することで、市民の幸せ感に関するポイントを上げることを目標に、モニター登録*いただいた市民の皆さんのご協力も得ながら、わがまちプランの計画期間中（平成23年度～令和2年度）に継続して実施します。

モニター登録・・・モニターは当初、前期・後期の5年ずつで考えていましたが、前年比較を続けるにあたっては、10年間同じ人をお願いするほうが、長い間の動きが分かることから、平成27年度分以降は、原則平成26年度に引き続き、モニターとして協力いただける方にお送りしています。

※ 転出等によりモニターから除いている場合があります。

※ モニター用アンケートを送付したのは、181人です。

2 調査の内容

（1）調査対象

大竹市内に在住する満18歳以上の男女（住民基本台帳法に基づく登録者）

（2）標本数

- ①一般 1,500人
- ②モニター 181人

（3）抽出方法

- ①一般
地区別層化抽出：1,000人
20歳以上50歳未満から抽出：500人
（いずれも令和3年6月1日現在）
- ②モニター
モニター登録者181人

（4）調査方法

調査用紙の発送・回収ともに郵送方式

（5）調査期間

令和3年6月12日（土）～6月28日（月）

（6）有効回答数及び回収率

- ①一般 334件（22.3%）
- ②モニター 118件（65.2%）

(7) 回答者構成

①一般

属 性		人 数	構成割合
性別	男	142 人	42.5 %
	女	191 人	57.2 %
	無回答	1 人	0.3 %
年齢	18～29歳	44 人	13.2 %
	30～39歳	53 人	15.9 %
	40～49歳	55 人	16.5 %
	50～59歳	55 人	16.5 %
	60～69歳	41 人	12.3 %
	70歳以上	85 人	25.4 %
	無回答	1 人	0.3 %
住所	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	122 人	36.5 %
	西栄、南栄、東栄、北栄	58 人	17.4 %
	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	86 人	25.7 %
	阿多田	3 人	0.9 %
	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷	5 人	1.5 %
	玖波、玖波町、湯舟町	52 人	15.6 %
	松ヶ原町	1 人	0.3 %
	栗谷町	5 人	1.5 %
	無回答	2 人	0.6 %
何年 で前 から	3年未満	37 人	11.1 %
	3～10年	62 人	18.6 %
	11～20年	55 人	16.5 %
	21～30年	57 人	17.1 %
	31～40年	43 人	12.9 %
	41年以上	78 人	23.4 %
	無回答	2 人	0.6 %
大竹に 住むか	ずっと住み続けるつもり	210 人	62.9 %
	当分の間は住むつもり	63 人	18.9 %
	将来的には転居したい	23 人	6.9 %
	近いうちには転居するつもり	1 人	0.3 %
	わからない	33 人	9.9 %
	無回答	4 人	1.2 %

②モニター

属 性		人 数	構成割合
性別	男	56 人	47.5 %
	女	60 人	50.8 %
	無回答	2 人	1.7 %
年齢	18～29歳	0 人	0.0 %
	30～39歳	7 人	5.9 %
	40～49歳	16 人	13.6 %
	50～59歳	11 人	9.3 %
	60～69歳	20 人	16.9 %
	70歳以上	63 人	53.4 %
	無回答	1 人	0.8 %
住所	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	53 人	44.9 %
	西栄、南栄、東栄、北栄	17 人	14.4 %
	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	29 人	24.6 %
	阿多田	1 人	0.8 %
	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷	1 人	0.8 %
	玖波、玖波町、湯舟町	13 人	11.0 %
	松ヶ原町	0 人	0.0 %
	栗谷町	3 人	2.5 %
	無回答	1 人	0.8 %
何年 で前 から	3年未満	1 人	0.8 %
	3～10年	8 人	6.8 %
	11～20年	11 人	9.3 %
	21～30年	17 人	14.4 %
	31～40年	14 人	11.9 %
	41年以上	66 人	55.9 %
	無回答	1 人	0.8 %
大竹に 住むか	ずっと住み続けるつもり	91 人	77.1 %
	当分の間は住むつもり	15 人	12.7 %
	将来的には転居したい	4 人	3.4 %
	近いうちには転居するつもり	0 人	0.0 %
	わからない	6 人	5.1 %
	無回答	2 人	1.7 %

3 調査項目

(1) 回答者の属性

性別、年齢、住所、大竹市居住年数、今後の居住意向

(2) 大竹市について普段思っていること（問1）

次のわがまちプランの基本目標に関連する項目①～⑤について、それぞれ設定した幸せ感の尺度から、各項目3設問について、回答をいただきました。

※ 一般については、「はい」・「いいえ」の2択及び自由記述。

※ モニターについては、特に1年前と比べてどうかという視点で、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」の5択。

【幸せ感の尺度】

①項目「生活基盤が整ったまち」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」）

②項目「安全なまち」について

（幸せ感の尺度：「ほっとする」、「ありがたい」）

③項目「安心できるまち」について

（幸せ感の尺度：「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」）

④項目「心にゆとりを感じるまち」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」）

⑤項目「大竹を愛する人づくり」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「好きだ」）

(3) 「市民自治」についての考え（問2）

※ 一般、モニターいずれも問1と同様

(4) 普段の生活で心配なことと、その解消方法（問3）

※ 一般のみ自由記述

(5) 大竹市での「イチオシ」について（一般…問4、モニター…問3）

※ 一般、モニターいずれも自由記述

(6) 幸せを感じる時（問5）

※ 一般のみ自由記述

4 その他

百分率は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しており、百分率の合計が100%としない場合があります。性別や年齢などの基本情報などが未記入の場合は、その条件による分析ができず、数値に反映することができないため、回答者総数と回答数が一致しない場合があります。また、属性別調査の分類で回答数が少ない場合、傾向などが把握できないため、省略している場合があります。

平成26年度までは、記述時点での状況を回答していただき、実施年度としていましたが、平成27年度からは、前年度を振り返って回答していただくよう変更しています。



第2節 アンケート分析（一般回答分）

1 総括（全体）分析

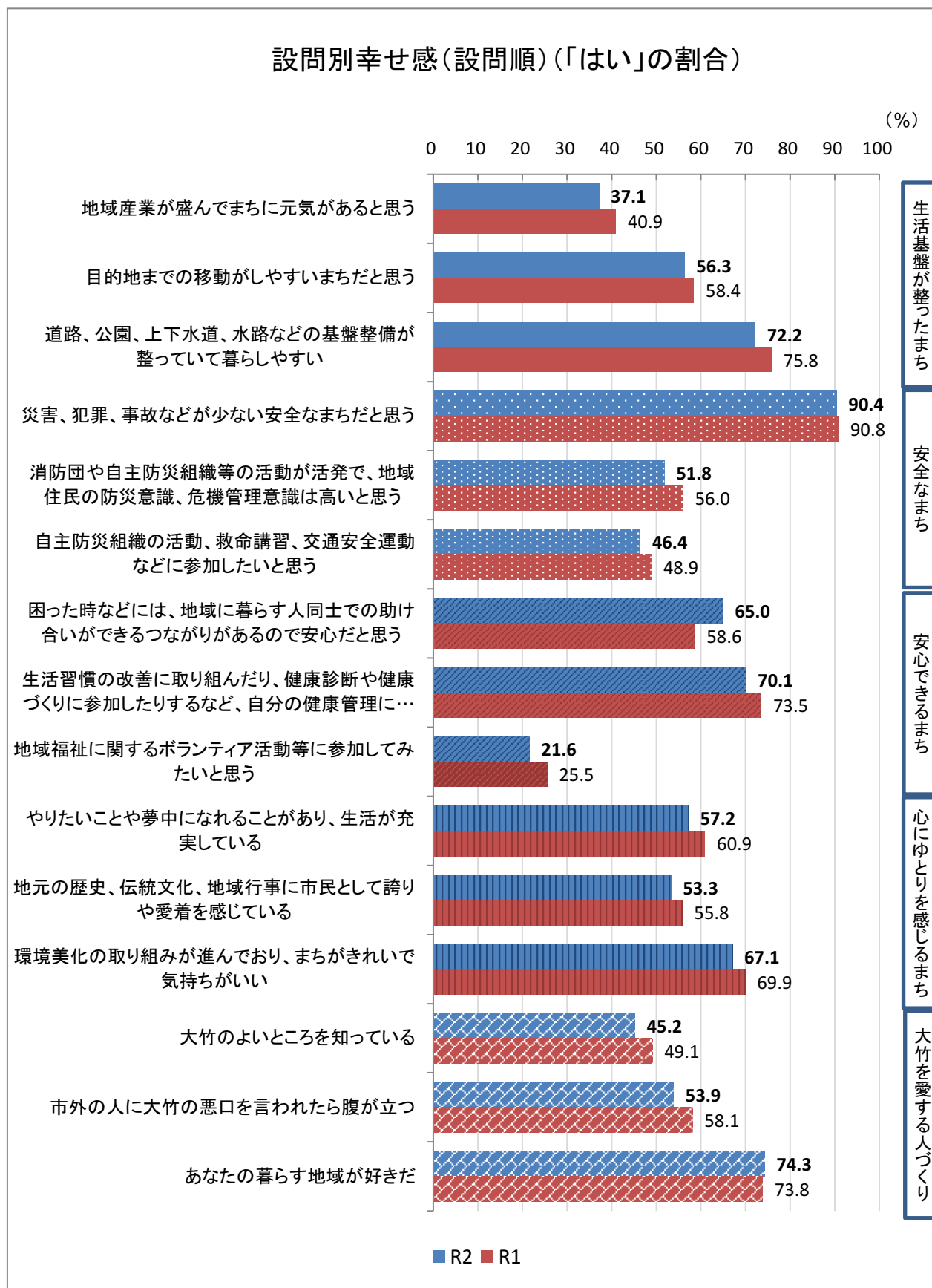
○単純集計結果（問・項目・設問別幸せ感）

問番号と項目			設 問	R2						R1			全項目での「はい」の順位変動	
				回答数(人)			設問の「はい」		項目の「はい」		設問の「はい」	項目の「はい」		
				は い	いいえ	無回答	割合 (%)	順 位	割合 (%)	順 位	割合 (%)	割合 (%)		順 位
問 1	生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	124	201	9	37.1	14	55.2	4	40.9	58.4	4	→	
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	188	136	10	56.3	8			58.4				
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	241	85	8	72.2	3			75.8				
	安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	302	27	5	90.4	1	62.9	1	90.8	65.2	1	→	
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	173	148	13	51.8	11			56.0				
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	155	168	11	46.4	12			48.9				
	安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	217	109	8	65.0	6	52.2	5	58.6	52.5	5	→	
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	234	96	4	70.1	4			73.5				
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	72	251	11	21.6	15			25.5				
	心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	191	132	11	57.2	7	59.2	2	60.9	62.2	2	→	
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	178	142	14	53.3	10			55.8				
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	224	101	9	67.1	5			69.9				
	大竹を愛する人づくり	大竹のよいところを知っている	151	162	21	45.2	13	57.8	3	49.1	60.3	3	→	
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	180	143	11	53.9	9			58.1				
		あなたの暮らす地域が好きだ	248	74	12	74.3	2			73.8				
	問1全体			2,878	1,975	157	57.4			59.7				
問 2	市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	176	137	21	52.7		41.2		49.9	45.1			
		自分でもできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	99	200	35	29.7				40.4				

○前年度との比較表（設問別幸せ感）①

問・項目		設問	R2		R1		前年度からの動き		
			「はい」の割合 (%)	左の 順位	「はい」の割合 (%)	左の 順位	「はい」の割合 (%)		順位
問 1	生活基盤 が整った まち	地域産業が盛んでまちに元気がある と思う	37.1	14	40.9	14	▲ 3.8	↘	→
		目的地までの移動がしやすいまち だと思う	56.3	8	58.4	8	▲ 2.1	↘	→
		道路、公園、上下水道、水路など の基盤整備が整っていて暮らしやす い	72.2	3	75.8	2	▲ 3.6	↘	↘
	安全なま ち	災害、犯罪、事故などが少ない安全 なまちだと思う	90.4	1	90.8	1	▲ 0.4	↘	→
		消防団や自主防災組織等の活動 が活発で、地域住民の防災意識、 危機管理意識は高いと思う	51.8	11	56.0	10	▲ 4.2	↘	↘
		自主防災組織の活動、救命講習、 交通安全運動などに参加したいと 思う	46.4	12	48.9	13	▲ 2.5	↘	↗
	安心でき るまち	困った時などには、地域に暮らす 人同士での助け合いができるつな がりがあるので安心だと思う	65.0	6	58.6	7	6.4	↗	↗
		生活習慣の改善に取り組んだり、 健康診断や健康づくりに参加した りするなど、自分の健康管理に日 頃から気を付けている	70.1	4	73.5	4	▲ 3.4	↘	→
		地域福祉に関するボランティア活 動等に参加してみたいと思う	21.6	15	25.5	15	▲ 3.9	↘	→
	心にゆと りを感じ るまち	やりたいことや夢中になれることが あり、生活が充実している	57.2	7	60.9	6	▲ 3.7	↘	↘
		地元の歴史、伝統文化、地域行事 に市民として誇りや愛着を感じて いる	53.3	10	55.8	11	▲ 2.5	↘	↗
		環境美化の取り組みが進んでおり、 まちがきれいで気持ちがいい	67.1	5	69.9	5	▲ 2.8	↘	→
	大竹を愛 する人づ くり	大竹のよいところを知っている	45.2	13	49.1	12	▲ 3.9	↘	↘
		市外の人に大竹の悪口を言われ たら腹が立つ	53.9	9	58.1	9	▲ 4.2	↘	→
		あなたの暮らす地域が好きだ	74.3	2	73.8	3	0.5	↗	↗
問 2	市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段 から興味をもっている	52.7	↗	49.9	↗	2.8	↗	↗
		自分でもできれば何か地域の役に立 てるようなことをやってみたい	29.7	↗	40.4	↗	▲ 10.7	↘	↗

○前年度との比較表（設問別幸せ感）②



○ 問1の各設問において、「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。

○ 問2（市民自治）については、「はい」と答えた人の割合が高いほど、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっていると判断します。

アンケートは、この割合を用いて、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分について分析を行いますが、毎年度異なる人にご協力をいただいておりますので、経年比較は傾向としてとらえることになります。

（1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

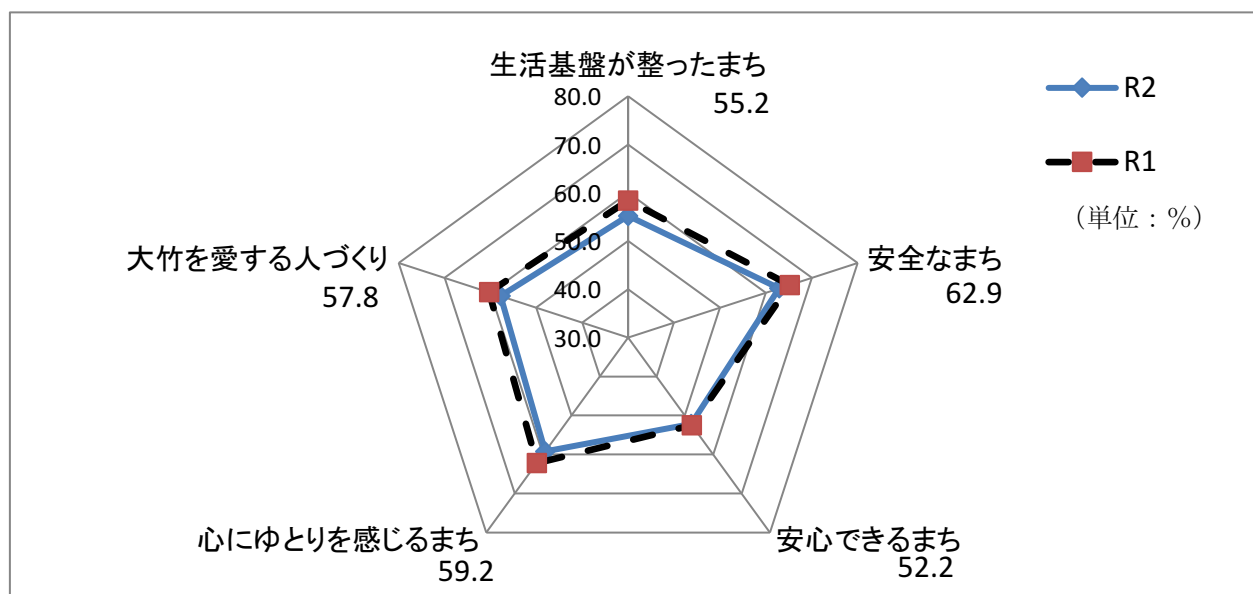
問1設問全体で、「はい」と答えた人の割合は、57.4%となっています。

前年度から若干数値が下がっていますが、約6割の人が幸せを感じながら日々の生活を送っているようです。

①項目別順位

項目比較での幸せ感の順位は、次のとおりです。前年度から順位の変動はありません。ただし、いずれの項目も割合が減少しています。今回は一般アンケートの回収率が前年度と比べて3.6%減少しており、一人の回答結果がもたらす変動幅が大きいことが要因として挙げられますが、新型コロナウイルス感染症の流行による市民生活や事業活動、市が行っている各種事業などへの影響も要因として考えられます。

順位	項 目	R 2 割合 (%)	対前年比較	R 1 割合 (%)	順位
1	安全なまち	62.9	▲ 2.3	65.2	1
2	心にゆとりを感じるまち	59.2	▲ 3.0	62.2	2
3	大竹を愛する人づくり	57.8	▲ 2.5	60.3	3
4	生活基盤が整ったまち	55.2	▲ 3.2	58.4	4
5	安心できるまち	52.2	▲ 0.3	52.5	5



②設問別順位

幸せ感の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

上位3位は、前年度の2位と3位の順位が入れ替わっています。

下位3位は、「大竹のよいところを知っている」が前年度から順位を1つ下げ、13位となっています。

順位		設 問	割合(%)	
R 2	R 1		R 2	R 1
1	1	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	90.4	90.8
2	3	あなたの暮らす地域が好きだ	74.3	73.8
3	2	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	72.2	75.8
.	.	.	.	.
13	12	大竹のよいところを知っている	45.2	49.1
14	14	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	37.1	40.9
15	15	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	21.6	25.5

③特徴

項目「生活基盤が整ったまち」（4位：55.2%）

「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位：37.1%）は、前年度と同じ順位で、3.8ポイント減少しています。

「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（3位：72.2%）は3.6ポイント減少し、前年度より順位を1つ下げています。

項目の幸せ感、前年度より3.2ポイント減少しています。

項目「安全なまち」（1位：62.9%）

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位：90.4%）は、前年度より0.4ポイント減少しましたが、依然として高い幸せ感を維持しており、2位とのポイント差も16.1ポイントと昨年度からさらに広がり、他の設問に比べて幸せ感が高くなっています。

「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（11位：51.8%）の幸せ感、前年度の10位から1つ順位を下げ、幸せ感も4.2ポイント減少しています。

項目の幸せ感、前年度より2.3ポイント減少していますが、前年度に引き続き、幸せ感が最も高い項目となっています。

項目「安心できるまち」（5位：52.2%）

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（6位：65.0%）は、前年度の7位から順位を1つ上げ、幸せ感も6.4ポイント増加しています。

「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」（4位：70.1%）は、前年度と順位は変わりませんが、幸せ感3.4ポイント減少しています。

「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」（15位：21.6%）は、前年度から3.9ポイント減少し、幸せ感最も低くなっています。

項目の幸せ感、前年度より0.3ポイント減少し、前年度に引き続き、幸せ感が最も低い項目となっています。

項目「心にゆとりを感じるまち」（2位：59.2%）

「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」（7位：57.2%）は、前年度の6位から順位を1つ下げ、幸せ感も3.7ポイント減少しています。

「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」（5位：67.1%）は、前年度と順位は変わりませんが、幸せ感は2.8ポイント減少しています。

項目の幸せ感は、前年度より3.0ポイント減少しています。

項目「大竹を愛する人づくり」（3位：57.8%）

「大竹のよいところを知っている」（13位：45.2%）は、前年度より3.9ポイント減少し、前年度から順位を1つ下げています。

「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」（9位：53.9%）は、前年度と順位は変わりませんが、幸せ感は4.2ポイント減少しています。

一方で、「あなたの暮らす地域が好きだ」（2位：74.3%）は、前年度から0.5ポイント増加し、順位も1つ上がりました。

項目の幸せ感は、前年度より2.5ポイント減少しています。

④特徴（設問と問3の自由記述（P43～55）[設問に付随した心配に思っていること]から）

項目「生活基盤が整ったまち」

◆ **設問「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位）**

前年度より3.8ポイント減少し、問1全体の平均値57.4%を約20ポイントも下回っています。「商店街に活気がない」、「商業施設はあるが買い物や飲食店が少ない」という意見や、「大手企業など地域産業は盛んでもまちが元気とは言えない」、「地域産業をよく知らない」などの意見もありました。また、「若い人が働ける場が少ない」、「若い人向けの店がない」など若い世代への言及も多く見られました。

◆ **設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」（8位）**

前年度より2.1ポイント減少しました。車がないと移動が難しい場合は多いため、バスの増便やエリア・ルートの見直し、タクシー利用への助成など、公共交通の充実についてさまざまな意見が出ています。また、道路網に関してアクセスや道路の狭さなどの改善を求める意見もあり、岩国大竹道路整備の進展を求める声も挙がっていました。

◆ **設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（3位）**

前年度より3.6ポイント減少し、順位も1つ下がりましたが、前年度に引き続き、7割を超える人が暮らしやすさを感じています。改善を求める声としては、「歩道が歩きづらい」、「蓋のない水路が怖い」、「道が狭い」、「近くの公園でボール遊びできる場所がない」などの意見が多く、豪雨時の浸水被害などを懸念する声も挙がっていました。

項目「安全なまち」

◆ **設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位）**

前年度より0.4ポイント減少しましたが、90.4%という高い幸せ感で、全ての設問の中で唯一90%を超え、問1全体の平均値57.4%を33.0ポイント上回っており、2位との差も16.1ポイント開いています。しかし、近年増加している豪雨などによる災害への不安や、街灯など夜間照明や防犯カメラの設置を求める声、自動車のマナーの悪さを指摘する声も挙がっていました。

◆ **設問「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（11位）**

前年度より4.2ポイント減少し、順位も1つ下がりましたが、前年度に引き続き5割を超える人が地域の防災意識、危機管理意識は高いと感じています。一方で、防災に対する意識の低さを訴える声や、消防団や自主防災組織などの活動がよく分からないという声も挙がっていました。

◆ **設問「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（12位）**

前年度より2.5ポイント減少しましたが、順位は1つ上がり、5割に近い人が自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと考えています。参加しない理由としては、「働いているから」「いつどこでやっているか知らない」などが挙がっていました。

項目「安心できるまち」

- ◆ 設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（6位）

前年度より6.4ポイント増加し、順位も1つ上がり、6割を超える人が安心だと感じています。一方で、地域住民同士のつながりの希薄化を危惧する声が多く、その要因として仕事の忙しさや、昔から住んでいる人たちとの馴染みづらさが挙がっていました。地域の高齢化がもたらす様々な課題を挙げる声も多く挙がっていました。

- ◆ 設問「生活習慣病の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど自分の健康管理に日頃から気を付けている」（4位）

前年度より3.4ポイント減少しましたが、7割の人が健康について関心を持っています。耳鼻科、皮膚科など特定の診療科目を扱う病院の少なさを指摘する声や、運動できる施設やインストラクターの充実を求める声も挙がっていました。

- ◆ 設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」（15位）

前年度より3.9ポイント減少し、調査開始から最下位が続いています。ボランティアの内容や参加方法などが分からないため、情報発信の充実を求める声が挙がっていました。

項目「心にゆとりを感じるまち」

- ◆ 設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」（7位）

前年度より3.7ポイント減少し、順位も1つ下がっています。やりたいことや夢中になれることは人によってさまざまですが、ここでは、図書館の充実をはじめ、文化・スポーツに触れる機会や施設の充実を求める声が多く挙がっていました。

- ◆ 設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」（10位）

前年度より2.5ポイント減少しましたが、順位は1つ上がっています。地元の文化や歴史を知らないという声が多く、市内だけでなく市外に対してももっと周知するべきとの意見がありました。

- ◆ 設問「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」（5位）

前年度より2.8ポイント減少しましたが、7割近い人が「きれいなまち」に関して気持ちがいいと感じています。たばこのポイ捨てなどゴミの問題や、道路沿いなどの草や木の適切な維持管理に関する意見が多く見られました。環境美化活動への関心は高く、地域での定期的な活動の充実の重要性などが指摘されています。

項目「大竹を愛する人づくり」

- ◆ 設問「大竹のよいところを知っている」（13位）

前年度より3.9ポイント減少し、順位も1つ下がっています。「はい」と答えた人の意見としては、「自然の豊かさ」、「まちがコンパクトで生活に必要なものが揃っている」、「人情があり地域のつながりがある」などが多く挙がっています。

- ◆ 設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」（9位）

この設問と次の設問は、ストレートに感覚を尋ねています。前年度より4.2ポイント減少しています。

- ◆ 設問「あなたの暮らす地域が好きだ」（2位）

前年度より0.5ポイント増加し、順位も1つ上がりました。7割を超える人が「はい」と回答しており、「大竹のよいところ」として挙がっていた「自然」「住みやすさ」「人の優しさやつながり」などがより具体的に挙げられています。「いいえ」と答えた人は、逆に交通機関の不足などによる「住みづらさ」や環境の悪さを挙げる人が多く見られました。

（2）市民自治（問2）について

「あなたの暮らす地域のことについて普段から興味をもっている」（52.7%）は、前年度より2.8ポイント増加した一方で、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」（29.7%）は、前年度より10.7ポイントも減少しています。

自由記述から、地域のためにやってみたいこととして、清掃などの環境美化活動を挙げる人が多く、子どもの登下校の見守りや本の読み聞かせ、高齢者のための支援、自治会活動、地域を盛り上げるような行事の開催など、多様な声が挙がっていました。

実際に行っていることとしては、自治会活動や環境美化活動などが多く見られました。

一方、やってみたいと思っていてもできない理由として、仕事や育児・家族の介護などで時間的・精神的な余裕がないことや、自身・家族の健康に関する問題などが多く見られました。

2 属性別分析
 (1) 性別
 ①問1について

項目	設 問	男性				女性			
		設問の「はい」		項目の「はい」		設問の「はい」		項目の「はい」	
		割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
生活したまちが整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	37.3	14			37.2	14		
	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	63.4	7	58.2	3	51.3	9	53.2	4
	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	73.9	2			71.2	3		
安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	91.5	1			90.1	1		
	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	54.9	10	63.6	1	49.7	11	62.7	1
	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	44.4	13			48.2	12		
安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	64.8	5			64.9	6		
	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	72.5	4	51.4	5	68.1	5	52.5	5
	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	16.9	15			24.6	15		
心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	55.6	9			58.6	7		
	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	50.0	11	56.8	4	55.5	8	60.9	2
	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	64.8	5			68.6	4		
大竹を愛する人づくり	大竹のよいところを知っている	47.2	12			43.5	13		
	市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	57.0	8	59.4	2	51.3	9	56.4	3
	あなたの暮らす地域が好きだ	73.9	2			74.3	2		
問1全体		57.9				57.1			

ア 全体的な傾向

問1全体での幸せを感じている割合は、「男性」57.9%、「女性」57.1%と、「男性」が「女性」よりも高くなっています。

イ 項目・設問にみられる顕著な傾向・特徴

項目による幸せ感の幅は、「男性」の12.2ポイント（63.6%－51.4%）、「女性」は10.2ポイント（62.7%－52.5%）で、どちらも10ポイント以上の差があるため、男女ともに幸せの感じ方がはっきりしているということが見て取れます。男女間で大きく幸せ感に差がついた項目は「生活基盤が整ったまち」で、項目内全ての設問で「男性」の方が「女性」よりも高くなっています。特に設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」は12.1ポイントの開きがあり、性別によって幸せの感じ方の違いがはっきり出ています。

項目「安全なまち」の設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、男女ともに1位となっており、ポイントが非常に高く、9割を超える人が「安全なまち」であると感じています。

また、項目「安心できるまち」の設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、「男性」「女性」とも最下位で、1つ上の順位と10ポイントを超える差が生じています。これは前年度と同じ傾向であり、幸せ感自体も減少していることから、課題があると考えられます。

前回の調査では、問1全体の平均値は、「男性」が62.2%、「女性」が57.7%で、「男性」が4.5ポイント高く、「女性」より幸せを感じている傾向が見て取れましたが、今回の調査では、その差は0.8ポイントと迫っており、性別による幸せの感じ方に差がなくなっていることが見て取れます。中でも、項目「安心できるまち」と項目「心にゆとりを感じるまち」は「女性」の幸せ感が前年度より増加しており、「女性」の生活の中での安心感が高まっているとも言えます。

②問2について

問2の設問では、いずれも「男性」が「女性」を上回っていますが、性別による差は前年度より広がっています。設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」は「男性」「女性」ともに増加していますが、設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は「男性」「女性」ともに大きく減少しており、特に「女性」は3割を切る結果となっていることから、地域における「女性」の役割や、活躍できる場や機会といった面に課題があると考えられます。

設 問	男性 (%)		女性 (%)	
	R 2	R 1	R 2	R 1
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	57.0	52.2	49.7	48.1
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	33.8	42.3	26.7	38.8



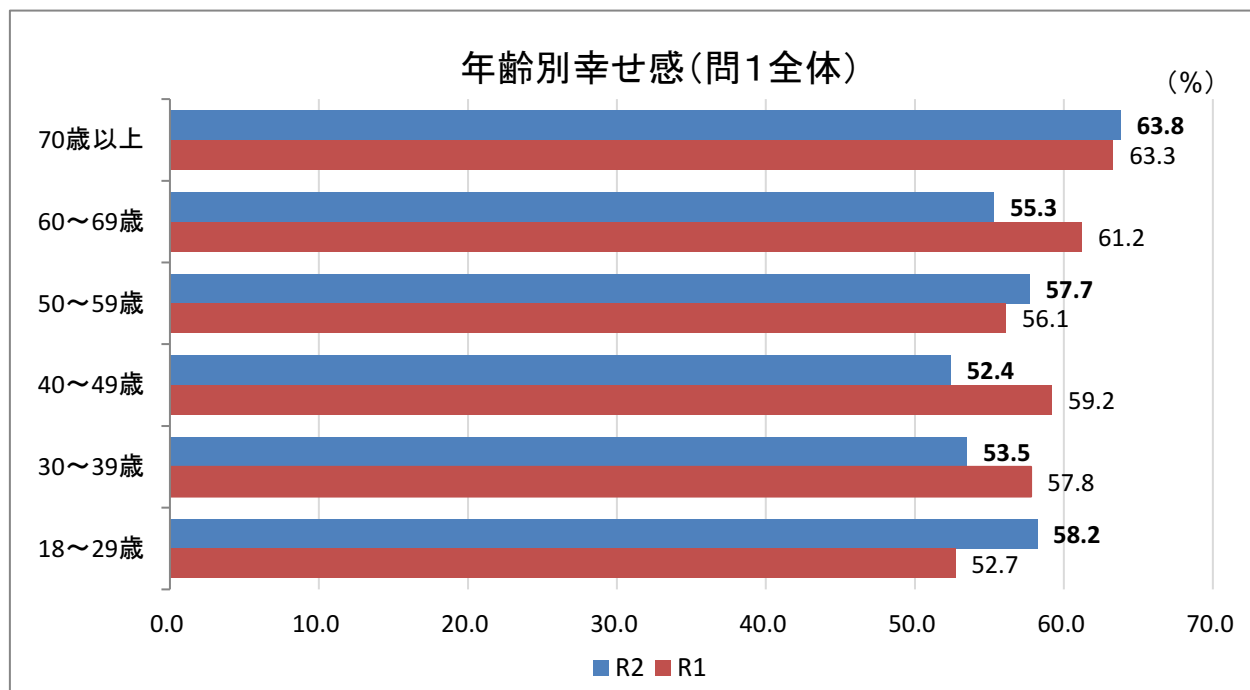
(2) 年齢

①問1について

ア 全体的な傾向

どの年齢層においても半数以上の方が幸せを感じています。

「40～49歳」の年齢層の幸せ感が52.4%で最も低く、次いで「30～39歳」、「60～69歳」の順に低くなっています。



イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

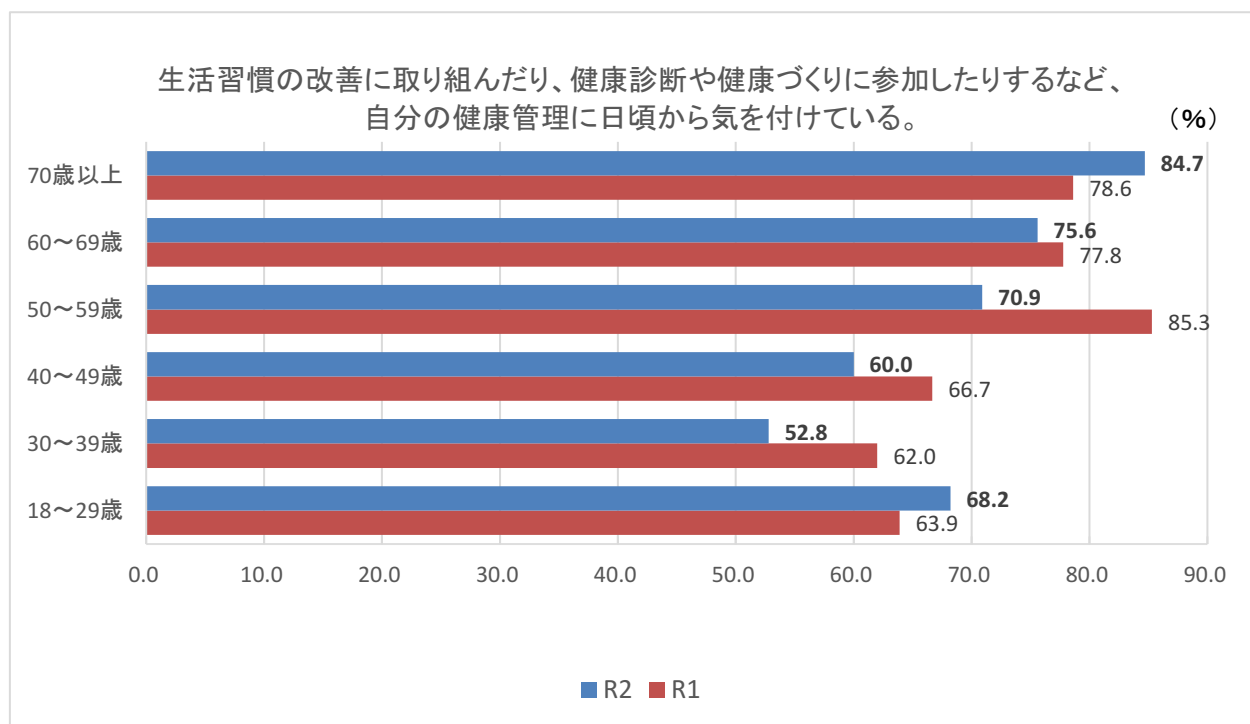
ほとんどの項目で「70歳以上」の幸せ感が最上位となっています。また、「18～29歳」は、前回の調査では4つの項目で最下位でしたが、今回の調査では最下位となった項目は1つもなく、特に「心にゆとりを感じるまち」は65.9%で、全年齢層の中で最上位となっています。

年齢層別で幸せ感に最も差が生じたのは「安心できるまち」で、最上位の「70歳以上」と最下位の「40～49歳」で21.7ポイントの開きがあります。

年 齢	生活基盤が整ったまち		安全なまち		安心できるまち		心にゆとりを感じるまち		大竹を愛する人づくり	
	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
70歳以上	64.7	1	69.0	1	63.5	1	63.1	2	62.9	1
60～69歳	45.5	6	56.1	6	56.1	2	58.5	4	53.5	5
50～59歳	52.7	5	63.6	2	52.7	3	59.4	3	52.1	6
40～49歳	53.3	3	61.2	4	41.8	6	53.3	6	60.0	3
30～39歳	54.7	2	62.3	3	43.4	5	53.5	5	60.2	2
18～29歳	53.0	4	60.6	5	48.5	4	65.9	1	58.4	4

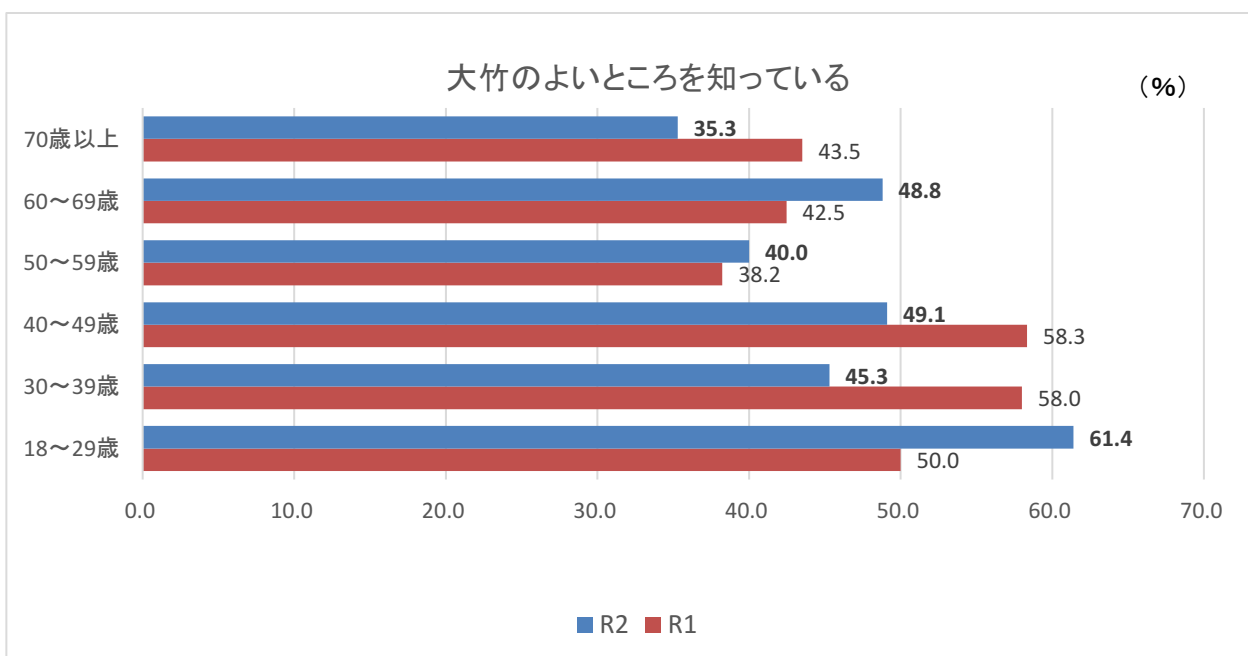
年齢層別で最も幸せ感に差が生じた設問は、「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」です。この設問は、「70歳以上」の84.7%に対し、「30～39歳」は52.8%と、約30ポイントの差が生じています。

この設問は、通常年齢が高くなるにつれて幸せ感も高くなる傾向にありますが、今回の調査では、「18～29歳」が「30～39歳」と「40～49歳」よりも高くなっており、若年層の健康に対する関心の高さが表れています。



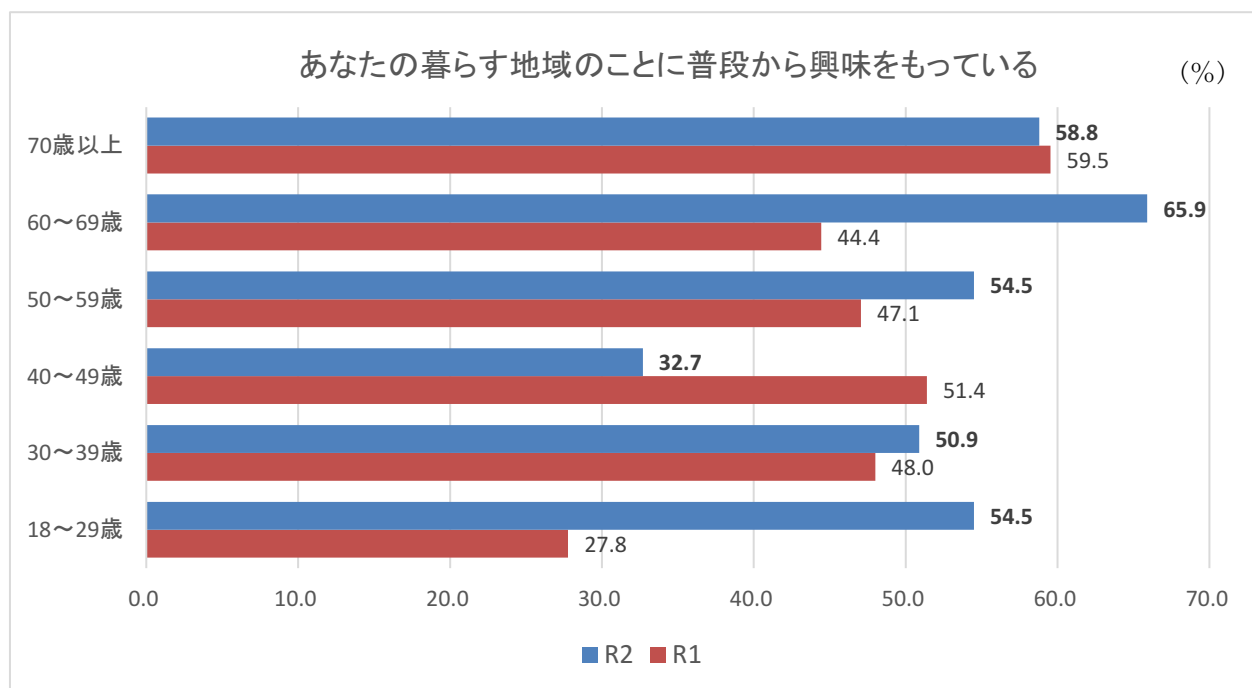
設問「大竹のよいところを知っている」では、全体的な傾向として、「40～49歳」以下の年齢層と比べて、「50～59歳」以上の年齢層の方が「はい」と答えた人の割合が低く、中でも「70歳以上」が最も低いポイントとなっています。

逆に「18～29歳」は前年度より11.4ポイント増加し、全年齢層で最も高いポイントとなっており、若年層が大竹の良さを感じていることが分かります。

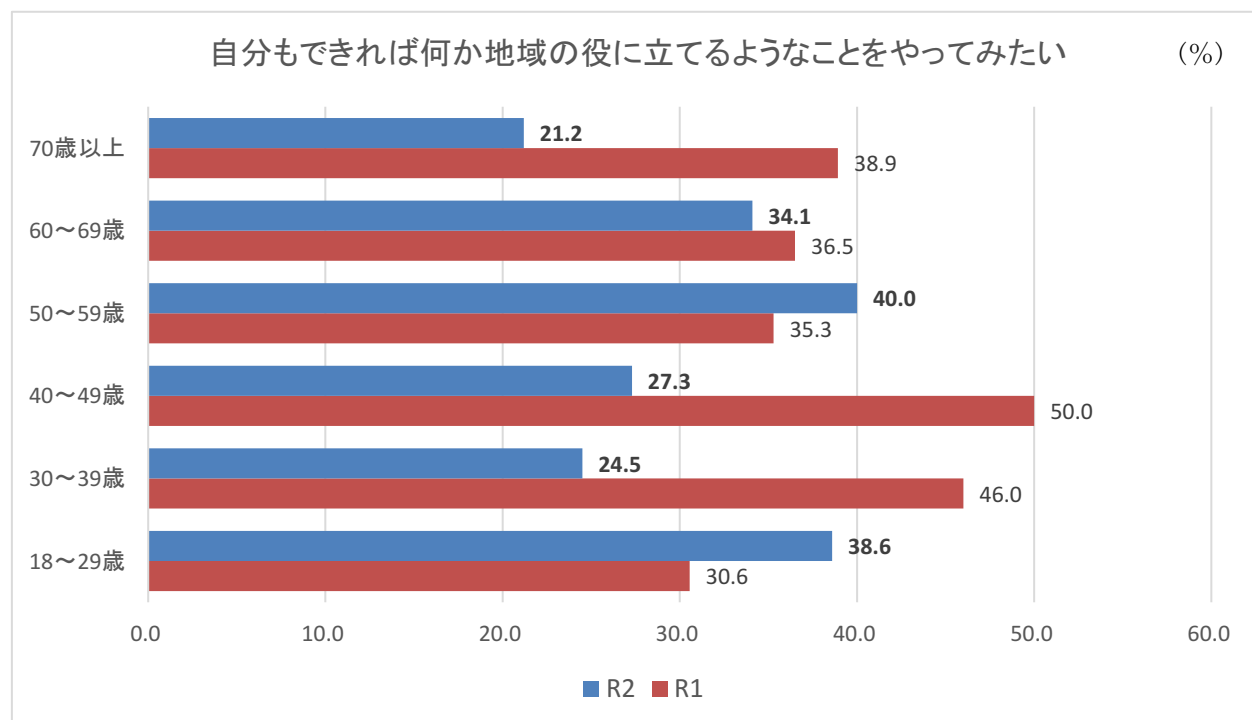


②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」では、前回の調査で最下位だった「18～29歳」のポイントが大幅に増加し、「50～59歳」と並んで3位となっています。一方で、「40～49歳」は、前年度より18.7ポイント減少し、最下位となっています。



設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」では、「70歳以上」「40～59歳」「30～39歳」のポイントが前年度より大幅に減少し、いずれも3割を切っています。一方、「18～29歳」は前年度より増加し、4割に近い人が地域の役に立ちたいと考えていることが見て取れます。

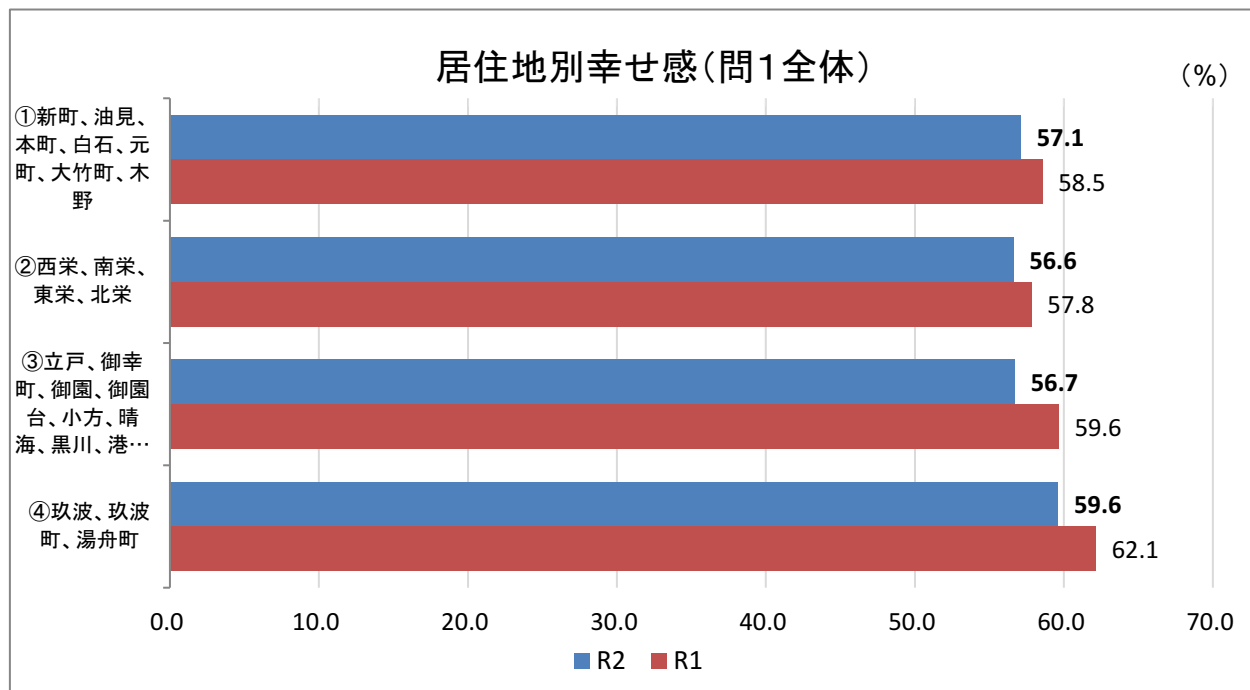


(3) 住所

回答数に大きな差があるため、問1、問2いずれも住所の違いによる特徴を分析できません。回答数50以上の4つの地域（「①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野」・「②西栄、南栄、東栄、北栄」・「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘」・「④玖波、玖波町、湯舟町」）で比較しています。

ア 全体的な傾向

いずれの地区も前年度よりポイントが減少していますが、半数を超える人が幸せを感じており、地区によって明らかな差は生じていません。



イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

地区によって最も差が大きかったのは項目「安心できるまち」で、最も高い「④」と最も低い「②」で11.7ポイントの差が生じています。

一方、「安全なまち」は最も高い「②」と最も低い「①」で3.2ポイントの差であり、いずれの地区も6割を超える人が安全だと感じています。

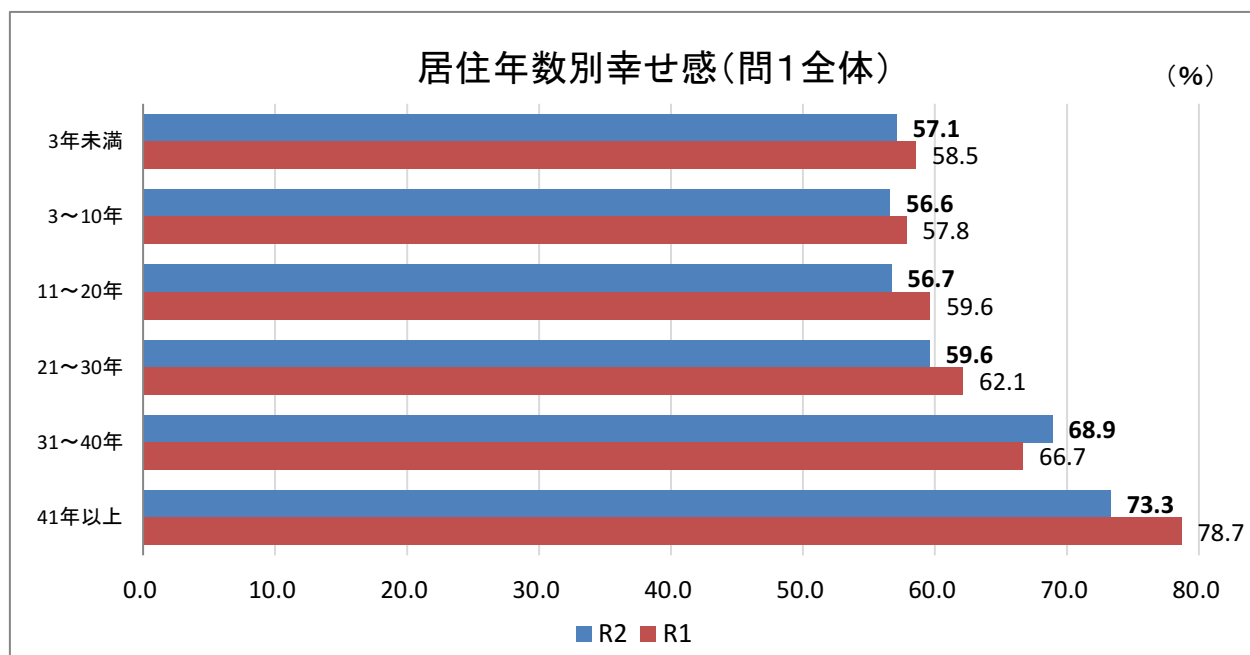
住 所	生活基盤が整ったまち		安全なまち		安心できるまち		心にゆとりを感じるまち		大竹を愛する人づくり	
	割合(％)	順位	割合(％)	順位	割合(％)	順位	割合(％)	順位	割合(％)	順位
①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	53.3	4	62.3	4	52.5	2	60.9	1	56.6	3
②西栄、南栄、東栄、北栄	54.0	3	65.5	1	45.4	4	58.6	2	59.2	2
③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	57.8	1	62.8	3	50.4	3	56.6	4	55.8	4
④玖波、玖波町、湯舟町	57.1	2	63.5	2	57.1	1	58.3	3	62.2	1

(4) 居住年数

①問1について

ア 全体的な傾向

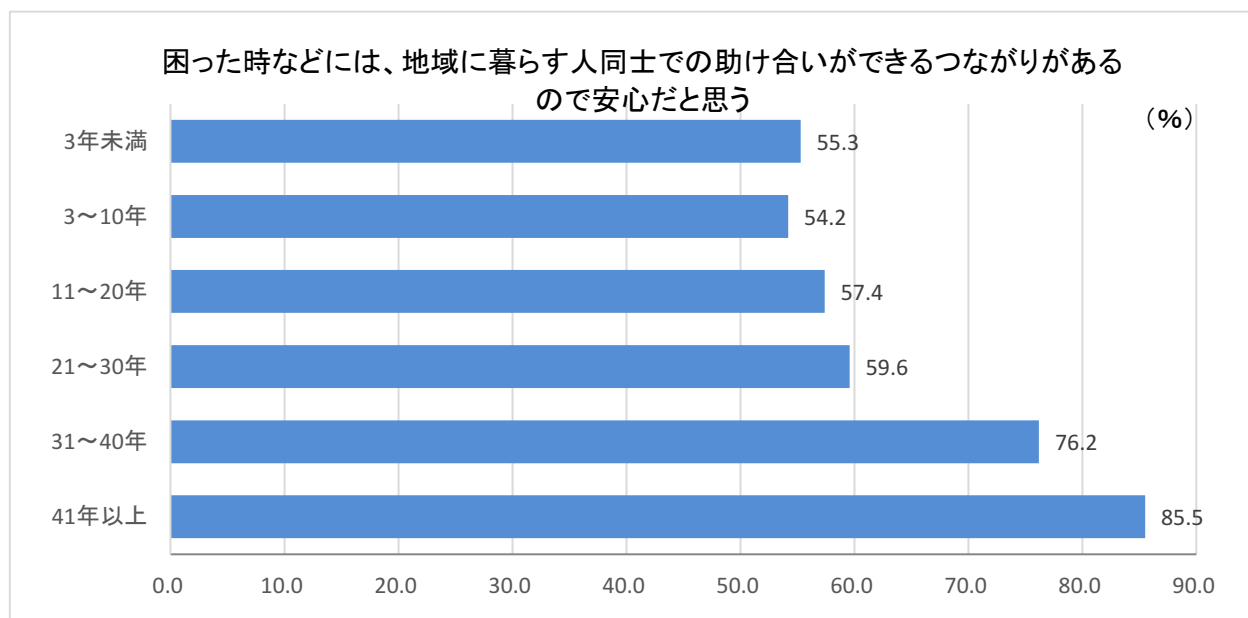
前年度と比べて、居住年数が「31～40年」の層以外の層は、幸せ感が減少しています。若干ばらつきはあるものの、居住年数が長くなるにつれて幸せ感が高くなる傾向にあります。

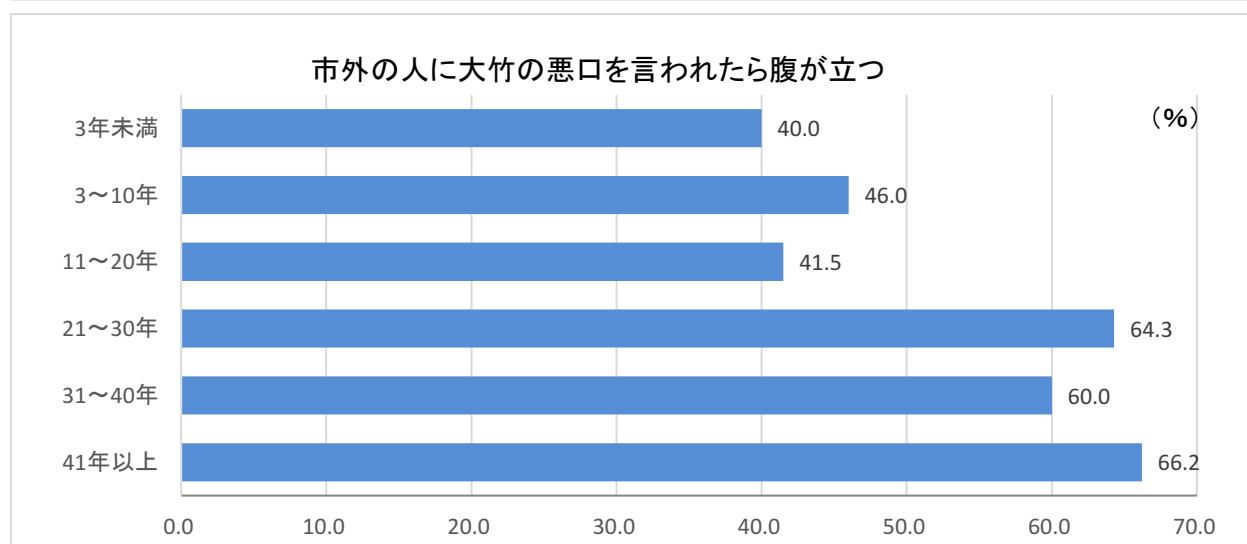
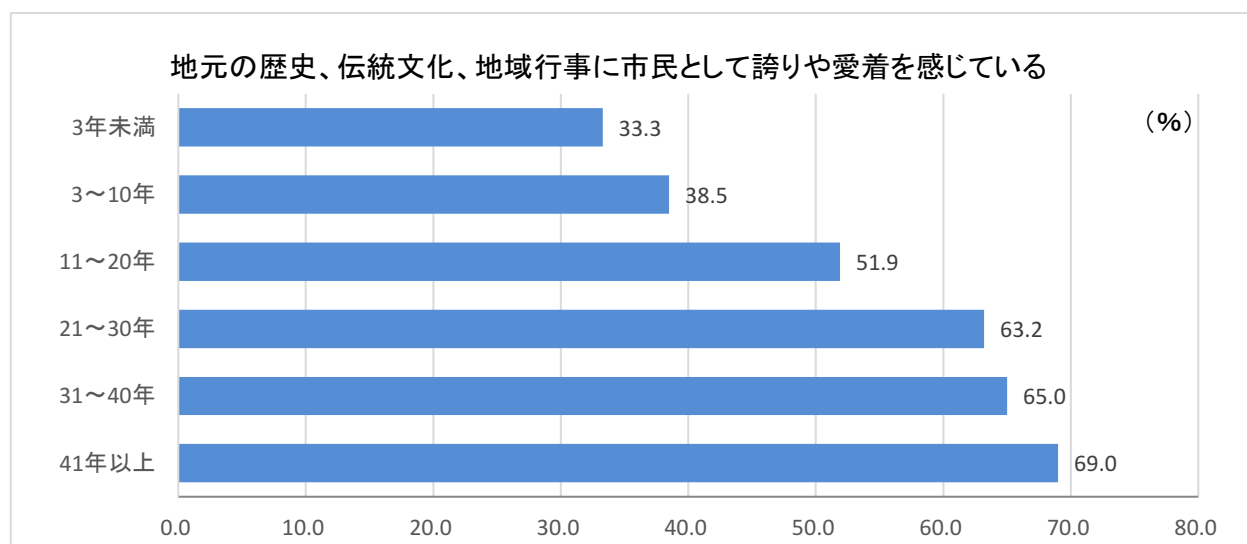


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」は、居住年数が増えていくにつれて、「はい」と回答している人が多くなる傾向が見られます。長く住むほどに地域の人とのつながりが深まっていくことが、安心できる暮らしにつながっているものと思われます。

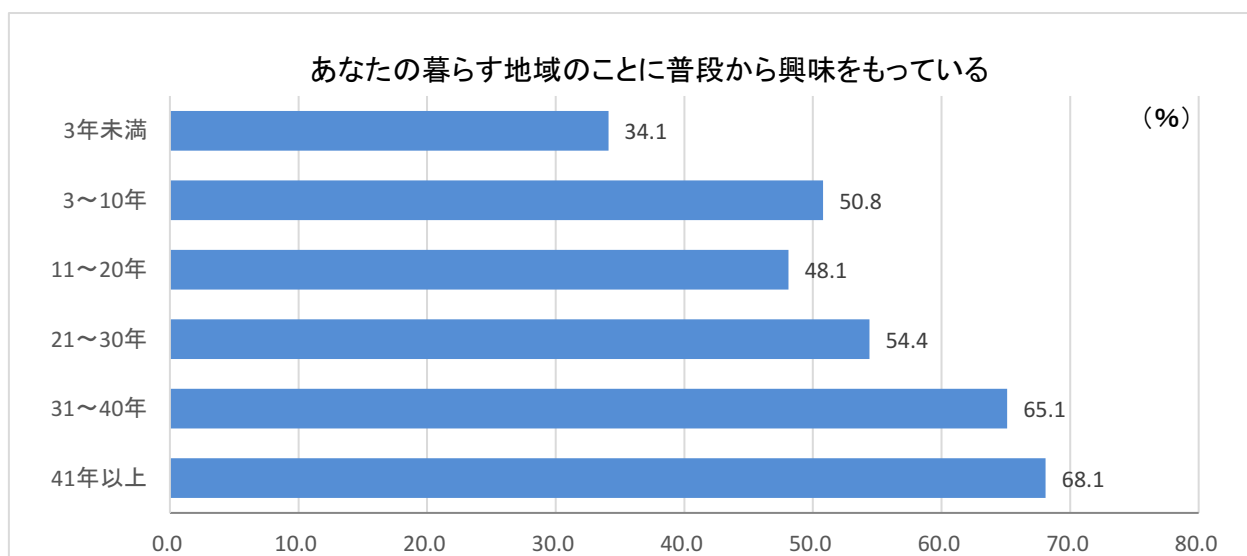
また、設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」と「市外の人に太竹の悪口を言われたら腹が立つ」も同様に、居住年数が増えていくにつれて、「はい」と回答している人が多くなる傾向が見られ、長く住むことでまちへの愛着が高まっているものと思われます。





②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」は、問1の傾向と同じく、居住年数が増えるほど「はい」と回答をしている人が多くなる傾向が見られ、自分が住む地域への関心が高まっていると考えられます。



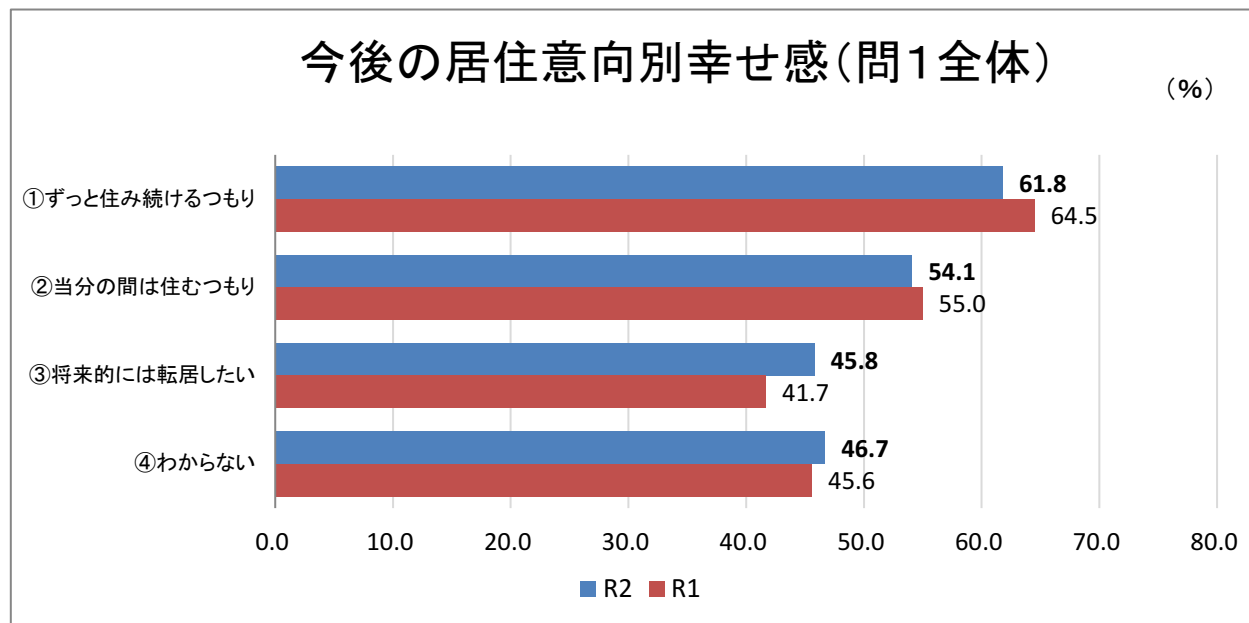
(5) 今後の居留意向

選択肢のうち、「近いうちに転居するつもり」と回答した人は、1人と人数が少なく、傾向として判断できないため掲載していません。

①問1について

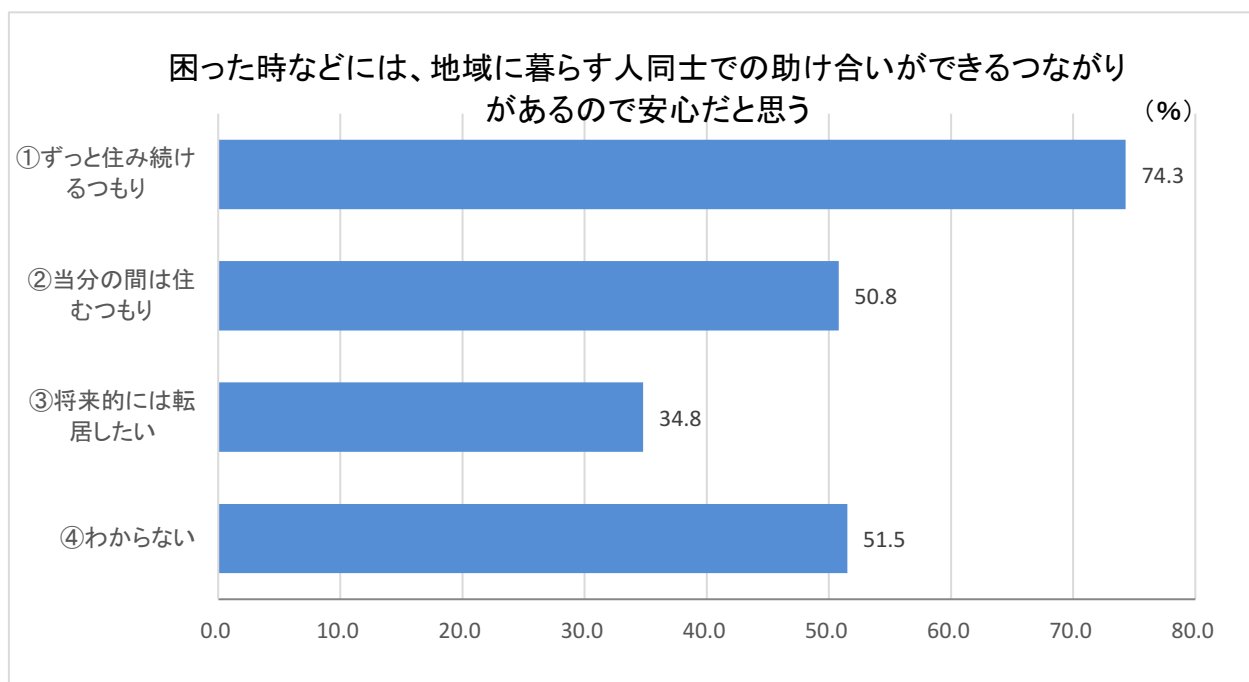
ア 全体的な傾向

「わからない」を除くと、昨年度と同様「将来的には転居したい」＜「当分の間は住むつもり」＜「住み続けるつもり」の順で幸せ感が高くなっており、長く住み続ける意向を持つ人ほど、幸せを感じているようです。また、「わからない」の人も、半数近くが幸せを感じています。

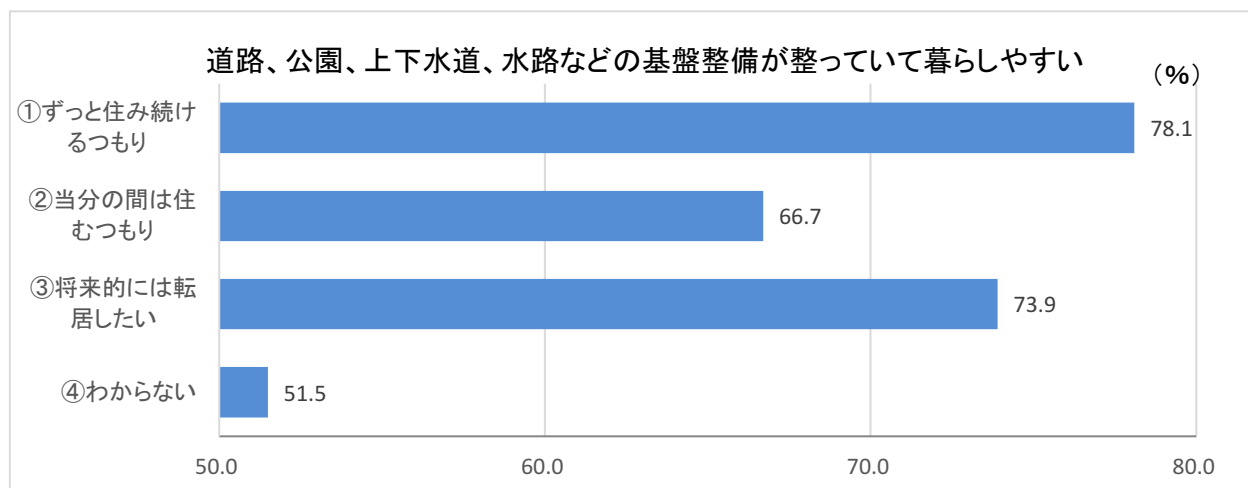
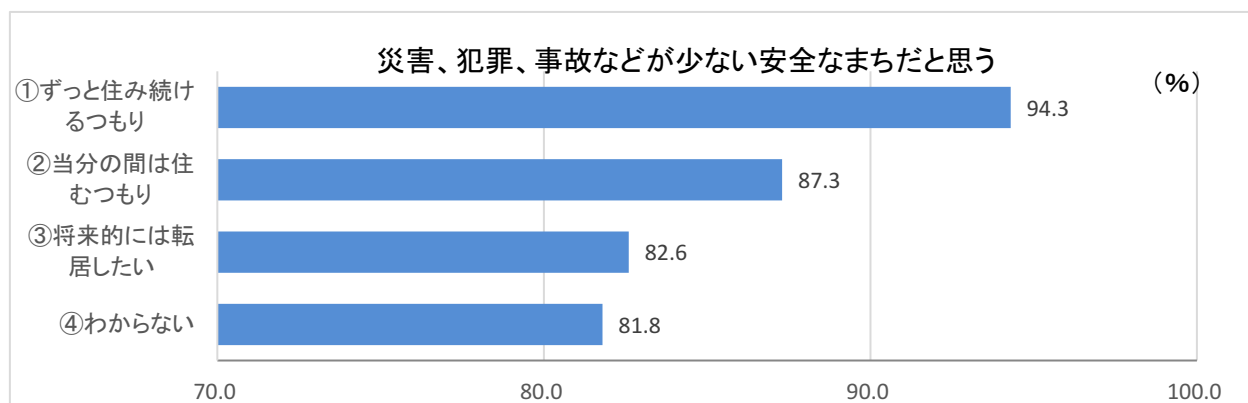


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

多くの項目において全体的な傾向と類似しています。特に設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」では、「住み続けるつもり」の人の幸せ感は、「将来的には転居したい」と考えている人より40ポイント近く高くなっています。長く住む意思がある人は、地域でのつながりをつくる傾向にあります。

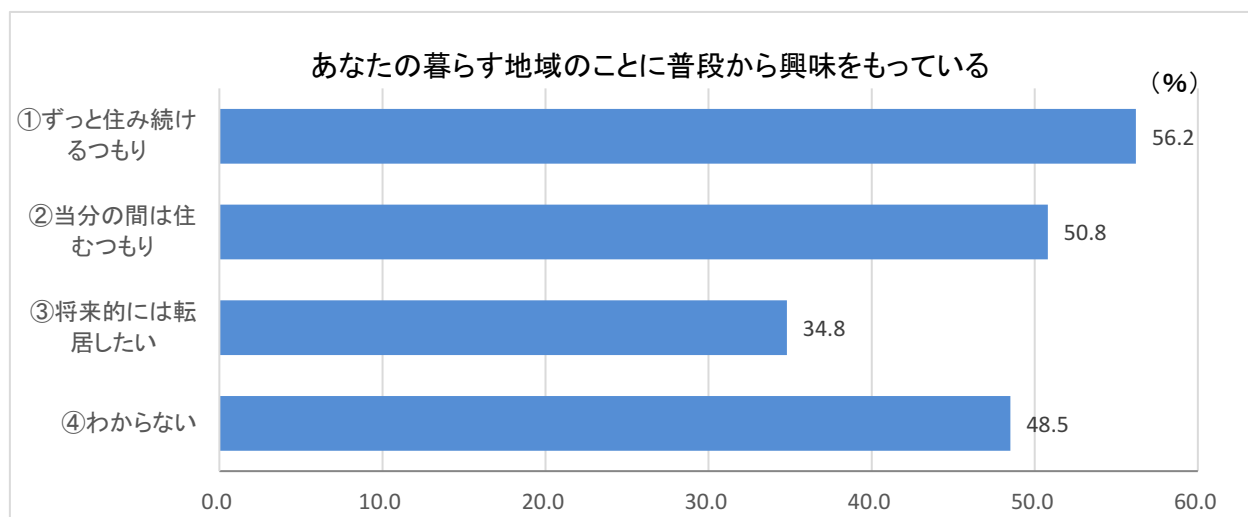


設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、8割を超える人が「はい」と回答しています。また、設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は、「わからない」と回答した人を除くと、「将来的には転居したい」と答えた人でも7割近い人が「はい」と回答しており、安全で暮らしやすいまちであると感じていることが分かります。



②問2について

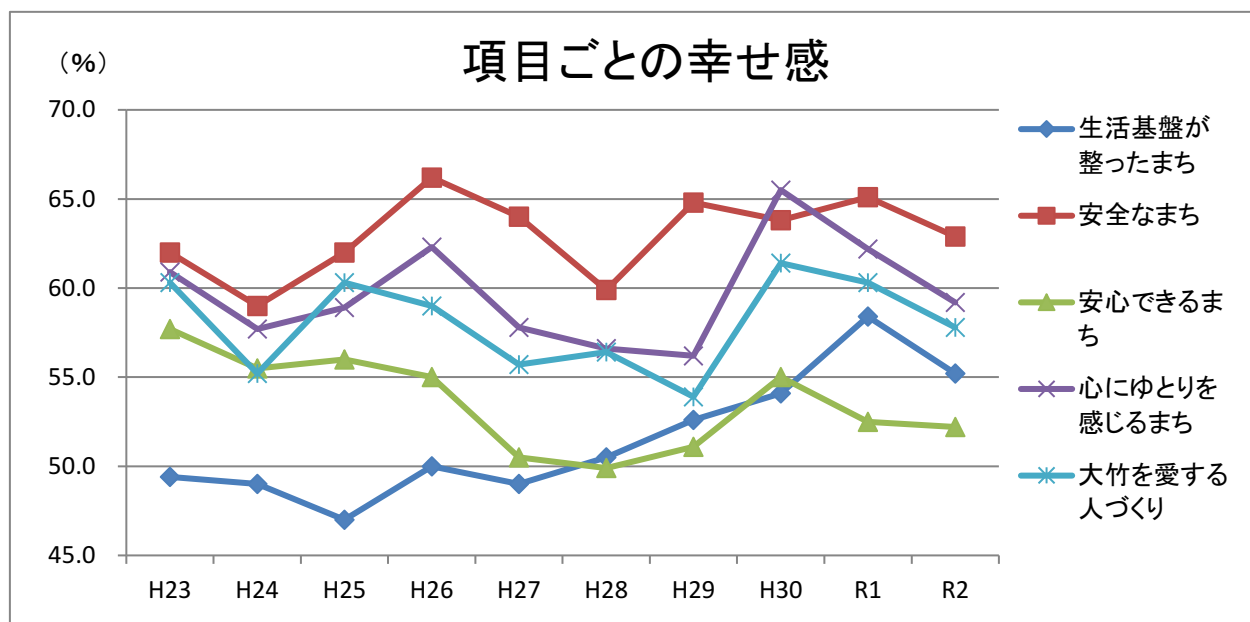
設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」の割合は、全体的な傾向と同様に、今後も住み続ける意向が強いほど高くなっており、長く住むほど地域への関心が高まる傾向にあることが分かります。



3 「わがまちプラン」中の数値の動き（過去10年間）（H23-R2）

（1）項目ごとの推移

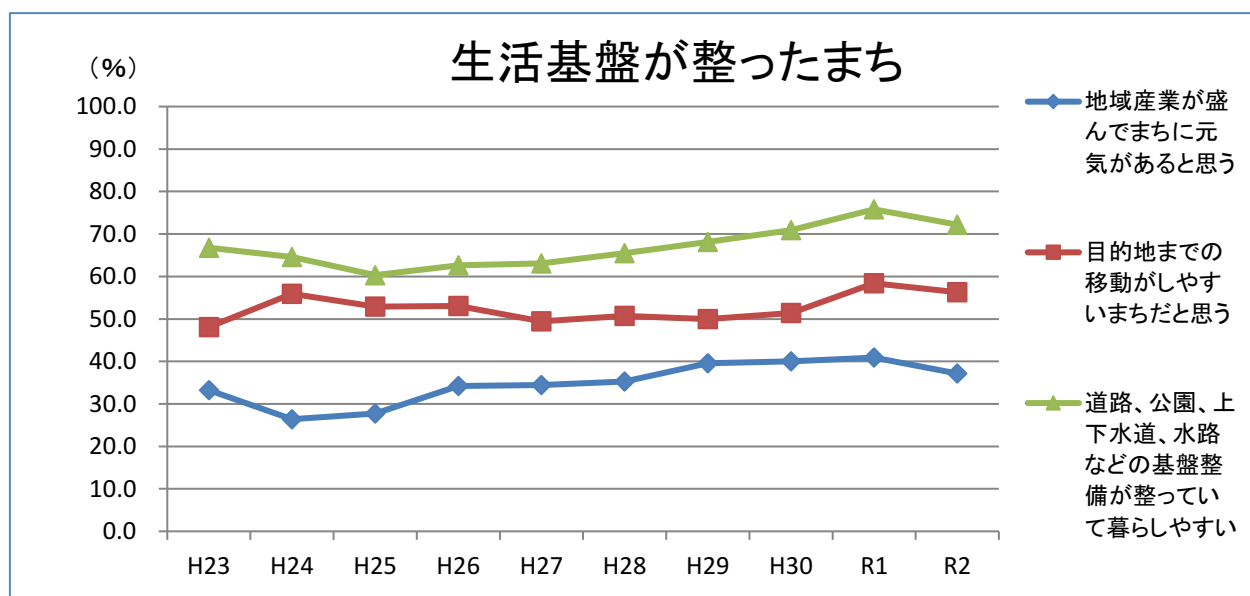
わがまちプラン後期基本計画の初年度であるH28と比較すると、全ての項目で幸せ感が高まっていますが、前年度との比較では、全ての項目で減少しています。



（2）設問ごとの推移

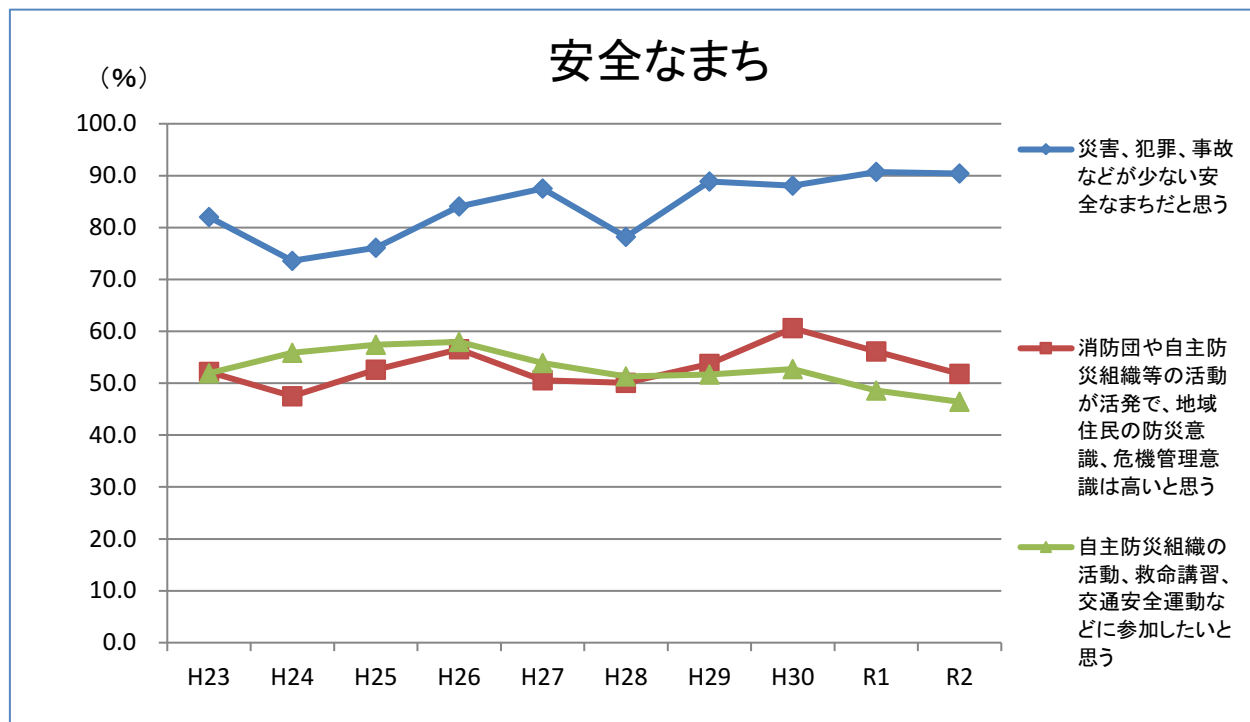
①生活基盤が整ったまち

「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は常に上位にあり、ここ数年は7割以上の人が幸せ感を感じていることが分かります。



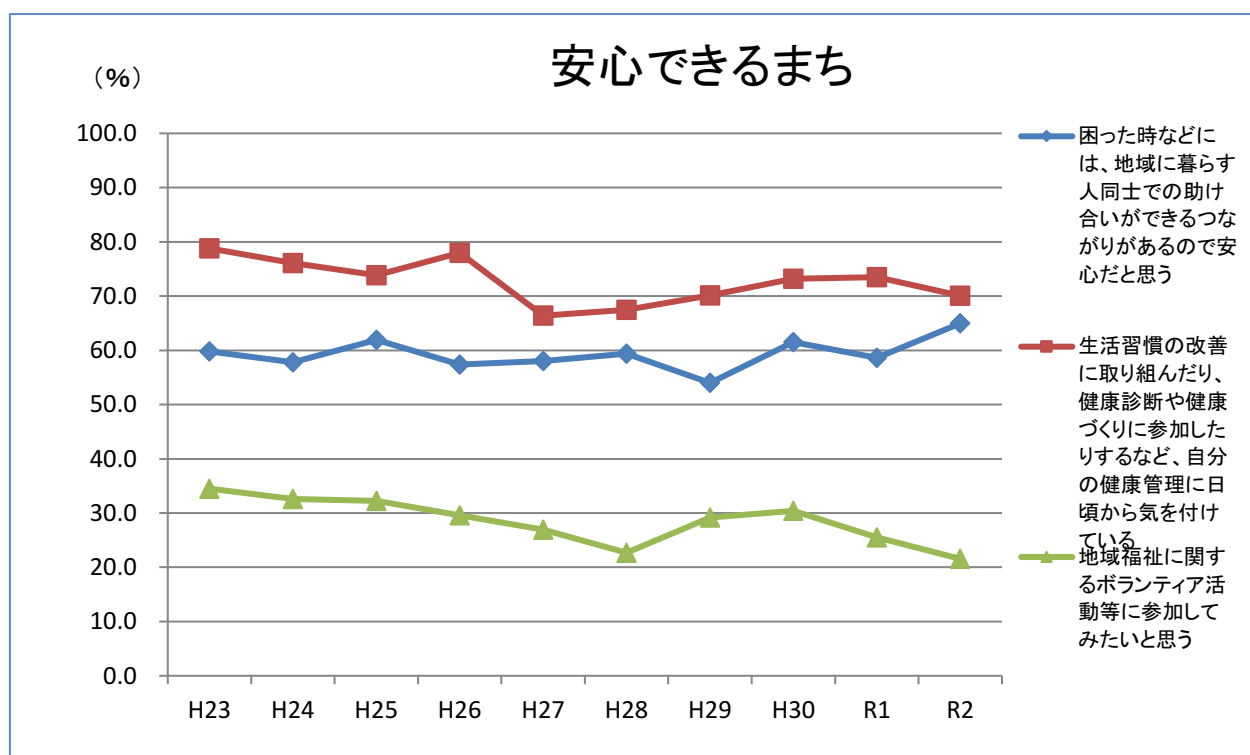
②安全なまち

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、その年に起きた事故や事件に左右されることもありますが、安定して高位をキープしています。



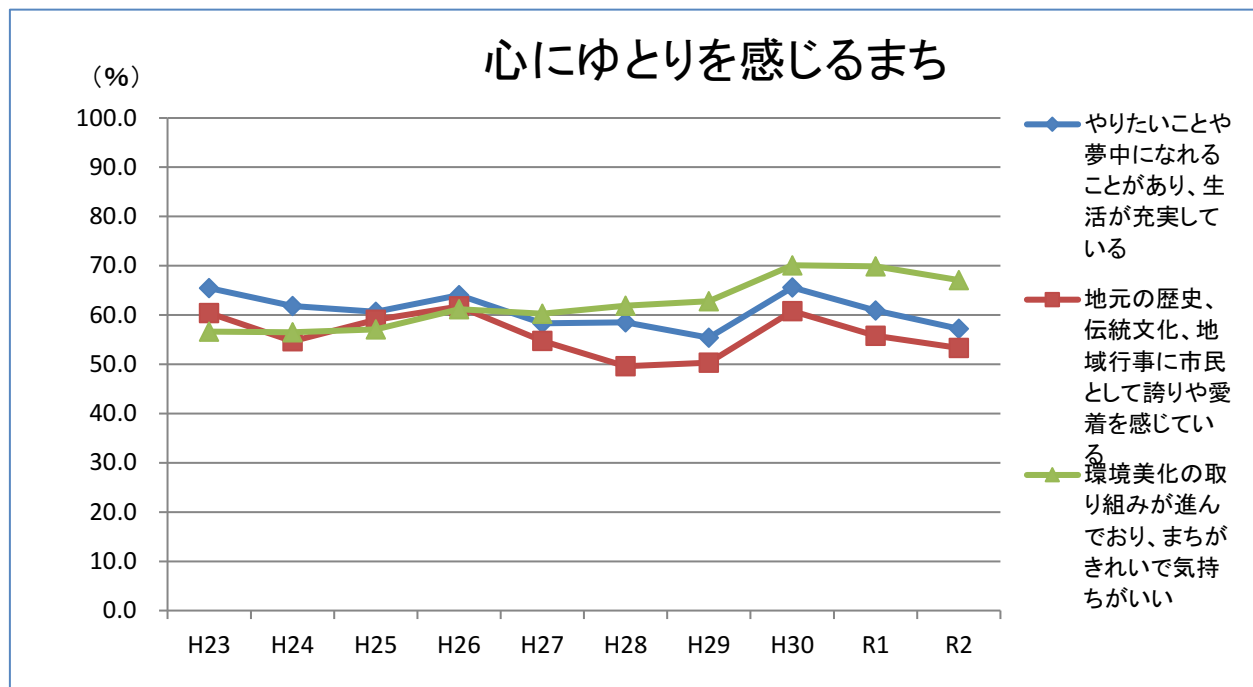
③安心できるまち

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」と「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、相関関係にありそうな設問ですが、4割以上の開きがあります。いざという時に備え、平時からのつながりをボランティア活動など、より実効性の高い取組につなげていくことが重要と考えます。



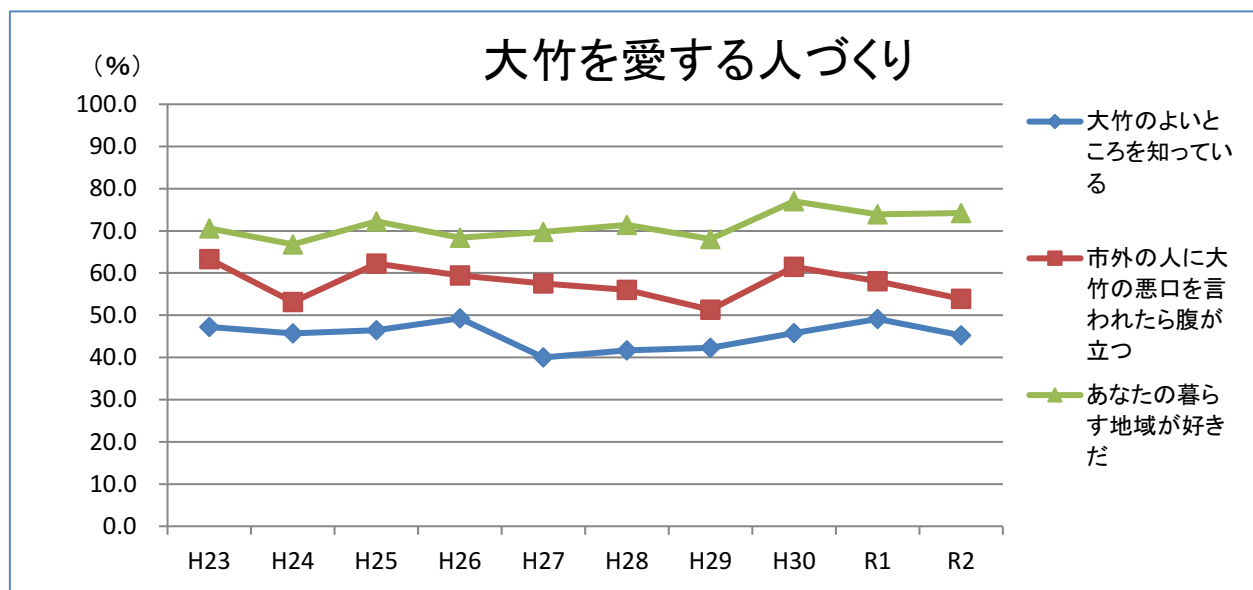
④心にゆとりを感じるまち

「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、微減傾向にありますが、依然として7割近い人が幸せ感を感じています。



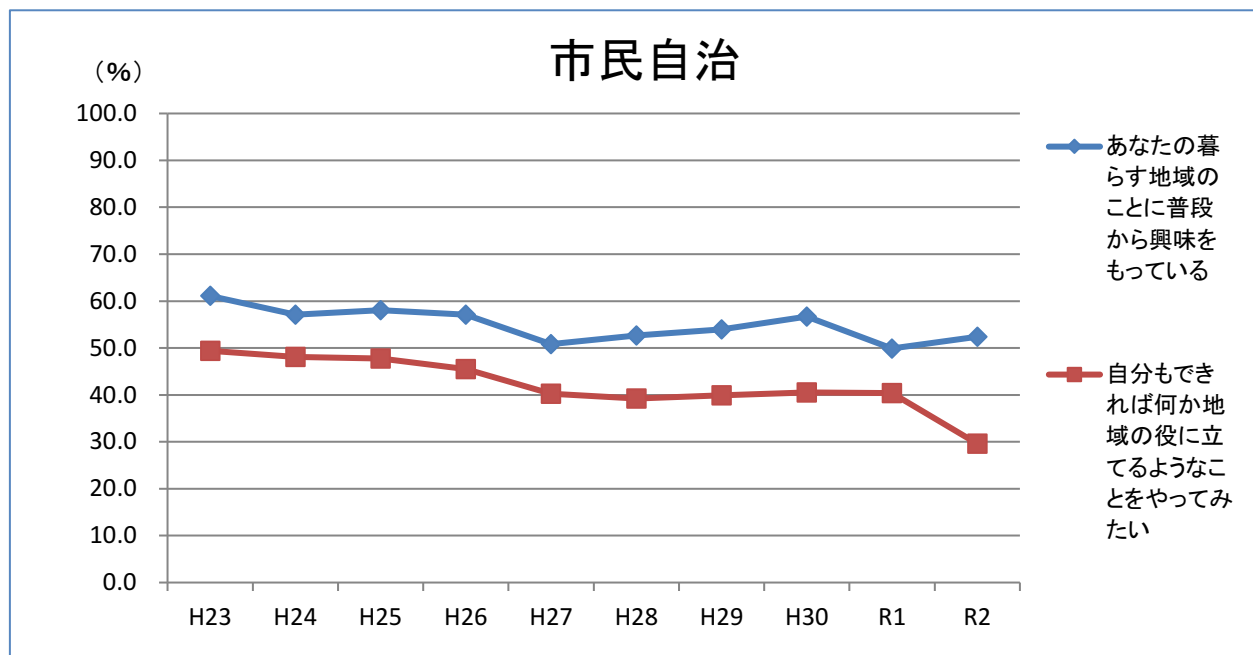
⑤大竹を愛する人づくり

「あなたの暮らす地域が好きだ」が高位をキープしており、市が行う施策において、協力が得やすい状況といえます。一方、「市外の人到大竹の悪口を言われたら腹が立つ」が減少傾向にあり、「大竹のよいところを知っている」も前年度より減少しています。大竹に誇りを持ち、市外の人にも自慢できるような「大竹の良さ」を高めていくことが重要と考えます。



⑥市民自治

「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」と「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」の間には、2割以上の開きがあります。地域への関心の高まりを、地域づくりに結びつけるような取組が求められます。



第3節 アンケート分析（モニター回答分）

1 総括（全体）分析

○単純集計結果（項目・設問別）

問番号と項目		設 問	回答(上段:割合 下段:回答数)					
			そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまり そう思わない	そう思わない	無回答
問 1	生活基盤 が整った まち	地域産業が盛んでまちに 元気があると思う	12.7	33.9	17.8	25.4	8.5	1.7
			15	40	21	30	10	2
		目的地までの移動がしや すいまちだと思う	29.7	30.5	16.1	15.3	7.6	0.8
			35	36	19	18	9	1
		道路、公園、上下水道、 水路などの基盤整備が 整っていて暮らしやすい	39.8	31.4	12.7	10.2	5.1	0.8
			47	37	15	12	6	1
		計	27.4	31.9	15.5	16.9	7.1	1.1
			97	113	55	60	25	4
	安全なま ち	災害、犯罪、事故などが 少ない安全なまちだと思 う	55.1	35.6	5.1	2.5	0.8	0.8
			65	42	6	3	1	1
		消防団や自主防災組織 等の活動が活発で、地域 住民の防災意識、危機 管理意識は高いと思う	22.9	37.3	24.6	12.7	1.7	0.8
			27	44	29	15	2	1
		自主防災組織の活動、 救命講習、交通安全運 動などに参加したいと思 う	25.4	27.1	27.1	15.3	4.2	0.8
			30	32	32	18	5	1
		計	34.5	33.3	18.9	10.2	2.3	0.8
			122	118	67	36	8	3
	安心でき るまち	困った時などには、地域 に暮らす人同士での助け 合いができるつながりが あるので安心だと思う	36.4	32.2	14.4	11.9	3.4	1.7
			43	38	17	14	4	2
		生活習慣の改善に取り 組んだり、健康診断や健 康づくりに参加したりす るなど、自分の健康管理に 日頃から気を付けている	42.4	37.3	13.6	2.5	1.7	2.5
			50	44	16	3	2	3
地域福祉に関するボラン ティア活動等に参加して みたいと思う		25.4	32.2	16.9	16.1	6.8	2.5	
		30	38	20	19	8	3	
計		34.7	33.9	15.0	10.2	4.0	2.3	
		123	120	53	36	14	8	
心にゆと りを感じ るまち	やりたいことや夢中にな れることがあり、生活が 充実している	31.4	36.4	20.3	5.9	3.4	2.5	
		37	43	24	7	4	3	
	地元の歴史、伝統文化、 地域行事に市民として誇 りや愛着を感じている	31.4	33.9	20.3	10.2	1.7	2.5	
		37	40	24	12	2	3	
	環境美化の取り組みが 進んでおり、まちがきれ いで気持ちがいい	27.1	44.1	13.6	10.2	2.5	2.5	
		32	52	16	12	3	3	
	計	29.9	38.1	18.1	8.8	2.5	2.5	
		106	135	64	31	9	9	
大竹を愛 する人づ くり	大竹のよいところを知っ ている	27.1	49.2	10.2	10.2	1.7	1.7	
		32	58	12	12	2	2	
	市外の人に大竹の悪口 を言われたら腹が立つ	43.2	32.2	15.3	4.2	3.4	1.7	
		51	38	18	5	4	2	
	あなたの暮らす地域が好 きだ	55.9	23.7	15.3	0.8	2.5	1.7	
		66	28	18	1	3	2	
	計	42.1	35.0	13.6	5.1	2.5	1.7	
		149	124	48	18	9	6	

○ 問1の各設問において、「そう思う」・「少しそう思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」と答えた人の割合を算出し、全体に占める肯定的な回答（「そう思う」と「少しそう思う」の和）の割合の値の毎年の動きにより、市民の幸せが高まっているかどうか確認します。

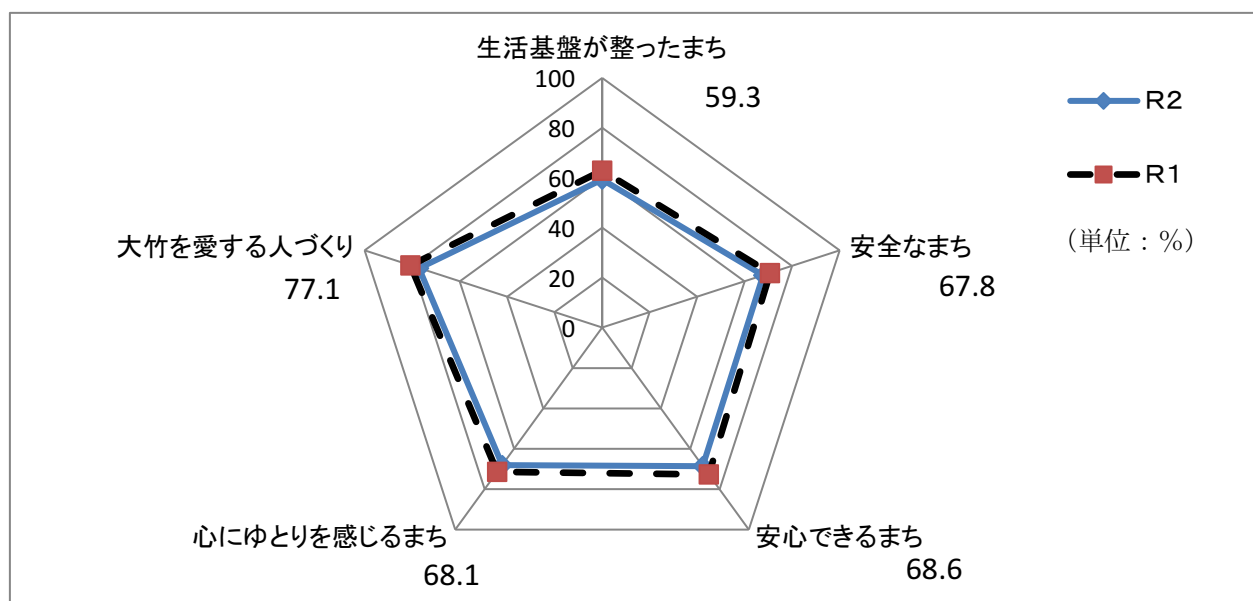
○ 問2（市民自治）については、問1と同様の方法により、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっているかどうか確認します。

（1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

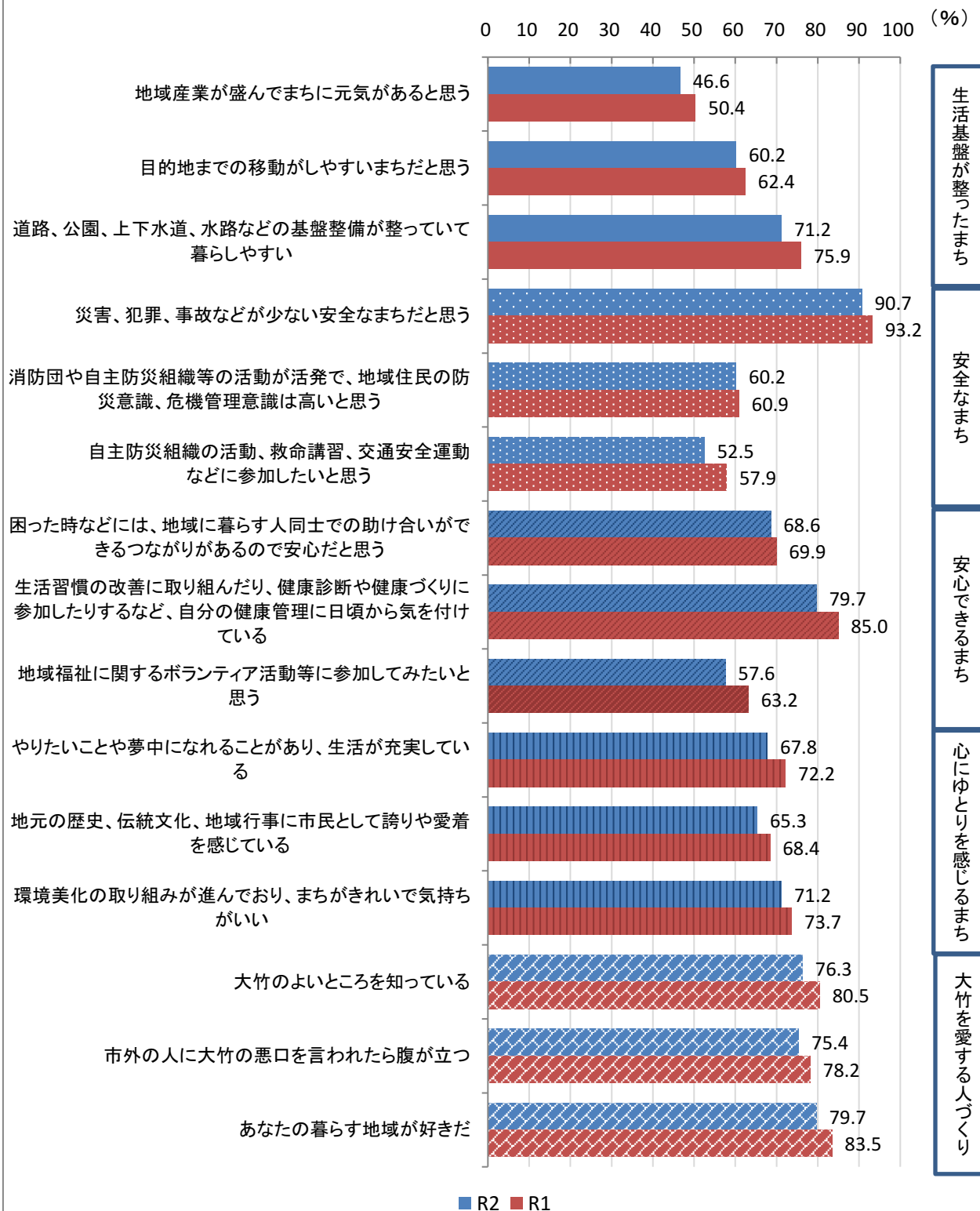
モニターには、前年度と比べて良くなっているのかどうかを伺っています。

問1全体の肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合は、前年度からやや減少し、68.2%でした。7割近くの人から肯定的な意見を得られていますが、全ての項目で前回数値を下回っています。新型コロナウイルスの影響なども考えられますが、さまざまな行政課題を着実に解消し、市民が幸せを実感できるような取組を進めていくことが求められます。

項 目	肯定的回答の割合（%）	
	R 2	R 1
生活基盤が整ったまち	59.3	62.9
安全なまち	67.8	70.7
安心できるまち	68.6	72.7
心にゆとりを感じるまち	68.1	71.4
大竹を愛する人づくり	77.1	80.7
問1全体	68.2	71.7



1年前と比べてどうかについて肯定的意見の割合



全ての設問で、前年度より肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合が減少しています。このうち、「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」の肯定的な回答の割合が唯一5割を下回っています。

(2) 市民自治（問2）について

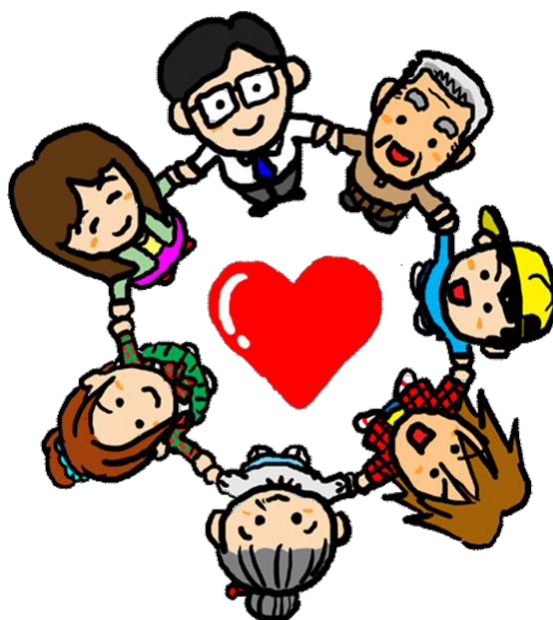
問2全体での肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合は、前年度より0.9ポイント減少しましたが、依然として高い水準を維持しています。

このアンケートのモニターに応募していただいた皆さんは、普段から、まちづくりに興味をもち、自分が暮らす地域をよいまちにするために、自らが考え行動しようとする市民自治の理念が根付いている人が多いようです。

項 目	肯定的回答の割合（％）	
	R 2	R 1
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	80.5	80.5
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	70.3	72.2
問2全体	75.4	76.3

(3) 一般の回答との比較

一般とモニターでは、尋ね方が違うので、単純に比較することは難しいですが、モニターの肯定的な意見は、設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」以外、一般の回答に比べて高くなっています。特に「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」、「大竹のよいところを知っている」、「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」、「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」の各設問は、20ポイント以上高く、中でも「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は40ポイント以上も上回っています。



第4節 自由記述「幸せ感に関するご意見、ご提案」など

※ 質問の回答になっていない記述は除いています。

※ 同じ又は類似の回答が複数あった場合は、まとめています。

1 個別の設問に関する回答（問1）

設問【自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う】について「いいえ」と回答した人がどんな活動なら参加できそうか

- ・資格が取れるような講習
- ・携帯アプリを使った便利な防災マップや避難指示等の使い方の講習
- ・地震、台風時の防災等の講習
- ・有事の際の避難訓練
- ・救命講習
- ・著名なエキスパートを招いた日常生活に活かせる講習会
- ・高齢者の輪を広げ楽しくつどえる活動
- ・若者が多い活動
- ・清掃活動
- ・文化活動
- ・まちおこし
- ・日常生活上大変重要なことなので、自意識を持ち、日常の活動を行いたい
- ・生活に支障がないイベント
- ・近場で参加しやすく、回数あって時間が選べれば参加したい
- ・子どもが分かりやすく、簡単なものなら参加したい
- ・高齢なので生活圏での行事があれば参加したい
- ・高齢者は暇があるので色んなことに参加させてほしい
- ・オンラインなら参加したい
- ・子ども向けの活動があればよい
- ・救助活動の方法などを資料配布や回覧してくれるとありがたい
- ・会社で実施しているので、応用するだけで特に活動したいものはない

設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が参加してみたいボランティア活動

- ・公園や道路などのごみ拾いなど地域の清掃・美化活動、クリーンキャンペーンのお手伝い
- ・自然の清掃活動
- ・草取り
- ・自宅内や自宅周辺の整備、草刈、段差解消
- ・動物の保護
- ・児童教育
- ・ふれあい広場
- ・地域の子どもの見守り
- ・放課後子ども教室
- ・子ども食堂
- ・子どもや高齢者とのふれ合い
- ・高齢者の見守り
- ・一人暮らしのお年寄りの安全確認
- ・独居の高齢者や共働きの両親がいる子どもたちへの食事環境補助
- ・福祉活動・読み聞かせ
- ・神社やお寺の掃除
- ・老人ホームでの高齢者の話し相手
- ・老人ホームなどでのカットボランティア活動
- ・高齢者の小さな集まり
- ・障害のある方のお世話
- ・介護
- ・まちづくり
- ・自治会主催の健康体操、サロン活動

設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が参加してみたいボランティア活動(つづき)

- ・献血会場の手伝い
- ・スポーツやイベントのお手伝い
- ・イベントのサポーターボランティア
- ・豪雨など災害時の活動、復興作業
- ・子育てしている人の役に立ちたい
- ・体操
- ・気軽に参加出来るような講座
- ・人の世話(役員をしている)
- ・自治会(役員で環境部)
- ・地域のために何かしたいと思っている
- ・体調と相談して

設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が今実際にやっているボランティア活動

- ・花いっぱい運動
- ・駅周辺のごみ拾い
- ・山でごみ拾い
- ・氏神様の清掃
- ・ごみステーション清掃
- ・子ども会の公園清掃
- ・農道の清掃
- ・阿多田島のことをSNSで発信
- ・自治会活動
- ・老人クラブ
- ・神社
- ・地区のボランティア活動
- ・YSの活動の参加
- ・高齢者の手伝い
- ・公民館での老人筋トレ
- ・スポーツ、交通、防犯
- ・一年に一度マラソン大会のお手伝い
- ・安全パトロール
- ・歩行訓練
- ・「55歳の子ども」が、手がかかるので大変

設問【環境美化の取り組みがあれば、教えてください】

- ・地区清掃、美化作業(道路、水路、側溝、公園など)
- ・子ども会の公園清掃
- ・自宅前・自宅周辺の清掃・美化
- ・小瀬川や大膳川の清掃、ごみ拾い
- ・道路に紙くずが落ちていたら拾って帰る
- ・釣りが好きで海によく行くが、ごみがあれば拾う
- ・ごみの分別、リサイクル、スーパーへの持ち込み
- ・ごみ収集場所の清掃
- ・ごみのポイ捨てをしない
- ・ごみの持ち帰り
- ・草取り・草刈り(公園など)
- ・自宅周辺の草刈り
- ・家の掃除
- ・自宅の植木の剪定
- ・花壇の花植え、花いっぱい運動
- ・花の種は球根がたくさんできた時に川の土手に植えたり、撒いたりしている
- ・玄関前や家の周りに緑や花を植える
- ・自治会の環境役員

設問【大竹のよいところを知っている】について、「はい」と回答した方が考えるよいところ

- ・暮らしやすい
- ・公園が多い、広くてきれいな公園も2か所ある
- ・晴海臨海公園。子どもの遊具やデイキャンプ場、運動場もあって活気がある
- ・買い物に便利
- ・学校が整備されている、きれい
- ・交通の便がよい(高速道路での移動が楽)
- ・大都市(広島市など)や自然にもアクセスが簡単なところ
- ・病院の種類が多い
- ・コンパクトシティで、必要なモノが身近にそろっていて便利で住みやすい。
- ・コンパクトシティで、移動距離が短くて済む(高速のインターやJRの駅、総合病院、ゆめタウンもあり便利)
- ・コンパクトなまちなので公共事業が行き届いている(インフラが整備されている)
- ・歩いて行けるコンビニが多い
- ・大型スーパーが充実(その分、地元商店街が寂れて小方地区の発展ばかり目立っている)
- ・坂道も少なく移動しやすい
- ・駅、学校、病院、銀行が近くにある
- ・人口が少ないため道路が渋滞しない
- ・スーパーが多い、食料品などの買い物施設が充実している
- ・駅前のイルミネーションや晴海臨海公園など、大竹を盛り上げようという意思を感じる
- ・公園がしっかり利用され、除草や公衆トイレの管理などもされていて使いやすい
- ・安価で安心な水道水
- ・飲食店も味がよい
- ・意外とお店がある
- ・まちがきれい
- ・騒音が少なく静かで過ごしやすい
- ・反社の事務所もなく、広島の西のまちとして住みやすい
- ・平和
- ・田舎なところ
- ・都会でもなく田舎でもない
- ・田舎で子育てしやすい
- ・環境がよい
- ・自然が豊か(海、山、川、島)
- ・海・山が近い
- ・登山できれいな景色が見られる
- ・自然がいっぱいで空気がよい
- ・自然も多くのんびり暮らせる
- ・海・川がきれいな状態
- ・水がきれいで美味しい
- ・大竹と山口の県境のウォーキングできる小瀬川遊歩道の自然や景色
- ・人がやさしい
- ・親切な人が多い、思いやりがある
- ・あたたかい人が多く、人と人のつながりがある
- ・住民が親しみやすい
- ・地域のコミュニティが充実している
- ・大竹高校の先生が登下校中学生の横断の誘導を行っている
- ・地元愛が強いところ
- ・差別を感じない
- ・人情味あふれる地元思いの気質
- ・人柄がよい。道で顔を合わせた時などあいさつしたり声かけということは簡単に見えて意外とできないこと。引越してあいさつをしてもらおうと受け入れてもらえたように感じて安心する。何度か移り住んできたが大竹が一番だと思う
- ・子どものあいさつがよい
- ・地域のつながり、団結力
- ・困っている隣近所の人がいると会長宅まで案内してくださったり、横の連携ができています
- ・近所同士で助け合いができる
- ・地域の活動に参加している人が多い。高齢者が多い
- ・長く地元勤めている人が多く、信頼できる人が多い

設問【大竹のよいところを知っている】について、「はい」と回答した方が考えるよいところ(つづき)

- ・子どもを見守る風土がある
- ・自治会など地域の活動が盛ん
- ・小さいまちだけど皆仲が良くて優しい人が多い
- ・玖波で店を起業したが、商工会、近くのお店が協力的に支援してくださり、地域住民の関わりに感謝している
- ・大竹生まれ育ちで、知り合いも多く、老後を暮らしている。人情に厚い
- ・三倉岳
- ・マロンの里
- ・晴海臨海公園
- ・亀居城
- ・阿多田島
- ・蛇喰磐・キャンプ場
- ・錦龍の滝
- ・弥栄ダム周辺
- ・歴史遺産が充実
- ・花火大会や祭りの行事、公民館活動が充実している
- ・昔の祭り・行事の伝統が続いている
- ・大竹祭
- ・玖波祭の奴行列は特に迫力があってカッコよい
- ・手すき和紙
- ・和紙工房
- ・ストーンアート
- ・阿多田のハマチなど地域ならではのものがある
- ・美味しい食べ物、特産物がたくさんある
- ・夜景がきれい
- ・大竹の工場夜景はどこにも負けないくらいきれいなのが特によい
- ・駅前のひろばのイルミネーション
- ・見回り・見守りの警察をよく見かける
- ・治安も良くて安心して暮らせている
- ・身近にクリニック、デイサービスも多い
- ・災害や犯罪が少なくて安全
- ・まちの規模が小さく人の往来が少ないので、コロナ禍でも都市部より安心して暮らせる
- ・行政の行動が早い
- ・財政が健全
- ・大竹支所に高額医療申請に伺った時、若い女性の職員に親切に対応していただき感謝している
- ・子どもの医療費助成がある
- ・新型コロナのワクチン接種の開始日が早かったこと
- ・コロナワクチン接種がスムーズで、活動している方に知り合いが多い
- ・図書館が利用しやすい
- ・待機児童がいない
- ・子育て支援が充実している
- ・子どもが生まれた時、資金援助があった
- ・公民館活動へ参加しやすい
- ・新型コロナの給付金の対応が他市より早かった。コイちゃんクーポンも他市に比べ、使いやすかったと思う
- ・地域券(コイちゃんクーポン)を素早く発行してくれて助かった
- ・大手企業が複数あり、産業がしっかりしている。工場に勤める優秀な人が多い

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「はい」と回答した方が、特に好きなどころ

- ・近所の人たちで声掛けし合えるところ
- ・人が親切、あたたかい人たちばかり
- ・近所づきあい、隣近所との関係がよい
- ・転入してきましたが、近所の人たちが優しい
- ・近所が親切で自由に生活できる
- ・地域とのコミュニケーション(自治会のボランティア活動に参加している)
- ・あいさつが飛び交う、人があたたかい

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「はい」と回答した方が、特に好きなおところ(つづき)

- ・人が優しく、付き合いやすい
- ・あいさつがよい。気持ちがよい
- ・地域の人たちの絆が強い
- ・困っている時助けてくれる人が周りにたくさんいる、助け合いの精神が豊か
- ・理解ある人たちで感謝している
- ・住民同士の距離感がよい
- ・知り合いが多い、長く住んでいて慣れている
- ・人の和、住民同士のつながりが深い
- ・人間関係が良く、人情がある
- ・自治会や近所のつながりがあって暮らしやすい
- ・人が優しく、迷うことがあったら丁寧で教えてくれる
- ・行事が決まったら、皆行動してくれる
- ・まちに人情味があり、楽しく暮らせる
- ・物事に取り組む姿勢が一生懸命
- ・災害が少ない(致命的な自然災害がない)
- ・交通が安全
- ・治安がよい
- ・犯罪や事故がなく住みやすい
- ・安全なまち
- ・安心して生活できる環境が整っている
- ・川がきれい
- ・まちがきれい
- ・広い公園が整備されている
- ・道が通りやすく、公園もきれいになった
- ・岩国空港ができたことで便利になった
- ・平坦な土地
- ・天気がよい
- ・若い人は物足りないと思うが、便利はいいと思う
- ・通勤地との程よい距離
- ・小規模なまちなので混雑が少ない
- ・小瀬川の河川敷
- ・散歩しやすい、よい散歩コースがある
- ・早朝にウォーキングで利用している公園がきれい
- ・おだやかに毎日を過ごせる
- ・のんびりしていて生活しやすいところ
- ・不自由なく暮らせる、住みやすい
- ・身近に何でもあって便利、坂もなく暮らしやすい
- ・暮らしやすい、居心地がよい
- ・コンパクトなまちで、身近に海・山・商業地もある
- ・環境面。のどかで鳥のさえずりが聞こえる
- ・自然が豊かでのびのび暮らせる
- ・海・山があり、星がよく見える。環境がよい
- ・緑がきれい
- ・車がないと不便な所だけど自然が多い
- ・自然がいっぱい、ほどよい田舎でまちにも出やすい口
- ・山・川・海が近く、四季折々の楽しみがある
- ・緑が多く、広々している
- ・自然が多く、災害が少ない
- ・自然豊かでのんびりできて子育てによい
- ・水がきれい
- ・生まれてからずっと住んでいるが、住みよい
- ・喧騒感もなく寂しくもなく心地よく感じる
- ・おだやかで静かなまち
- ・人口も少なく、あまり活気があるまちとは言えないが、犯罪も少なく、静かなところがよい
- ・田舎すぎず、都会すぎない
- ・田舎なところ。小学生の楽しそうな声が聞こえる
- ・程よい田舎で広島市内に1時間以内で行ける

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「はい」と回答した方が、特に好きなところ(つづき)

- ・ある程度生活する基盤が整っていて、静か
- ・夜も静かで平和なまち
- ・ゆめマート、セリアが近くにある
- ・商業施設も充実しており、自然もある
- ・公園も充実し、便利が良くて生活しやすい
- ・買い物できる施設、駅、病院が近くにある
- ・駅が近い、JRの便もよい
- ・晴海臨海公園
- ・学校や病院や店が近く、遠くまで行かなくて済む
- ・油見は駅近で便利で暮らしやすい
- ・公共施設が最低限揃っている
- ・ゆめタウン、トライアルがある
- ・スーパー、コンビニ、ドラッグストア、図書館、病院に困らない
- ・適度な人口密度
- ・店があって、人が少ないところ
- ・年齢が上がるにつれ、暮らしやすさを感じる
- ・工場がある
- ・城や伝統産業
- ・地域行事が活発
- ・さまざまな活動が「自治」で行われている風土
- ・バランスの良さ
- ・無駄が少ないところ
- ・団地と言われてる地域の方は大企業で仕事をされている方が多いと感じる
- ・小さいまちだが、その分良く知ることができる。毎月の広報紙で情報を知ることができ、取組もたくさんあると思う。何度か引っ越しをしているが、大竹市のようなまちは意外と少ない
- ・ごみカレンダーが分かりやすくてよい
- ・大都市でないため、高齢者のワクチン接種も早い
- ・民生委員の人から月1で電話がある
- ・ずっと住んでいるので馴染み、愛着がある

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「いいえ」と回答した方が、好きになれない理由

- ・人口がだんだん減ってきているし、活気があるとはいえない
- ・年寄りが多くて活気がない。子どもの声が全く聞こえず静かでさみしい
- ・最近では若い人の移住が増えているように思われるが、何となく潤いがないように思う
- ・昔は活気があり元気があった気がするが、今はない
- ・活気がない。人口を増やし、商店を増やしてほしい。病院も増やしてほしい。めずらしい商店を作り、大竹市外から人が来るまちにしてほしい
- ・何か暗い。みんな同じように感じていると思う
- ・人口が少ない。商店の本通りも淋しい
- ・商店もないし、空き家も多い
- ・便利が悪い
- ・病院や店が少ない
- ・交通機関が少なく、交通環境の整備が遅れている
- ・車がなければ生活できない。交通手段がなく、高齢になった時に心配
- ・駅までが遠いので市内へのアクセスが不便
- ・利便性がない。店ができて点々としているので買い物も一度に終わらない。廿日市みたいに1か所にモールができると便利
- ・山が近いので電波が届きにくい。日当たりが悪い
- ・スーパーが近くにない。買い物が不便
- ・玖波にスーパーがないのでゆめタウン、トライアルへこいこいバスを利用している高齢者の姿をよく見る
- ・こいこいバスをなくしてほしい。大竹駅で車を運行の邪魔にならないところに止めていても文句を言う。停留所で行き過ぎてバックして後方の車に嫌がらせをしている。運転手の態度が悪い
- ・公園が草だらけ。道端の草が伸び放題
- ・白石地区の道路の段差
- ・生活道路の老朽化

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「いいえ」と回答した方が、好きになれない理由（つづき）

- ・道路が整備されていない
- ・道が狭い
- ・自営業を営んでいるが、市役所にお勧めの方は量販品やネット販売を利用するのでなく、少々価格は高めでも地域の小売店を利用してほしい
- ・市民の負担が多い。若い人や就労している人は日中忙しいのに、地域の清掃が日曜日になってかなり負担が増えている。人口の減少と共にたくさんのことを考える時期では
- ・日中働いているため、公民館活動などに参加できない
- ・隣まちは子どもの医療費・給食費が無料なので、無料にしてもらえともっと住みやすい
- ・米軍機の騒音
- ・工場のにおい。大竹駅の山側と比べると海側は工場が近いので臭い
- ・牡蠣殻の異臭
- ・工場からの有害な煙が多く、空気が悪い
- ・夜中に走り回るバイクの騒音
- ・深夜までスナック、カラオケの音がうるさい
- ・子どもが少ない
- ・子どもを育てにくい
- ・大竹高校のレベルアップが必要
- ・地域のことは他人事に思っている。まとまりがない
- ・いつまでもよそ者意識が強い
- ・地元の方は地元愛が強いので面倒な人が多い。今は子どもがいるので大竹に住んでいるが、ずっとは住みたくない
- ・自分のことばかり考えている人が多い
- ・あいさつをしない人が多い
- ・干渉しすぎ、お節介な人が多い
- ・昔から住んでいる人の特性なのか、人のことを必要以上に干渉しすぎる人が多く、些細なこともすぐ広まり嫌な思いをすることが多い。高齢者に意識改革が必要
- ・交通ルールの守れない車、自転車、人が多く、危ない
- ・生活道路を県外ナンバー車が頻繁に通るが、マナーが悪い
- ・街灯が少なく夜道が暗い
- ・車道に街灯が少ない
- ・草が伸び放題で、犯罪が起こりやすい
- ・温暖化で雨水の量が多くなっているが、道路の排水に注意が行き届いていない。河川の防災対策が必要
- ・大雨が降ると浸水する
- ・文化レベルが他のまちに比べて低い
- ・若者向けではない、独身だと住みたくない
- ・自治会活動
- ・市職員が型にはまっていて独創的ではない
- ・市役所の対応が不親切すぎる
- ・公共施設の窓口担当者の態度、言葉遣いが悪く利用したくない
- ・もっと人が集まる場所を作るとよい

2 市民自治について（問2）

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「やってみたいこと」

- ・地域の清掃活動・ごみ拾い
- ・環境を美化すること
- ・公道の緑化・美化・清掃。子ども達が自由に遊べるようきれいにしたい
- ・草取り
- ・海をきれいにしたい
- ・花を植えたりまちをきれいにすること
- ・子どもや地域の人にスポーツを教える
- ・子どもが安心して育てられる地域にしたい
- ・子どもの本読み聞かせ
- ・通学時など子どもの見守り隊
- ・地域支援ボランティア
- ・サッカー大会を開催したい。子ども向けの教室を開催したい
- ・子育て関係
- ・施設に入所できないお年寄りのサポートや子ども達のサポート
- ・高齢化により一人暮らしが増えているので、毎日井戸端会議を開いて親睦と安否確認を行う
- ・高齢者の方へスマホ操作のお手伝い
- ・孤独感を持っている方が多いので、癒される場所を提供したい
- ・大竹が活気づく、地域がにぎわうようなイベント
- ・人が集まるような場所をつくりたい
- ・自治会の行事・活動、大竹の行事に積極的に参加したい
- ・簡単なお手伝い程度なこと
- ・健康増進ができる場を作る
- ・駅伝（ボランティア）
- ・教育、地域産業の振興
- ・晴海にサッカー、ラグビー専用グラウンドを作りたい。大竹市に新しいラグビー文化を作り、2019年ラグビーワールドカップのような地域全体で盛り上がれるまちにしたい
- ・若い世代が大竹市に定住し、他市まち村への流出を止めるために必要な意見交換会
- ・豪雨の時の浸水対策の提案
- ・移動スーパー、介護タクシー
- ・カフェ
- ・毎週末自由時間があるので同世代の人と交流したい
- ・大竹の魅力を市外、県外に発信したい
- ・阿多田の水産を世に広めていきたい
- ・海の家あたりの活用がされていないので、気軽に来れるようにしたい
- ・もう少し地域の特色を生かした活動ができれば。自然を活かした公園とかアウトドアができるように
- ・趣味を持ちたい

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「今実際にやっていること」

- ・公園の清掃
- ・油見公園は子どもたちがにぎやかに遊ぶので、自治会の清掃以外で公園の草取りを心がけている
- ・大河原山のごみ拾い
- ・市役所庁内での美観・美化活動
- ・カエルの捕獲、草刈り、池干しをしている
- ・地域環境（に關すること）
- ・油を流さない
- ・ごみのポイ捨てをさせない
- ・自治会活動（会長、役員、通常の活動・ボランティア）
- ・老人クラブ、神社の役員
- ・自治会、老人会で20年くらいカラオケ教室を実施している
- ・公園の清掃
- ・油見公園は子どもたちがにぎやかに遊ぶので、自治会の清掃以外で公園の草取りを心がけている

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「今実際にやっていること」(つづき)

- ・子ども会の会長
- ・ボランティア活動
- ・スポーツ、交通、防犯関係の活動
- ・日常で話を聞くこと
- ・雨水排水ルートの確認
- ・職業柄、メディアを通じて大竹の事を発信している
- ・民生委員
- ・YS活動
- ・岩国市、大竹市で大人から子どもまでラグビークラブをやり、コーチもやっている。各学校にチラシ配布イベントを考えている
- ・子どもへの声かけ、小学生の登校時の安全確認
- ・買い物、医者通いを送迎
- ・フリーマーケット
- ・SNS、清掃、MAP作成
- ・デイサービス
- ・教育の仕事
- ・筋力トレーニング
- ・大竹市内で外食する
- ・地域で困った問題が起これば協力したい

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が、やってみたいと思ってもできない理由

- ・働いているので時間がない(フルタイム、市外勤務など)
- ・70歳までは働くため
- ・今は仕事と家庭の両立で精いっぱい
- ・仕事や家のことで手いっぱい、周囲のことをしている場合ではない。地域にちょっとしたお助け隊登録があったりすれば心に余裕が出る気がします
- ・子育てや仕事で忙しい
- ・子どもがまだ小さいため
- ・介護で何もできない
- ・身体が弱っている、体調に自信がない
- ・体力的に無理な面がある
- ・年齢的にできない(高齢)。他人に迷惑をかけないようにするのが精いっぱい
- ・まとまった時間が取れない
- ・時間とお金がない
- ・お金と人脈がない
- ・余裕がない
- ・新型コロナのため
- ・人前に出たり仕切ったりするのが苦手
- ・市の受け入れ体制が不透明
- ・新しいことにチャレンジしてもらいたいのが理解してもらえない
- ・一緒にする仲間がいない
- ・賃貸で居を構えているので地域の人との融和が難しい
- ・近所付き合いをする時間が取れない
- ・高齢化が進み、若いリーダーが少ない
- ・市役所の職員が頑張れば良いと思う。意見の聞き取り、本気でなればもっとできると思う。個人でできることは限られているので市職員、議員の方ももっと本気で考えてほしい

3 心配に思っていることと解消する方法（問3）

◎項目「生活基盤が整ったまち」

○設問【地域産業が盛んでまちに元気があると思う】

心配に思っていること	解消する方法
人口が少ない、減少している	若い人たちが住みやすいまちづくり 子育てしやすいまちになるとよい 地域産業に力をいれる 土地の地価を安くして住宅を増やして人口増に
若い人が少ない。若い人たちを受け入れる安い住宅が少ない。定年後の雇用の問題	資格がなくても経験、体力のある方に協力を得る。定年後の資格、技術のある方の力を借りる 若い人が住みたいと思える環境づくり。仕事のやり方も近年変化してきているので、海山が近い、観光地が近いなど、大竹ならではの魅力を使う
住めるところが少ない。海がきれいなことをもっとアピールしてほしい。観光できる所が少ない	住宅地を増やしてほしい
若い人が働ける職場が少ない。業種が限られていて若い世代の定着が難しく、市外に就職する人が多い	若い人が働ける魅力ある産業がもっとあると人口も多くなる 働く場所を多く確保できればと思う
幸福と感えない 身内に優しく待遇格差のある企業が多くみられる	生きがいを得るような仕事がない。大企業も上の人間が腹黒いのでズバツと切るしかない
高齢者が多く若者が少ないイメージ。年配の方向けの施設ばかり。高齢者は赤信号でも平気で無視して歩く	魅力あるまちづくり 若い人が暮らしやすい環境
高齢化が進み、大竹駅周辺に賑わいがない	子育てしやすい、若い人が大竹を選ぶ事業や施策
地域産業自体が消滅しつつある。元気がない	市による後押しが必要 地場企業の活性化
工場はあるが地域産業が思いつかない。地場産業の特徴をあまり知らない。地域産業についてPRできる機会があまりない	PRイベントを月1でも開催 SNSを利用する ふるさと納税のアピール 地元企業の紹介。地元企業は積極的に市民の採用を優先し、大竹市の住めるようになるとよい
まちに元気がない 産業は盛んだがまちが元気ともいえない 産業が盛んではない 外食産業が少なく、元気がないように感じる。外食できる場所が少ない	コロナがなくなること 駅周辺、オシャレなお店ができるなど 人口を増やす 外食産業を増やす。丸亀製麺、スシローなど
大竹という小さなまちに大手企業数社があり、工場がたくさんあるのに活気に乏しい	起業したい方への援助策 産業・企業の誘致をする、若者を採用する 若者がまちづくりに協力 飲食店、居酒屋の誘致。チェーンすし店を建てたら一人勝ち
スペイン通りと駅前が寂しい。商店街がさびれ、シャッター街になっている。活気やにぎわいがない。せっかく高校があるのに学生たちのよりどころがコンビニくらいしかない	道の駅の誘致 若い世代でも入店できるお店作り 人口定着、増加 高齢者にとって不便であり、小方地区ばかり発展させることは市にとっては良くない 子どもが遊べる場所や、若い人が興味をもつ街並みにする
道の駅みたいに産地のものが買えるところがほしい	土地はたくさんあるので施設を作ってほしい
工業は盛んだが商業は沈んでいる。お店が少ない	個店の魅力アップと発信力が必要
休日に閉店しているお店が多い	まちの活性化
あたたかくてよい店だけど古いイメージ	オシャレなカフェがほしい
地域産業というか玖波にはお店がない、買い物ができない、一人暮らしのお年寄りもいる	移動販売車など暮らしの手助けをしてあげる
商店の消滅、買い物難民の増加 大竹市内に飲食店や洋服の店が少ない。買い物や食事のために広島市内や廿日市、岩国まで行かないといけない 工場働く人が地域で暮らしているが飲食店が少ない	店舗を増やす。スタバ、ドトール、ケンタッキーフライドチキン、モス、回転すし、丸亀、ジョリパ、ロフト、ユニクロなど

○設問【地域産業が盛んでまちに元気があると思う】(つづき)

心配に思っていること	解消する方法
若い世代があつたらいいと思う店がない。あってもゆめタウンくらい。ゆめタウンも高齢者向け	飲食店、アミューズメントパークを増やしてほしい
市役所、ゆめタウン辺りに遊具だけでなく、集まるような仕掛けがほしい	子どもだけでなく広く、一般の人達が行ってみようと思える場所作り
遊び場が少ない	広島市やアウトレット行きのバスを出す
他市まちへの移動が簡単なため、より便利なところへ行きやすい	絶対数が少ないので難しいが、地場産業を本当に大切に
廿日市・岩国方面から人がたくさん来ているとは思わない	空き地を有効利用し、人を呼べる施設を作るべき
「大竹市に来た」と思える要素が見当たらない	工場だけでは、大竹が発展することはない。新たな産業が必要だが、必要に応じて産業も盛んになるはず。また、大竹＝工場ではなく、大竹と言えば〇〇というものがあればよい
他の地域へのアピール	大竹市民が自慢できるような楽しいイベントの開催
田舎の地域は過疎化が進んでいるので活気がない	ターンUターンもしくは週末移住など地域を活用する環境を整えてはどうか
発展させる場所が偏っている	無理に盛んなまちにしなくてもいい
石油コンビナートなので、脱炭素や脱プラスチックの流れから将来が不安	(回答なし)
老年世代と若い世代が分離されている	(回答なし)

○設問【目的地までの移動がしやすいまちだと思う】

心配に思っていること	解消する方法
バスの本数が少ない。近くにバス停がない。交通手段が限られ、車がないと移動できない。高齢者が多く、免許を返納すると移動手段が限られてしまう	バスの本数を増やす(1時間当たりの本数など) ルートを増やしてほしい 停留所を増やす 乗り合いタクシーを増やす 家の近くまでバスの巡回がほしい
市内移動が不便と思っている。乗り合いバスは便数が少なく、料金が高いため利用しづらい	無料バスがあるとよい 便を増やして、料金を近くなら100円、一定以上の行程なら200円くらいに設定すれば利用しやすい。
駅までのバスが少ない	もう少し本数を増やしてほしい
団地へ上がるバスが少ない	乗り合いバスの導入
車で小方学園に行くのは、駐車場もあり便利だが、車がない場合は不便なのでバスを通してほしい	こいこいバスの路線を通してほしい。小方学園の近くにバス停がほしい
元まち、本まち地区の市内バスの運行がない	西医療センターまでつながるバスがあると年配の方々は 大助かりだと感じる
こいこいバスを大和橋まで広げてほしい	みんなの声を聞く
こいこいバスはあるが玖波8丁目住民には恩恵がない	玖波駅～7丁目～8丁目バスの新設検討
栗谷はバスの便が少ないので、免許を返納後、まちへ出る手段が限られる	栗谷に人が来るように考える。バス便も増え、地域の方も出入りしやすくなる
白石に市営バスを	バス路線を増やす
ぐるりんタクシーがあるので幸せです。元まち、中学校方面にあればと思う	路線を広げる
こいこいバスの運行経路が、学校を中心とした経路ではないので子どもの利用が少ないと思う。夜10時頃に1本はあってほしい	こいこいバスのアンケートを学校等に協力してもらい、利用の多い時間帯を模索する
交通手段が少なく移動が不便。車やタクシーを使わないといけない	バスを増やす、100円の路線バス バス停を増やす、こいこいバス路線の充実 移動手段を増やす 道路を増やす 利用数が増え運営が良くなり、将来的には高齢者の免許返納でより便利になることを期待している 大竹駅、岩国大竹道路の整備を早く進めてほしい。
車がないとゆめタウンに行きにくい	バスは市内全地域をめぐるような運行にしてほしい 週1、2回乗り合いタクシーとか曜日を決めて運行
玖波付近にはスーパーなどの買い物できる場所がない。お年寄りが困っている。車がないと不便なのでこちらが見ていてハラハラする高齢者が運転している	配達する店もあるが、家から出て店で商品を選ぶことでひきこもりを防いだり楽しみもできると思うので定期的にバスを出す。タクシー会社と連携して割引などがあれば使いやすいのではないかな

○設問【目的地までの移動がしやすいまちだと思う】(つづき)

心配に思っていること	解消する方法
高齢者にとって最寄りのスーパーや病院が遠い。車がないと不便	バスの本数を増やす 移動販売車があればよい 出店者がいればよい
JRの駅が遠い、移動手段	早く2号線側の駅入口(大竹駅)を作してほしい 小方新駅を早期に実現 路線バスのルートを広げる
スーパー・駅まで行く公共の乗り物が悪い	効率良く市内を走るバスの便を増やしてほしい
市役所近くにJR駅がない。初めて手続きに市役所に来た時、車がないと不便さを感じた	小方新駅を早期に実現
こいこいバスの沿線以外の交通網が弱い。運行時間が短い。高齢者に優しくない	バスの本数を増やす、タクシーの助成
コンビニに行きたくても近くにないので、車か自転車で行かないといけない	もっとバスを増やしてほしい
地域を回るバスがあったが、利用者が減少のため廃止され、タクシーしか交通手段がない	
車の運転ができる間はいいが、高齢者になり、免許を返納した後が心配	タクシーが不足しているのでは 乗り合いタクシー
身体が不自由の為買い物にはタクシーを利用します。出費がかかるので補充してほしい	タクシーの利用。促進バスなどのインフラ整備でなく、必要な時使えるタクシー配車
バスとJRだけではスムーズに移動できない。車を買うまで困っていた	
電車が少ない。1時間に10本は欲しい	JRに要望
昼間のJRの本数が少ない	
広電が通っていない	宮島～大竹間の広電開通
大竹駅が片側からしか利用できない	新しく工事が始まったので良かったです
大竹駅周辺の整備の遅さ、駅はバリアフリー化できていない	進めている事業を安心・安全にやってほしい
新町本町周辺の道路が狭く分かりづらく、通学路も狭い	道をきれいにしてほしい
道路が狭い	
国道、JR線路があり行き来がスムーズにできない	高架をつくる。踏切が下りる時間を短縮する
市内に幹線道路が少なく、つながっていない	計画道路上の方に移転していただく
国道から大竹駅へのアクセスが悪い	陸橋や地下道を広げたり、増やしてほしい
	広島市内まで直通道路、渋滞緩和
広島市まで距離がある	JR快速電車を増やし、人口を増やし活気が出るまちにする
岩国大竹道路の進展が遅い	予算の追加
大竹岩国間の渋滞	大竹岩国道路の早期開通

○設問【道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい】

心配に思っていること	解消する方法
玖波中から玖波駅までの歩道に街灯が少ない	街灯を増やしてほしい
歩道の安全	ガードレールを設置して安全を確保する
歩道のデコボコが多くて歩きにくい。特にベビーカーなどはガタガタで歩きにくい	整備・舗装・改修してほしい。平らにしてほしい
道路の段差が多い。白線が消えている	道路の整備
歩道に雑草が押し寄せてきて通行しにくいところが多く、全体的に歩道が全く整えられていない。利用する方が少ないからなのか思いつつ、あまりにひどい	こういう所に気がついていないのがそれとも予算がないのかわからないけど、もし、前者にあれば大竹市役所の方は職務怠慢とは思えない
歩道の白線内に電柱がありびっくり。通れない	改善してほしい
道路の溝・水路の蓋をしてほしい。街灯も少なく夜、落ちる危険があるだけでなく、車の通行が困難。また、大雨の時も大変不安	蓋をする。道路環境の整備
水路の補装をしてほしい	
狭い道が多い。運転が難しい箇所が多い	地元住民が立ち退きに応じれば、市は補償を十分にします
道路が悪い	整備してほしい
道路がガタガタで危ない	道路の整備をしてほしい
大型車が通る道路のデコボコが多い	大竹市が頑張る。すぐ補修する
家が密集していて、細い道だが人通りが多いところのアスファルトがボコボコで、水たまりが多くできている	しっかり予算をとって少しずつでも直してほしい

○設問【道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい】(つづき)

心配に思っていること	解消する方法
道路整備(標示が薄い・斜面のブルーシート)	点検を行い早急に改善してほしい
道路が渋滞する、国道2号線に出るまでなど	岩国大竹道路バイパスの早期開通
大竹岩国間の渋滞	
交通量に対して道路網が不足	
遊具のある公園が少ない	予算の追加。玖波青木線の樹木を伐採し、管理にかかっている費用を公園整備に使用する
公園にも少し日影があるとうれしい	
公園はあるが管理がずさん、隣接した市の公園に比べ、遊具がしょぼい	
児童公園が少ない。ボール遊びができる公園が少ない(または近くにない)	ボール遊びができる公園を作してほしい 公園にフェンスを高くする、ネットを付ける、扉を付けるなどボールも使えるように工夫する
鉄棒のある公園が少ない	事故等を考えると簡単に意見できない
近場の公園がごみが多く、子どもが触ろうとするので連れて行きたくない	ごみを持ち帰る
晴海臨海公園テニスコートやキャンプ場市内住む人は割引の料金で利用できたらいい	(回答なし)
集中豪雨の時、ドブ川があふれるので浸水が心配	行政が考えること。下水管を強化すべき
豪雨等の雨水など対策	
大雨の時、トイレが逆流すること	
台風、水害に弱い	
みどり橋はどうして草があるのか	除草、土や砂を取り除く
道路沿いの花壇に草がのびている	市から要望してほしい
国道2号線など草がのび放題	
交通事故が起こりやすい場所で事故が減らない	注意喚起する看板の設置や見回り
子ども達の通学路が車などの近くを通っているため心配	ガードレールや白線などの整備・見直し
夜、街灯が少なく危ない道もある。工場付近以外暗くて怖い	(回答なし)
水道が弱い。水道料金が安い	岩国市を基準にする
下水道整備が不十分	緊急的な公共投資、市長の決断
ポストによく下水道などの工事のお知らせが入っているが、そんなに頻繁に必要なのか。税金の無駄使い	同じ場所を何回も工事したり浄化槽を掃除するなど、不要なことはやめる
体育館の老朽化が進んでいる	メンテナンスや整備をしてほしい
古い施設が多い	立て替え
小さい子どもが室内で遊べる所が増えたとうれしい	増やす
まちに統一感がなく、緑が少なく工場のイメージ	小方港を整備し、木や緑に囲まれたまちづくりを進める
家の前の道路に大型車が通ると家が揺れる。聞く耳もなく対応してもらえない	自宅周辺の道路整備
住居の前でトラック等の往来が激しいので、騒音がとても響いて困る	大型車が通行できる道を決めて、示してはどうか
鉄道横に住んでいて、すごろくさい	防音設備がほしい
大竹に行けばこれ、という目玉がない	せっかく高速も近く便利なので、他県から足を運べるようにイケヤやスタバがあるとよい

◎項目「安全なまち」

○設問【災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う】

心配に思っていること	解消する方法
災害時に土砂崩れへの不安がある	(回答なし)
堤防が低い	堤防を高くしてほしい
小瀬川は草が密集し、氾濫した時に怖い	除去
街灯が少ない道や近寄りやすい地域がある	該当箇所の調査と行う
夜間の照明や防犯カメラが少ない	増やす
駅付近が夜になると暗い	駅周辺は街灯やライトアップして明るくした方がよい
学校に防犯カメラをつけてほしい。防犯意識がうすい。災害や事故などに対しても	防犯カメラをつける。実際にシミュレーションをした方がいい
事故は起こっていないが、学生たちの登下校する道路は本当に安全か	学生たちも意見を聞き取り、早急に予算を組んで対処すべき
お年寄りが危険	交通安全教育を繰り返す

○設問【災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う】(つづき)

心配に思っていること	解消する方法
マンション前の道路は一方通行なのに守らない車がいる	警察がもっと取り締まる
自転車のマナーが悪い	
お年寄りが危険	詐欺に騙されないように勉強会

○設問【消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う】

心配に思っていること	解消する方法
高齢化少子化で自治会活動が縮小化している	地域の核である
消防団がどんな活動をしているか知らない。活動が活発なのか分からない	(回答なし)
活発だと思わない	行政や自治体が定期的に訓練がない限り、解消はしない
大きな災害にあっていなので地域住民の防災意識が低い	行政の強い指導が必要
案内がなかったり参加しにくい	回覧に場所を詳しく記載してあるとわかりやすい
川の増水など心配される場所が多いのに具体的な防災活動が見えないし、周知不足	訓練など実際に起こった時のイメージ作りが必要
住民の多くが特定の組織や人に頼りすぎている(誰かがやってくれると思っている人が多い)	(回答なし)
災害がないので周りの意識が低い	住民や行政が気軽に話し合える場所、被災体験を聞ける場所を作る
長年住んでいる方が多いし、防災意識が低い	警戒レベルが変更されたがいまいちピンとこない タイミング次第で本当に避難するべきか迷う
災害が少ない所というイメージが強い。今いつどこで豪雨による災害があるか分からない。高齢者はもちろんだが子どもを守るため防災意識も高めてほしい	防災士の資格を取得 小さい子をもつママたちに対して、ネットを使って水害や地震への備えなど学ぶ機会
皆他人事と思っている	危機意識をもつ
災害が起きた時どうしたらよいか正直分からない	防災のパンフレットやマップを市民に配る
岩国市のように消防署が出動した時の情報が分かるシステムがほしい	(回答なし)
家の前で事故が起きて知らないフリをする若者を見て失望した	個人の意識ではありますが、防災、危機管理の意識を強くする

○設問【自主防災組織等の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う】

心配に思っていること	解消する方法
働いてると参加できない	(回答なし)
いろいろ活動に参加したくない人が増えている	住民同士、意思疎通、風通しのよい環境
いつどこでやっているか知らない	企業経由で周知があると会社の若い人同士で参加しやすい
災害に対する備えが不十分	市としてきちんと整備する
防災意識	防災組織の活動の具体化
交通マナーが悪いドライバーが目立つ	取り締まりの強化

◎項目「安心できるまち」

○設問【困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う】

心配に思っていること	解消する方法
人とのつながりがなくなっている	人の思いや生き方に関係することなので、解消していく方法解消するのは難しい
近所づきあいが薄れている。隣人同士で声掛けがないような感じ(リーダーシップ的な人物が存在していない)	時間や目的を共にできればよい
団地のため、あまり近所の人との交流がない	コロナが収束してきたらまたお祭り等のイベントをやる
近所に誰が住んでいるか分からない	地域の行事をつくり、住民同士で交流の機会をもつ
地元の人へのなじみがない	ペットつながりで親しくする
定年まで仕事をしていると、なかなか地域の方とつながりがない	自治会集会所などで気軽に買い物が出来るようになったらいい
ひとり親家庭が増えているので仕事が忙しく、自治会の行事など参加できず、近所とのお付き合いは難しい	
一人暮らしなので、外に出てみんなと接触することがない	1カ月に1回集会所でおしゃべりしたりゲームしたりと楽しみたい

○設問【困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う】
(つづき)

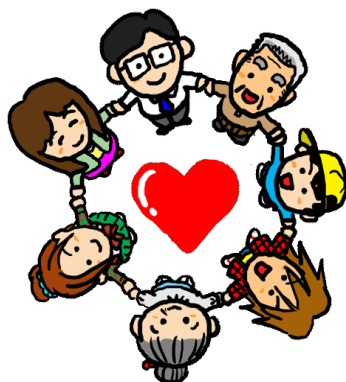
心配に思っていること	解消する方法
地域の掃除に出ない人もいる。ごみの出し方がめちゃくちゃな人が増えた	地域同士で声をかけあってコミュニケーションを取る必要がある
地元の人でなければ他人のように扱われる。地域に暮らす人同士が知り合えるイベントがない	地元のためのイベントを開き、新しい大竹市住民が参加しやすい環境づくりが必要
高齢者が多く、それ以外の住民同士の話ができていない	自治会活動
高齢者が多く、頼れない。高齢化が進んで助けてくれる人が少なくなる	若い人が増えてボランティア活動
高齢者の一人暮らしが多く、日頃から見かけることが少なく、話をする機会もない	お年寄りが外に出て、コミュニケーションできる場があればよいかも知れません
高齢者世帯に厳しい。自治会のあり方、ごみの出し方など	長年の活動を労い、免除や手助けが必要だと思います
老人に対する思いやりを感じない	初等教育が大事ですが、解消されるとは思わない
コロナのため、あいさつするくらいしかできない	ワクチン接種を早く受ける、コロナの終息
災害の時、避難する近所のみんなは同じ年代で手助けしてほしい	(回答なし)
人との付き合いが苦手	自分自身の問題

○設問【生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気をつけている】

心配に思っていること	解消する方法
耳鼻科、皮膚科の専門医が少ない	開業医の誘致
皮膚科、耳鼻科が少ない	(回答なし)
高齢者向けに健診案内が来るが、分かりにくい	こまめに地域で講習会を設ける
近くで講習がない	市内交通機関の見直しを。時間予約制に
免許返納後行、動範囲が限られる	施設を作る
スポーツ施設が足りない	申込方法や費用面をアピールする
運動施設やインストラクターを増やす。幅広い時間帯で利用できるようにする	リノベーション、器具の新調
総合市民会館の整備(運動器具類)の老朽化	晴海臨海公園の街灯を増やしてほしい
(健康のために)夜歩きたいが怖い	早くしてほしい
対応が遅い	

○設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】

心配に思っていること	解消する方法
地域福祉に関するボランティアの呼びかけ	ボランティア活動の内容を明確にしたらい
	市広報等を通して呼びかけ
特に若い世代は活動に参加する人が少ないと思う	団体単位で活動を募集する
年寄りばかり福祉で得している感がある	子育て世代や現役就労者のことを考えてほしい
ボランティアでは資金不足、責任もなく地域福祉にプラスになってるのか	きちんと人材を雇い、地域福祉の支援に取り組むべき
どんなボランティアがあるのかわからない	(回答なし)
いろいろ活動に参加したくない人が増えている	(回答なし)



◎項目「心にゆとりを感じるまち」

○設問【やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している】

心配に思っていること	解消する方法
図書館の充実	借りる時間を他の市まちにあるように無人でよいので夜間でも借りれるシステム構築をしてほしい
図書館や大竹支所にある本が少ない	もっと増やしてほしい
コミュニケーションが多く取れるような教室やイベント	情報をもっと多く知らせて参加しやすくする
文化、教養を高める選択肢がない	大竹で核となる場所を作る
公民館活動、昼間は仕事向けの趣味活動はとても少ない	土日の公民館活動や平日の19～21時頃の活動を増やしてほしい
魅力的な活動等を見つけにくい	気軽に楽しめるサークル等があったらいい
子どもの習い事や家族で何かしようとしても施設がない	企業に声をかけて活性化するように市が働きかけてほしい
学校の部活や習い事の種類の少ない	経験がある人を探す。若者の出会いの場をつくる
行きたいと思える施設や場所が少ない	誘致する
若者が集うレクリエーション施設がない	大竹駅前の再開発
若い世代が習い事できる環境がない。子育て中の親にとってリラックスできる場所がない	晴海臨海公園などに、スポーツだけでなく、文化的なことも習える場所を作る。(子どもから大人まで楽しめる施設づくり)
夢中になれる施設がない	プール施設(子どもが利用できる)キャンプ場の整備(ソロキャンプの人を呼ぶ)
勉強や芸術方面は興味があっても参加できる場所や費用がかかる	技術や資格のある方をボランティアで集めてアピール。幅広い時間帯で教えてもらえるように場所を確保
スポーツ、文化人との積極的な交流	有名人の講演会
地域で人と触れ合う機会が少ない	コミュニティの場を作る
夢中になれることがない	市が中心になって何か市民が興味を持てるプロジェクトを
他市まちに比べ手当が少ない	医療費、給食費を無償化
子どもを育てている家庭への支援	子どもが多い家族に支援を増やす
やりたいことができない	コロナの終息
ワクチン接種	ワクチン接種を進める
基本的に思いやりがない	講習会、勉強会の開催
娯楽がない	カジノをつくる
商業施設が少ない	商業施設の誘致
働く場所が少ない	個性的なお店や話題性のあるお店を増やす
まちに活気がない	まちづくりに対して住民が強く活性化を望む声を強く持ってもらいたい

○設問【地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている】

心配に思っていること	解消する方法
歴史の場面が数多くあるのに市民が知らない・興味がない(亀居城は誰が作ったのか、幕末は長州との戦場になり多くの史跡があるのではないかと、太平洋戦争では戦艦大和に乗るための訓練校があったり、引揚港になったりしているのではないかと) 偉大な人物がいるのに市民は知らない(石本美由起、二階堂和美、ミヤケユリコ、ゴッホ向井ブルー、ヒナタカンナ)	大竹市がきちんと発信すべき
地元の歴史、文化を知らない。伝統文化、地域行事など周知されていないように感じる	駅やショッピングセンター、お店などにチラシを貼り、周知を図る 広報紙などでもっと周知を図る。コラム等で触れてみたい 祭など大竹市に関する行事を開催する 図書館でもっと取り上げてほしい
大竹が地元ではないので歴史をあまり知らない	広報などで大竹の歴史を紹介してはどうか
市への関心がとても小さい	住民ボランティアの拡大
文化意識が低い	文化資料の保管場所を作る
思想改造が足りない	市広報に歴史のコーナーを作り、何年か掲載
他市の人間が足を運んでまで見に来るほどの魅力的なものがない。内輪で盛り上がるには限界があり、若い人は大竹市民でも興味なくなっている	亀居城を再建する等、外部の人にも誇れるものをつくる
祭りなどの規模が小さくなっている	よい祭がある事を広い範囲で周知

○設問【地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている】(つづき)

心配に思っていること	解消する方法
祭りや観光地が少ない	大規模の祭りを開き、市外の人へアピール 市内の人が大竹に対する文化理解を深める
観光資源をもっと市民が知って市外に自慢したい(工業夜景、大竹和紙、ストーンアート、三倉岳、あたたハマチtoレモン、栗、カキ、こいわし)	市が各機関と連携し市民に発信すべき
若者が地域行事に参加したくなる行事	高齢化が進んでいるので地域の回覧板で回ってくるものはゲートボールばかり、子育て世代が子どもと一緒に参加できるものがあると思う
大竹祭、花火大会の再開	コロナの終息を願います
行事の時に「今は昔」のアピールを行う	今昔の写真物品など動画にしてアピール
市としてもっと力を入れてほしい	大竹市史をつくりましょう 歴史や伝統文化を支える組織の充実を図る
伝統文化、郷土料理の伝承	和紙工房の作品、郷土料理の道の駅への品
玖波小と小方小の間で、昔は玖波小へ通っていたが今はほとんどが小方小へ通う	(回答なし)

○設問【環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい】

心配に思っていること	解消する方法
公園、道、小さい川のごみ	定期的な清掃
ごみ、タバコのポイ捨てが多い	タバコのポイ捨て禁止条例をつくるべき
ごみが散乱している場所がある	拾うなど対応したいが、テレビなどのリサイクルは自己負担になるらしく、ごみ袋も申請してもらえようになればいいと思う
道路や公園にごみが落ちている	市報や看板等で啓発活動 一人一人のごみを捨てない心がけ
インターフェンス南側道路にごみが散乱している	看板だけでなくパトロール
道に草が生え、ごみ、缶が投げられている	PRをもっと
道路の草が伸び、車での見通しが悪い。特に夏場	除草の頻度を増やす。年2回でなく年4回除草してもらいたい 定期的な清掃 地域での草刈など美化
草がたくさん生えている	ボランティアをつのり、清掃する
線路沿いの草木をきれいにしてほしい	JRIに定期的に草木を除去
小方が丘の道路がジャングルのようにになっている	話題になるまちづくりを目指してほしい
亀居城、大竹市役所、草だらけ	市役所の玄関口をもっときれいにしてほしい
市役所付近の草が気になる	大竹市の顔なので市職員の美化意識がほしい
国道の草が伸び放題、木の枝も道路にされ放題	早めに国に依頼し伐採
除草作業や木の伐採をもっとしてほしい	頻度を増やす
歩道の木がきれいにならない、なくした方がいい	シルバー人材センターに依頼しない、車道に出て仕事したり、迷惑です
公園や道沿いで木が大きくなり落ち葉がすごい	管理すること
市内のドブ川が多く臭い	生活排水をきれいにし悪臭のない水路にしてフタをする
踏切の地下道が暗くて汚れている	電灯を多くして掃除する
駅周辺の水路や鉄道の道が暗く汚い	清掃回数を増やし補修してほしい 道路の整備、電灯で明るく
空気が汚い	工業の排出ガスの規定を厳しくする
土砂崩れしたままそのまま放置していたのですが、悲しいと思う	壊れたところ整備をしないと災害、天災が起きた時には危険だからパトロールをする
のらネコやキツネがいる	保護や捕獲
住居地域内に古くから工場がある	産業、工業団地を整備して移転して頂く
ボランティアや学校の子どもの善意にまかせっきりに見える	環境美化は業者に依頼し、地域経済を回した方がよい
高齢者ばかり負担だ	若い人が関心を持ってほしい
街並みが汚い	植物や花を植える
汚れているとは思わないが、特別すごくきれいとも思わない	(回答なし)

4 大竹市での「イチオシ」(問4)

◎好きなひと・もの・こと・時・ところ

- ・晴海臨海公園(気持ちがいい。ジョギングにちょうどよい。幅広い年齢に対応でき、運動遊びや散歩などあらゆることを楽しむことができる。近隣には見られない、他の市まちに誇れ市民に愛される素晴らしい公園だと思う。)
- ・さかえ公園(きれいに整備され、家から近く早朝ウォーキングで夫婦で利用している。ボランティアでゴミ拾いを実行されている方がいる)
- ・公園の多さ
- 三倉岳
- ・亀居城(桜、城址からの景色)
- ・弥栄まんじゅう(昔から住んでいるので愛着がある)
- ・小瀬川(兩岸の遊歩道がウォーキングによい。夏から秋にかけての空気。川からの風が心をなごませる)
- ・阿多田島(大自然。立地。島民)
- ・工場
- ・コンビナートの工場夜景
- ・夜景がきれいなところ、海が見えてきれいなところ
- ・水(おいしい、そのまま飲める、水不足がない)
- ・防鹿地区の手すき和紙
- ・和太鼓
- ・玖波祭
- ・神社(白石大瀧神社など)
- ・花火大会
- ・クリスマスの大竹駅のイルミネーション
- ・菊芋の加工品(菊芋かりんとうなど)
- ・駅前付近のストーンアート
- ・大竹高校の生徒が描いた石の絵が上手で、子どもと楽しんでいる
- ・港(小方港など、きれい、港まちは住みよい)
- ・弥栄ダム
- ・蛇喰磐
- ・錦龍の滝
- ・キャンプ場
- ・宮島、岩国錦帯橋と美しい瀬戸内海
- ・総合市民会館
- ・図書館
- ・保育所、幼稚園、小・中学校、高校がある
- ・西医療センター
- ・豊かな自然(海・山・川、自然が多い、自然に近い、触れ合える場所がたくさんある、景色、油見トンネルを出るとすぐに自然がある、山が近く鳥の声が聞こえる)
- ・栗谷の山中で聞こえる鳥の声、ホテルが幻想的
- ・夕方、大竹駅に改札を通ったあとの空、景色
- ・宮島から大きな月が登ってくるのを見る時れいだと思う
- ・人(人柄、やさしい、あたたかい(知らない人に対しても)、思いやりがある、人のつながり・コミュニケーション)
- ・近所の方がやさしい。あいさつもきちんとできて安心できる
- ・近所の方やスーパーの人は親切な方が多いように思います
- ・子どもを大切にしてくれる人たち
- ・地域の年寄りが少年野球の世話をしている
- ・玖波で店の企業時、地域のお店(電気屋さん、美容院さん)住民応援して下さり、地域に店の宣伝もして下さり人から人へ伝え広め人の関わりのありがたさを身に染みて感じました
- ・地域での自治活動が活発
- ・治安が良く、人が優しいまち
- ・安全で安心できる地域
- ・自然災害が少ない
- ・医療が充実している
- ・コンビニが多い
- ・ゆめタウン
- ・トライアル(品物が安くてよい)
- ・ある一定の場所に大型スーパーが出来ているので便利さを感じます
- ・買い物が近い
- ・海・山が近く、高速やJRがある
- ・大竹駅の近くで便利がよい
- ・交通の便がよい、どこに行くのもアクセスしやすい
- ・コンパクトなまち(過ごしやすい、行政サービスが受けやすい)
- ・生活に困らない

- ・住みやすい
- ・人口減少で街に活気はないが、住みやすいまち
- ・田舎
- ・のんびりしているところ
- ・夜間の静けさ
- ・人口と商業施設の多さの割に、静かで住みやすい
- ・よい人に恵まれているし犯罪もなく交通も便利でよい
- ・お年寄りがゆったり生活していることで自分も安心して過ごせる
- ・69歳でも働ける場所がある
- ・天気がよいところ
- ・会社・企業が多い
- ・港まち、晴海地区が栄えている
- ・ウォーキングできる環境
- ・市全域に光ケーブルが設置されている
- ・美味しいものがたくさんある、美味しいお店がある
- ・海の幸
- ・もぶりごはん
- ・マロンの里の押し寿司
- ・手すき和紙のこいのぼり
- ・栗やいちじくなどの名産物が美味しい
- ・仁田ショップ
- ・玖波駅付近の「プラスグッドディ」という古民家ランチすごくオシャレで美味しいです
- ・鉄板、炉端焼きたいしん
- ・ケーキ屋さん(喜喜)
- ・SORAのケーキがおいしい
- ・HEROES
- ・コイちゃんクーポン(他市の方に羨ましいと言われました。いろいろな企画をいただき楽しみがあります)
- ・コロナウイルスの影響に対して政府からもらった助成金
- ・価格的に住宅購入のハードルが低い
- ・立戸
- ・白石に住んで良かった
- ・防災無線
- ・鳥の観察
- ・コウモリ
- ・コーラスの指導者
- ・大竹出身のゴッホ向井ブルーさんが大竹をテレビで宣伝してくれています
- ・音楽が活発のような気がします。子どもや学生さんなどの夢に助成してサポートできる市であれば、あきらめずに進んでできると思うし、芸術やサイエンスのエキスパートが育つまちになるのでは？
- ・大竹市が頑張っていること
- ・市役所、保育所の方が基本的にやさしい
- ・大竹市役所職員の市民に対する応対(窓口、税申告)。人柄もやさしく親切で感謝している
- ・実家がある
- ・家族。みんなでいる時
- ・グランドゴルフをする仲間



5 幸せを感じる時（問5）

◎「どのような時に幸せを感じるか」について

- ・家族の絆が出来ている時。近所の人達をコミュニケーションが出来ること
- ・大切な人と一緒に時間を過ごす時
- ・家族でいる時、友達に会えた時、人がいて生きてることを実感できた時
- ・家族や知人が元気で、皆一緒に食事が出来た時
- ・家族で美味しいものを食べながら、映画を見る時
- ・コロナの中、我慢我慢の生活ですが、健康で毎日過ごし、家族で過ごせる時間にとっても幸せを感じる
- ・家族でおいしい食事を食べたい時
- ・家族や友達と過ごす時
- ・家族で食事をしてのんびり生活できる日々
- ・家族が元気で食卓を囲んでいる時
- ・家族が健康でおいしいものが食べられる時
- ・健康と、家族がよくしてくれる
- ・家族や近所が穏やかに過ごせる毎日
- ・家族でバーベキューをした時
- ・家族知人が元気で幸せな時
- ・家族との時間が増えたこと
- ・病院に行かなくていい
- ・家族の笑顔、人々の笑顔
- ・家族が元気で世話ができる事
- ・家に帰ってゆっくり過ごしている時
- ・子ども達が楽しそうにしている時
- ・子どもと遊んでいる時
- ・子どもの笑顔
- ・子どもができる事が増えたことで成長を感じた時
- ・子どもがかわいい
- ・子ども達が楽しそうにしている時
- ・子どもたちが仲良くしているところを見てる時
- ・子どもの寝顔を見ている時
- ・おいしいごはんを食べている時
- ・子どもと孫との時間
- ・子どもと一緒にいる時
- ・子どもの成長を感じる時
- ・子どもの笑顔
- ・子どもと孫が家に来てくれた時
- ・子ども達が笑顔で公園を走っている姿を見た時
- ・子どもの成長を感じる時
- ・子ども達が悩み考えて一生懸命に仕事に励んでいる姿を感じた時
- ・子ども達が笑顔で公園で遊んでいる姿を見た時
- ・子どもが安心して育てられる時
- ・子どもとお話したり美味しいものを食べたりしている時
- ・子どもが生まれた
- ・子どもの顔が見れた時
- ・娘からもらった手紙に「産んでくれてありがとう」と書いてあった
- ・一人暮らしなので子どもが良くして入れる事
- ・子や孫とたまに触れ合えること
- ・孫と一緒に居る時間
- ・孫や子ども、家族の笑顔
- ・孫と一緒にゴロゴロしている時
- ・孫が来て遊んでいるのを見ている時
- ・孫の写真、動画を見てた時
- ・初孫が誕生
- ・孫に「じいちゃん」と呼んでもらえる時
- ・孫の成長
- ・夫婦健康で過ごせるので幸せ
- ・夫婦そろって健康で毎日ウォーキング出来ること
- ・夫婦ともに生活できること
- ・二人で元気でいられること
- ・妻と元気で美味しいものがたくさん食べれる時
- ・夫婦仲良く過ごせることを感じた瞬間
- ・主人が元気でいる事が幸せです

- ・子どもと何てことないことで笑って話している時
- ・子どもの笑顔
- ・子どもがうれしそうな時
- ・元気のいい日、家族で久しぶりに外食した時
- ・初孫が出来た時
- ・遠くの子供が帰省し、家族で食事している時
- ・子や孫が自立していること
- ・子どもが毎日電話入れてくれること
- ・子ども、家族が健康で元気に過ごせること
- ・友人、家族と美味しいものを一緒に食べたり、おしゃべりを過ごすこと
- ・友だちと久々にお茶して話している時
- ・友達と協力して課題を行っている時
- ・近隣住民の人々と話している時
- ・友人と会話し笑った時
- ・地元の友人と会えた時
- ・友だちと話してる時
- ・友だちとの会話
- ・好きな友達と遊んだ時
- ・友人と過ごす時間
- ・友人に会うこと
- ・人と人のつながり
- ・地域とのコミュニケーション
- ・道で出会った若い人、学校帰りの小学生があいさつをしてくれる
- ・小中学生が道路であいさつされた時
- ・人と接すること、会話
- ・近所の人と会話したり、おすそ分けしたりする
- ・知らない人にあいさつされたり、親切に対応してもらった時
- ・思いやりのある人に出会って幸福だと思う時
- ・何気ない声掛けに触れると嬉しい
- ・人と話す時
- ・老若男女が集まっている時。皆心があたたまるとは思う
- ・花をいただいた時
- ・人間性
- ・皆が笑顔で話すこと
- ・健康を実感する時
- ・健康でいれる毎日、安心して暮らせる毎日
- ・皆が健康で生活できること
- ・健康で仕事を持ち自分の時間を楽しめること
- ・健康で動くことが出来た時
- ・日々健康で日常が送れること
- ・健康で幸せを感じています
- ・身体が健康なこと
- ・健康で仕事を働いて暮らしています
- ・皆が健康で無事一日を終えられた時
- ・健康である事が幸せ
- ・健康で痛いところなしで行動できること
- ・健康で運動ができること
- ・健康
- ・不自由に感じる部分もあると思うが、毎日健康で過ごせることがなにより幸せだと思う
- ・元気なところ
- ・元気で過ごせる
- ・足が悪くても自分で歩けること
- ・元気で安全運転が出来ていること
- ・元気で美味しく食事ができること
- ・他市まちより新型コロナワクチンが早く打てた時
- ・コロナワクチン接種がスムーズに行われたこと
- ・新型コロナの流行で、家族を含め身近な人たちが元気で生活出来ていることが幸せだと一層強く思う
- ・コロナの影響で子どもが帰省できず一時的におさまったころ帰省した家族全員で食事を囲んだ時
- ・コロナワクチン接種でも早く接種場所をつくり素早く接種できた
- ・コロナワクチン接種が早くできたことは感謝です
- ・コロナ禍でも仕事させていただいている時
- ・コロナウイルスの影響で授業がオンラインばかりだったので、朝早起きをし学校に行き勉強をするという日常です
- ・最近では幸せを感じる

- ・家族も友人もコロナにかかっていない
- ・コロナの中でやっとワクチン接種も終わり、孫に会えたこと
- ・コロナの中電話くれたり、気遣いの言葉をかけてくれることが嬉しい
- ・コロナ禍でも庭や畑など土地が広いので、家が出来ることがたくさんあり充実している
- ・一週間スーパーに行けず乾物などを食べて生活していたのち、スーパーで野菜を買った時は本当にうれしかった
- ・コイちゃんクーポンをもらった時
- ・海山へ出かけてマスクを外して遊ぶ時
- ・楽しく仕事ができる事
- ・働く場所があること
- ・仕事が充実している時
- ・75歳になります。小さな企業で仕事してきましたがいまだに仕事させてもらってます
- ・自然の恵み、水や太陽に感謝して生活している
- ・朝美しい朝日が見れます
- ・自然を見た時、夕焼けの景色をみた時
- ・大竹の自然に触れている時
- ・最近ホタルが飛ぶ自然がまだ残っていることが幸せだと思う
- ・小瀬川の河川敷を散歩している時
- ・登山ですてきな景色を見た時
- ・買い物した時
- ・欲しいものを買った時
- ・ドライブしている時
- ・読書時間
- ・カーブが勝った時
- ・趣味の将棋をした時
- ・海で魚釣りをしている時
- ・ウォーキングをして瀬戸内海を見ること
- ・素敵な指導者のもとでコーラスに夢中になれている時
- ・家庭菜園を楽しみ心から安らぐ
- ・花を植えて、咲くのが楽しみ
- ・ゴルフ、登山、キャンプ好きなことをしている時
- ・サッカーをしている時
- ・自分が作った野菜を美味しく食べること
- ・花いじり
- ・ペットと畑いじり
- ・ちょっと時間が取れたら庭花を絵手紙にします。その時が幸せです
- ・庭先で野菜をつくること、元気で動けること
- ・キャンプに行った時
- ・好きなことに熱中している時
- ・趣味をやっている時
- ・食事をおいしく食べれること
- ・美味しいものを家族と食べた時
- ・美味しいものを食べた時
- ・美味しいものを食べておいしいお酒を飲んでゆっくりとした時間を過ごせた時
- ・美味しいものを食べた時。コロナで外食できませんが先日息子のBDケーキを食べました
- ・美味しいものを食べたり、温泉に行ったりした時
- ・美味しいものを食べた時。少し高級な果物やアイスクリームを食べた時
- ・美味しいものを食べた時、家族が元気な時
- ・美味しいものを食べた時。コロナで外食はできないので職場でテイクアウトをたくさんしています
- ・美味しいごはん、十分な睡眠がとれた時
- ・美味しいものを食べて友達と話す時
- ・仕事が終わって一杯やっていること
- ・仕事帰りにコンビニでスイーツを買って食べる時
- ・テイクアウトですがランチを食べた時
- ・ゆっくり飲んで食べれる時
- ・寿司をテイクアウトして家で食べる時
- ・マクドナルドのポテトLサイズを一人で食べきった時
- ・弥栄まんじゅうを食べた時
- ・シュークリームを食べた時
- ・食事中・昼寝
- ・好きなだけ寝れる時
- ・会社を休める時
- ・仕事がとても忙しいため、ゆっくり体を休めることが出来る時
- ・体調が良く天気がよい日に、外に出て風を感じる時
- ・家につばめが巣作りをしにきたこと

- ・このアンケートを答えて感じたこと。大竹市が市民のことを考え市民の声を聞こうとしてくださることが良く分かり、とても幸せな気持ちになりました
- ・子ども3人が障害児で、差別、偏見で、市外から転居してきました。50年前の地獄のような生活を思うと今は本当に幸せです。行政にも感謝しています
- ・自分の抱えている問題を解決させることができた未来を想像している時
- ・人の役に立った時
- ・生きていること
- ・笑っていただけること
- ・人に邪魔をされない時
- ・人に頼ってもらえる。人を信じることができた。人を許すことができた
- ・朝目が覚めて「今日も頑張ろう」と思った時
- ・神経を使わず日々生活出来ること
- ・達成感を感じれた時
- ・いろんなことに挑戦していること
- ・やりたいことができれば幸せ
- ・自分のことが自分で出来ていること
- ・自分の自由時間
- ・両親の介護の悩み、見政の企業の悩み、一人で悩まず色々を相談することで心の支えを感じて先に見据えることができること
- ・ゆうあいホームに行っていること
- ・朝起きて生きてること
- ・穏やかに暮らせている
- ・普通に暮らせること
- ・布団でゆっくり寝れる時
- ・布団に入って眠る前
- ・家で過ごすこと
- ・自宅で休日にゆっくり過ごすこと
- ・大きな災害にも合わず、おいしい食事をし、元気で過ごすことができ、毎日感謝している
- ・一日無事過ごせた時
- ・仕事ができ、ご飯が食べれ、無事に元気で過ごせること
- ・大事のないことが幸せです
- ・毎日平穩無事に過ごせている
- ・一日が穏やかだなと思った時
- ・穏やかな日常
- ・何も問題なく過ごすことができたこと
- ・何の問題もない一日の生活
- ・何もない時
- ・ゆっくり寝れる時
- ・ちょっとしたことでも幸せだと思うこと
- ・災害もなく過ごせること、何もないことが幸せ
- ・人並みに日々生活を送れること
- ・毎日何事もなく当たり前の生活ができていること
- ・普通に毎月を過ごすことが出来ること
- ・朝起きて命があること
- ・大竹で生まれ育ち、その大竹で子育てができ、ずっと住めていることが幸せです
- ・コロナ禍において田舎の良さを感じた。人とのつながりや阿多田の変わらない日常
- ・犯罪、事件、事故が少ない、静かなまち
- ・災害の少ない所で幸せ
- ・お金がなくて生活が苦しいので思ったことはないです
- ・昨年、孫が亡くなり幸せを感じません
- ・ありません

第5節 資料

1 アンケート調査用紙（一般用）

アンケートにご協力ください

※このアンケートは、令和3年6月1日現在、大竹市にお住まいの方に送付しています。

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」

※回答期限：令和3年6月28日（月）まで



日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、10年間のまちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、「よいまち」の実現に取り組んできました。このアンケートでは、主に、わがまちプランのテーマでもある「大竹市に住んでよかった」と皆さんがどれくらい感じているかを、「幸せ感」という尺度でおたずねします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、回答者は、市にお住まいの18歳以上の方の中から、「無作為抽出」により1,500人（地区別層化抽出1,000人、20歳以上50歳未満から抽出500人）を選んでいます。（抽出日：令和3年6月1日）

このアンケートは「令和2年度」の内容についておたずねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについておたずねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの「幸せ感」をはかる尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをたずねします。
- 問2では、「市民自治」について、あなたがどう思っているかをたずねします。
- 問3では、市民の皆さんの「幸せ感」を高めるために、あなたが大竹市について心配していることをたずねします。
- 問4では、あなたが考えている「大竹市のよいところ」をたずねします。
- 問5では、あなたが「どのような時に幸せを感じるか」をたずねします。

★ご記入にあたってのお願い★

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- 回答は、直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後は、この調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、令和3年6月28日（月）までに、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、どなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。

調 査 票

○ あなた自身のことについておたずねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1)性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2)年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3)住所

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
2	西栄、南栄、東栄、北栄	6	玖波、玖波町、湯舟町
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海 黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

(4)何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去に大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

1	3年未満	4	21年～30年
2	3年～10年	5	31年～40年
3	11年～20年	6	41年以上()年

(5)これからも大竹市にお住みになりますか。

1	ずっと住み続けるつもり	左記の回答で理由があれば、お書きください
2	当分の間は住むつもり	
3	将来的には転居したい	
4	近いうちに転居するつもり	
5	わからない	

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをおたずねします。
次の設問に、それぞれ「はい」・「いいえ」の当てはまるほう
に○をしてください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。

a	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	はい	いいえ
b	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	はい	いいえ
c	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	はい	いいえ

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを見守る市民を増やしていきたいと考えています。

d	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	はい	いいえ
e	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	はい	いいえ
f	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	はい	いいえ

「f」で「いいえ」を選択された方は、どんな活動なら参加したいと思いますか。

f2

3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。



いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。

g	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	はい	いいえ
---	---	----	-----

h	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	はい	いいえ
---	---	----	-----

i	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	はい	いいえ
---	------------------------------	----	-----

「i」で「はい」を選択された方

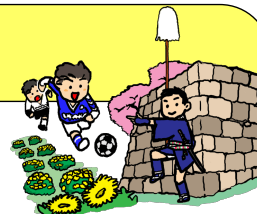
①具体的にどんなボランティア活動に参加してみたいですか。

i2

②今、実際にやっていることは何ですか。

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。



生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、いきいきと暮らしてほしいと考えています。

また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着の持てるまちにしたいと思います。

j	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	はい	いいえ
---	------------------------------	----	-----

k	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	はい	いいえ
---	----------------------------------	----	-----

l	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	はい	いいえ
---	-------------------------------	----	-----

l2

あなたが行っている環境美化の取り組みがあれば、教えてください。

5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。

大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

m

大竹のよいところを知っている

はい

いいえ

「はい」を選択された方は、あなたが考える「大竹のよいところ」を、教えてください。

m2

n

市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ

はい

いいえ

o

あなたの暮らす地域が好きだ

はい

いいえ

「o」で「はい」を選択された方は、「特にどこが好きか」を教えてください。

o2

「o」で「いいえ」を選択された方は、「好きになれない理由」を教えてください。

問2

「市民自治」について、あなたの考えをおたずねします。次の設問について、それぞれ「はい」・「いいえ」の当てはまるほうに○をしてください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、まちづくりを自分の問題としてとらえ、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。
このような「市民自治」の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながり、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」にも近づいていくと考えます。

p

あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている

はい

いいえ

q

自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい

はい

いいえ

q2

「q」で「はい」を選択された方

①「やってみたいこと」を教えてください。

②「今、実際にやっていること」を教えてください。

③「やってみたいと思っけていてもできない理由」があれば、それも教えてください。

問3

あなたが大竹市に足りていないと思っていることを次の項目から3つまで選び、どうすれば、解消できると思うか、あなたの考えを教えてください。

- a 地域産業が盛んでまちに元気があると思う
- b 目的地までの移動がしやすいまちだと思う
- c 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい
- d 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う
- e 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う
- f 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う
- g 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う
- h 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている
- i 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う
- j やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している
- k 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている
- l 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい

(記号欄)

(記入欄)

足りていないと思っていることを具体的にお書きください。

どうすれば解消できるかお書きください。

(記号欄)

(記入欄)

足りていないと思っていることを具体的にお書きください。

どうすれば解消できるかお書きください。

(記号欄)

(記入欄)

足りていないと思っていることを具体的にお書きください。

どうすれば解消できるかお書きください。

問4

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きな「ひと」・「もの」・「こと」・「とき」・「ところ」
など、何でも構いません。ひとつだけお書きください。

「幸せ感」とは・・・

ここまでは、皆さんの心配や不安がなくなるよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの「幸せ感」を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。
しかし、皆さんが普段感じる「幸せ感」は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんのささいなことかもしれません。

問5

最後におたずねします。
あなたはどのような時に幸せを感じますか。
最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。

(記入欄)

設問は、これで終わりです。

皆さん一人ひとりが感じるささやかな幸せも、それがだんだん大きく広がっていけば、行政の目標である市民全体の幸せに、一歩ずつ近づいていくものと考えています。

市では、よいまちの実現に向けて、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、取り組みを進めていきます。

このたびは、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



大好き おおたけ
笑顔♪元氣いつまでも

未来の幸せづくりに向けた新しいまちづくりの計画「大竹市まちづくり基本構想」を作りました。
絵本のようなイラスト中心の冊子を、広報おおたけ5月号とともに全世帯に配付しています。
市ホームページでも詳しく紹介しています。



↑ ↑ ↑
こちらのQRコードを読み込むとホームページが見られます。

モニターさん用

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」

※回答期限：令和3年6月28日（月）まで



日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、10年間のまちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、「よいまち」の実現に取り組んできました。わがまちプランでは、取り組みの成果を確認するための主要指標として「アンケートで幸せ感に関するポイントを上げる」を掲げています。このアンケートは、わがまちプランの計画期間中（平成23年度から令和2年度まで）、毎年実施しています。（計画期間は昨年度で終了しましたが、今回のアンケートは令和2年度分として実施します。）

実施方法は2種類あり、1つは、無作為抽出による1,500人の市民の皆さんに、お気持ちを伺うもの（「一般」）です。もう1つは、あなたに引き受けていただいている、毎年同じ目線から昨年と比較してどうなっているかをおたずねするもの（「モニター」）です。

前年との比較を続ける上で、10年間同じ方に「モニター」をお願いすることで、長い間の動きを知ることができます。

今回のアンケートは、この方式での最後になりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いします。

「モニター」用アンケートは、回答者の負担を減らすため、「一般」に比べて設問を簡略化しています。また、この1年間、市がしてきたことが少しでもわかるように、令和2年度の当初予算から主要な事業を抜粋した資料を同封しています。ストレートに質問と結びつくものではありませんが、参考にしていただき、昨年と比較して今の大竹市がどのような状態にあるかをお答えください。

このアンケートは、「令和2年度」の内容について、おたずねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについて、おたずねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの「幸せ感」をはかる尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをおたずねします。
- 問2では、「市民自治」について、あなたがどう思っているかをおたずねします。

★ご記入にあたってのお願い★

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- 回答は、直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後は、この調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、6月28日（月）までに切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、どなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。

調 査 票

○ あなた自身のことについておたずねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1) 性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2) 年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3) 住所

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
2	西栄、南栄、東栄、北栄	6	玖波、玖波町、湯舟町
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海 黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

(4) 何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去、大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

1	3年未満	4	21年～30年
2	3年～10年	5	31年～40年
3	11年～20年	6	41年以上()年

(5) これからも大竹市にお住みになりますか。

1	ずっと住み続けるつもり	左記の回答で理由があれば、お書きください
2	当分の間は住むつもり	
3	将来的には転居したい	
4	近いうちに転居するつもり	
5	わからない	

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをおたずねします。
次の「a」～「o」の設問について、「1年前と比べてどうか」という視点で、それぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。

わがまちプランのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。



a	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	---------------------	------	------	---------	---------	--------

b	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	---------------------	------	------	---------	---------	--------

c	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	----------------------------------	------	------	---------	---------	--------

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。

住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを見守る市民を増やしていきたいと考えています。



d	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	-------------------------	------	------	---------	---------	--------

e	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	---	------	------	---------	---------	--------

f	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	----------------------------------	------	------	---------	---------	--------



「1年前と比べてどうか」という視点で、お答えください。



3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。



いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。

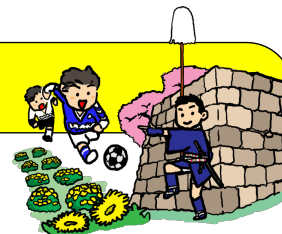
g	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

h	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

i	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。



生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、いきいきと暮らしてほしいと考えています。
また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着の持てるまちにしたいと思います。

j	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

k	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

l	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない



「1年前と比べてどうか」という視点で、お答えください。



5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると
考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。

大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

m	大竹のよいところを知っている	よく知って いる	少し知って いる	どちらでも ない	あまり 知らない	ほとんど 知らない
---	----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

n	市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	----------------------	------	------	-------------	-------------	--------

o	あなたの暮らす地域が好きだ	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	---------------	------	------	-------------	-------------	--------

問2

「市民自治」について、あなたの考えを
おたずねします。次の「p」と「q」の設問について、
「1年前と比べてどうか」という視点で、それ
ぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、まちづくりを自分の問題としてとらえ、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。

このような「市民自治」の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながり、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」にも近づいていくと考えます。

p	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	---------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

q	自分でもできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	--------------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

問3

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。

好きな「ひと」・「もの」・「こと」・「とき」・「ところ」
など、何でも構いません。ひとつだけお書きください。

「幸せ感」とは・・・

このアンケートでは、皆さんの心配や不安がなくなるよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの「幸せ感」を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。

しかし、皆さんが普段感じる「幸せ感」は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんのささいなことかもしれません。

設問は、これで終わりです。

皆さん一人ひとりが感じるささやかな幸せも、それがだんだん大きく広がっていけば、行政の目標である市民全体の幸せに、一歩ずつ近づいていくものと考えています。

市では、よいまちの実現に向けて、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、取り組みを進めていきます。

長い間、モニターとしてアンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。



大好き おおたけ
笑顔♪元氣いつまでも



↑ ↑ ↑
こちらのQRコードを読み込むとホームページが見られます。

未来の幸せづくりに向けた新しいまちづくりの計画「大竹市まちづくり基本構想」を作りました。絵本のようなイラスト中心の冊子を、広報おおたけ5月号とともに全世帯に配付しています。市ホームページでも詳しく紹介しています。

第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）及び指標の達成状況



第1節 概要

1 内容

後期基本計画では、各「主要な施策」に平成31年度の「数値目標」を設定しています。この「数値目標」に向かって、毎年の「目標値」を実施計画に掲載しています。その「目標値」と「実績値」で達成度を測っていきます。

特徴的な項目には、表外に分析や取組を掲載しています。

2 数値の見方

①	{	基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する 目標1-① 工業の振興 施策1 工業の振興							
②	{	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		従業員4人以上の事業所製造出荷額 〔工業統計調査〕	目標値 —	—	2,741億円	2,761億円	2,781億円	2,800億円	2,872億円
③	{		実績値	2,394億円 (H25)	2,730億円 (H26)	3,007億円 (H27)	2,615億円 (H28)	2,996億円 (H29)	2,870億円 (H30)
									2,723億円 (R1)
④	{	(1)企業支援事業							
		指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
④	{	産業奨励金の措置指定件数 ※ 工業・サービス業等複数の業種の合計	目標値	—	—	3件	5件	6件	7件
			実績値	2件	1件	5件	4件	1件	7件

◇表中の記載は、説明例として加工したものであり、数値等は実際の事業計画の記載と異なる部分があります。

①：総合戦略の体系です。

3つの「基本目標」・15の「目標」・39の「施策」から構成されています。

「施策」はいくつかの「事業」で構成されます。各施策の方向性や事業の内容は、総合戦略（後期基本計画実施計画）をご覧ください。

②：施策の効果を測る指標です。（施策評価）

施策全体を客観的に評価する目安です。めざすべき姿の実現により得られる効果で評価します。〔 〕は数値の引用元の名称です（資料がある場合のみ）。

目標値：平成26年度を基準値として設定した令和2年度までの目標値です。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（調査時期により、年度が終了しても記載できていないものもあります）。

欄外に、指標に関する分析や事業などを記載しています。なお、KPIによる施策評価は外部委員で構成される推進会議でも実施しています。

③：大事業の名称です。

施策を実現するための複数の「具体的な事業」をまとめたもので、後期基本計画の「大事業」の名称と一致します。

④：大事業の進捗状況や達成状況を測る指標です。（事業評価）

目標値：平成26年度を基準値として、令和2年度までの目標値を記載しています。ただし、H27年度以降に開始した事業の場合は基準値がありません。

〔 〕は数値の引用元の名称です（資料が有る場合のみ）。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します。（事業開始前は「—」としています）

第2節 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

目標1－① 工業の振興

施策1 工業の振興



重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
従業員4人以上の事業所製造出荷額 〔工業統計調査〕	目標値	—	—	2,741億円	2,761億円	2,781億円	2,800億円	2,872億円
	実績値	2,394億円 (H25)	2,730億円 (H26)	3,007億円 (H27)	2,615億円 (H28)	2,996億円 (H29)	2,870億円 (H30)	2,723億円 (R1)
大竹港で取り扱う貨物の量 〔港湾調査(広島県)〕	目標値	—	—	155万t	160万t	160万t	160万t	160万t
	実績値	145万t	140万t	138万t	156万t	147万t	145万t	123万t (速報値)

目標1－② サービス業の振興

施策1 商業等の振興

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
事業所数(卸売業・小売業)の減少率 〔経済センサス[基礎調査][活動調査]〕	目標値	—	—	△10%以下 (H26⇒H28) 2年間	未調査年	未調査年	△10% (H26⇒H31) 5年間	△10% (H26⇒H31) 5年間
	実績値	△10% (H21⇒H24) 3年間	—	△4.4% (H26⇒H28)	—	—		未確定
手すき和紙保存会の収入額 (売上及び体験講座受講料)	目標値	—	—	—	—	—	1,086千円	1,194千円
	実績値	—	—	—	987千円 (H26-28平均)	1,002千円	1,182千円	821千円
手すき和紙作業所における体験・見学者の数	目標値	—	—	—	—	—	256人	281人
	実績値	—	—	—	233人 (H24-28平均)	191人	810人	268人
手すき和紙作業所で生産される製品の種類	目標値	—	—	—	—	—	6種類	8種類
	実績値	—	—	—	4種類	6種類	7種類	7種類

目標1－③ 1次産業の振興

施策1 水産業の振興

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
漁業経営体[※]の数 〔漁業センサス〕 ※ 漁業経営体: 過去1年間に利潤または生活の資を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕または養殖の事業を行った世帯または事業所(ただし、過去1年間における漁業の海上従事日数が30日未満の個人経営体は除く)	目標値	—	—	未調査年	未調査年	未調査年	78経営体 (H30)	未調査年
	実績値	78経営体 (H25)	—	—	—	—	70経営体 (H30)	—

施策2 農業の振興

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
耕作放棄地の面積	目標値	—	—	4.3ha	4.2ha	2.7ha	2.7ha	2.7ha
	実績値	4.5ha	4.4ha	2.7ha	1.9ha	1.4ha	1.6ha	1.5ha
給食センターとの契約品目数	目標値	—	—	2品目	5品目	10品目	10品目	10品目
	実績値	—	—	10品目	17品目	23品目	26品目	※ ¹ 21品目
参考 ※1:【目標値達成】(給食センターとの契約品目)干しシイタケ、カブ、ニンジン、サツマイモ、キャベツ、ナス、ダイコン、サトイモ、コマツナ、ロメインレタス、トウガン、ハクサイ、タマネギ、キュウリ、カボチャ、シュンギク、ワサビナ、ダイコンバ、シロネギ、ゴボウ、ホウレンソウ								

施策3 林業の振興

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市全体の森林間伐面積 (昭和61年からの累計)	目標値	—	—	92.1ha	98.8ha	105.5ha	112.2ha	112.2ha
	実績値	78.7ha	87.5ha	91.9ha	96.4ha	103.7ha	120.4ha	121.1ha

目標1－④ 雇用の促進

施策1 雇用対策の促進・勤労者福祉の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
有効求人倍率(求職者に対する求人の割合) 〔出典: 広島労働局〕	目標値	—	—	0.80倍	0.85倍	0.95倍	1.00倍	1.00倍
	実績値	0.78倍	0.80倍	0.79倍	0.87倍	0.88倍	0.94倍	0.71倍

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標2－① 出会いの場の創出

施策1 勤労青少年の福祉の向上



重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
勤労青少年ホームのサークル数	目標値	—	—	4団体	4団体	5団体	5団体	5団体
	実績値	3団体	3団体	4団体	3団体	3団体	4団体	※1 3団体
参考 ※1:【目標値未達成】テニス、バドミントン、ゆるミントン(初心者向けのバドミントン)								

目標2－② 母子保健環境の充実

施策1 母子保健施策

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
合計特殊出生率 ※広島県人口動態統計調査(当該年1月～12月)の数値により市で算出(小数点第3位を四捨五入)	目標値	—	—	—	—	1.47人 (H25-29)	1.49人 (H26-30)	1.50人 (H27-R1)
	実績値	1.38人 (H21-25)	1.42人 (H22-26)	1.46人 (H23-27)	1.49人 (H24-28)	1.50人 (H25-29)	1.49人 (H26-30)	一人 (H27-R1)
JA広島総合病院の分娩制限の有無 ※産科医師・助産師の人数が不足したことにより、H19年2月からH25年6月まで分娩の受入が制限されていました。	目標値	—	—	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
	実績値	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし

目標2－③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

施策1 幼児期の教育

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
家庭教育・子育て支援に関する講座の受講者割合 ※0～5歳児童数に対する同年齢層を対象とした講座の受講申込者割合	目標値	—	—	—	28%	29%	30%	30%
	実績値	21%	21%	27%	30%	34%	32%	14%

施策2 児童福祉の充実(幼児期まで)

重要業績評価指標 (KPI)		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
保育所の待機児童数	目標値	—	—	0人	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	11人	3人	0人	0人
地域子育て支援拠点の利用者数(延数)	目標値	—	—	19,000人	19,000人	19,000人	19,000人	19,000人
	実績値	19,694人	18,208人	18,230人	19,425人	19,441人	17,051人	9,474人
子育て支援に関するホームページのアクセス数 ※ H27年度に子育て支援の専用ページを作成。	目標値	—	—	2,800件	2,800件	2,800件	2,800件	2,800件
	実績値	※—	—	2,659件	2,122件	2,062件	2,088件	2,355件
地域子ども子育て支援事業のうち新規拡充事業の目標値(確保方策)を達成した割合	目標値	—	—	—	33%	33%	100%	100%
	実績値	—	—	—	33%	33%	33%	※2 67%
参考 ※2:【目標値未達成】子育て短期支援事業、利用者支援事業、ファミリーサポートセンター事業)のうち、ファミリーサポートセンター事業が未実施です。								

目標2ー④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策1 学校教育の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
小・中学校の教育活動に満足している保護者・地域の割合 〔学校評価調査〕	目標値	—	—	75%	78%	80%	85%	90%
	実績値	75%	82%	83%	90%	90%	91%	94%

施策2 青少年の健全育成

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
ジュニアリーダー育成事業に協力者として参画する高校生の数	目標値	—	—	3人	4人	4人	5人	5人
	実績値	2人	1人	2人	1人	4人	7人	4人

施策3 学校給食を活用した食育の推進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
対象児童に対する調理体験の応募者の割合	目標値	—	—	—	—	5.0%	6.0%
	実績値	—	—	—	—	4.9%	6.5%

参 考 値		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
朝ごはんを毎日食べる子どもの割合(小学5年生) 〔基礎基本定着状況調査(広島県)〕	実績値	98.6%	96.4%	91.5%	94.6%	94.2%	95.6%	調査無

内容 家庭の個別の事情などの要因があり評価しにくく、評価指標から削除しましたが、子どもの食に関する重要な指標であるため、参考値としています。

施策4 児童福祉の充実(小学生以降)

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
放課後児童クラブの受入率 ※H27年度までは低学年における割合。H28年度以降は高学年を含む全学年の割合（法改正：H27年度）	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%	93.3%	100%	100%	100%
地域子ども子育て支援事業のうち新規拡充事業の 目標値(確保方策)を達成した割合【再掲】	目標値	—	—	—	33%	33%	100%
	実績値	—	—	—	33%	33%	67%

基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

目標3－① 良好な市域の整備

施策1 良好な市域の整備



重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「大竹市にずっと住み続けるつもり」と回答した人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	67.2%	70.3%	73.4%	76.4%
	実績値	64.1%	63.6%	66.1%	60.4%	71.1%	63.6%

施策2 雨水排水対策

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
浸水の危険性が改善される市域面積	目標値	—	—	—	2.0ha	11.3ha	11.3ha
	実績値	—	—	—	—	—	※1 0ha

取組 ※1:【目標値未達成】H30年7月豪雨の影響により、工事に着手できませんでしたが、R2年度から工事を開始しました。

施策3 公共交通機関の整備促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市が運行・補助する公共交通の運賃収支率 (辺地タクシー、離島航路を除く)	目標値	—	—	51.0%	52.0%	53.0%	54.0%
	実績値	41.4%	46.7%	58.9%	57.1%	55.8%	38.2%
「目的地までの移動がしやすいまち」だと思う人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	55.8%	57.2%	58.6%	60.0%
	実績値	53.0%	49.4%	50.7%	50.0%	51.3%	56.5%
玖波・黒川地域に転入・転居した人数 (累計) ※ 対象地域: 玖波駅の利用が多いと思われる、 玖波1～8丁目、湯舟町、玖波町、黒川1～3丁目	目標値	—	—	520人 (H27-H28)	780人 (H27-H29)	1,040人 (H27-H30)	1,300人 (H27-R1)
	実績値	256人	293人	639人	960人	1,274人	1,969人

施策4 公園・緑地の整備

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公園の利用者数 (晴海臨海公園とさかえ公園の利用者数の合計)	目標値	—	—	137,000人	144,200人	151,500人	158,800人	207,600人
	実績値	122,392人	161,814人	158,344人	152,747人	206,114人	119,171人	※2 191,272人

取組 ※2:【目標値未達成】H30年度に晴海臨海公園に大型複合遊具広場を整備し、利用者が増加していましたが、R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、利用者は減少しています。

施策5 環境美化の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と感じる人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	65.0%
	実績値	61.2%	60.3%	61.6%	62.8%	70.1%	69.9%	67.0%

施策6 環境の保全

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
環境基準(大気)に適合している項目の数 〔広島県環境データ集〕 ※ 環境基準の対象となる大気汚染物質:二酸化硫黄、二酸化窒素、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの9物質。現況では、光化学オキシダントは環境基準に適合していませんが、これは全国的な傾向であり、本市の対応のみで適合させることは困難な状況です。	目標値	—	—	7項目	7項目	7項目	7項目	7項目
	実績値	7項目	7項目	8項目	8項目	8項目	8項目	県のデータの公表が12月中旬予定のため実績値は現在不明

施策7 交通安全対策の充実

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市内での交通人身事故の発生件数(高速道路を除く) 〔広島県警察 交通事故統計〕	目標値	—	—	95件以下	95件以下	95件以下	95件以下
	実績値	100件	92件	77件	67件	43件	50件

施策8 広域連携による効率的な行財政運営

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
他の地方公共団体と連携する事業の実施割合 ※連携中枢都市制度を活用し、広島広域都市圏内市町と本市が一緒に取り組む「(ウ)生活関連機能サービス向上事業」の実施割合。	目標値	—	—	61.9%	90.5%	95.2%	100.0%
	実績値	—	—	61.9%	61.9%	90.9%	90.9%

目標3ー② 良質な住宅・宅地の供給促進

施策1 良質な住宅・宅地の供給促進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
晴海住宅地の分譲区画数	目標値	—	—	29区画	32区画	34区画	41区画
	実績値	26区画	28区画	31区画	32区画	39区画	※3 44区画
高齢者が居住する住宅のバリアフリー化割合 〔住宅・土地統計調査〕 ※ バリアフリー化住宅:2力所以上の手すり設置や屋内の段差解消などに該当する住宅。	目標値	—	—	—	—	—	53.4%
	実績値	47.6%	—	—	—	—	57.7% (R1公表値)
新耐震基準(S56年)を満たす住宅の割合 〔住宅・土地統計調査〕	目標値	—	—	60.5%	67.0%	79.3%	82.2%
	実績値	—	—	73.5%	—	—	73.5% (R1公表値)
リフォームを実施した住宅の割合 〔住宅・土地統計調査〕	目標値	—	—	—	—	—	34.0%
	実績値	32.0%	—	—	—	—	36.0% (R1公表値)

内容 ※3:【目標値達成】全分譲区画数44区画完売しました。

目標3ー③ 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策1 高齢者施策の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
訪問型サービスBの稼働数	目標値	—	—	—	1力所	2力所	3力所	3力所
	実績値	—	—	—	0力所	0力所	1力所	1力所
通所型サービスBの設置数	目標値	—	—	—	2力所	6力所	10力所	10力所
	実績値	—	—	—	0力所	0力所	0力所	0力所
生活支援コーディネーターの数 ※生活支援コーディネーター:高齢者の生活支援サービス体制の整備のために配置する人。地域支え合い推進員。	目標値	—	—	1人	2人	3人	4人	4人
	実績値	0人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
離島介護サービスの利用者数	目標値	—	—	3人	7人	10人	10人	10人
	実績値	3人	4人	9人	11人	7人	6人	4人
大竹市シルバー人材センターの就業人数(延数)	目標値	—	—	54,000人	57,000人	57,000人	57,000人	57,000人
	実績値	53,595人	56,772人	56,146人	53,681人	54,207人	51,657人	49,023人
地域介護予防自主グループの稼働数	目標値	—	—	—	5力所	15力所	25力所	25力所
	実績値	—	—	—	13力所	17力所	19力所	24力所
敬老会の参加者数※【H30追加】 ※平成30年度より事業指標から移行	目標値	—	—	3,550人	3,600人	3,700人	3,800人	3,800人
	実績値	3,501人	3,561人	3,634人	3,838人 (1,092人)	3,632人	3,909人	134人

施策2 地域福祉の推進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域福祉の推進を目的としたボランティア団体数	目標値	—	—	1団体	3団体	4団体	5団体	8団体
	実績値	1団体	1団体	3団体	5団体	6団体	9団体	9団体
地域活動及びボランティアへの参加意向の割合 (2)の事業で実施するアンケート結果	目標値	—	—	60.0%	60.0%	65.0%	70.0%	70.0%
	実績値	58.8% (H24)	—	44.7%	73.5%	62.5%	69.0%	68.2%
困ったときに助け合える近所つきあいをしている人の割合 (2)の事業で実施するアンケート結果	目標値	—	—	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%
	実績値	22.0% (H24)	—	29.2%	27.8%	16.4%	14.6%	14.2%
地域見守り協定締結の団体数(累計)	目標値	—	—	2団体	3団体	4団体	5団体	7団体
	実績値	0団体	1団体	3団体	6団体	6団体	7団体	※4 9団体
総合福祉センターの利用者数(延数)	目標値	—	—	32,000人	33,000人	34,000人	35,000人	35,000人
	実績値	30,977人	34,092人	39,658人	36,443人	33,892人	32,140人	20,322人
生活支援コーディネーターの数 (再掲)	目標値	—	—	1人	2人	3人	4人	4人
	実績値	0人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
はいかい高齢者SOSネットワーク登録者数(累計)	目標値	—	—	20人	25人	30人	35人	38人
	実績値	17人	24人	29人	35人	38人	42人	47人

内容 ※4:【目標値達成】(地域福祉の推進等に関する包括連携協定締結企業)山口県東部ヤクルト販売株式会社、生活協同組合ひろしま、大塚製薬株式会社、日本郵便株式会社大竹市内郵便局、明治安田生命保険相互会社
(高齢者等地域見守活動に関する協定締結企業)株式会社広島銀行大竹支店、株式会社もみじ銀行大竹支店、中国電力株式会社大竹電力所、佐伯中央農業協同組合

目標3－④ 地域力の向上

施策1 地域安全対策の充実

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
犯罪の発生率（人口1,000人あたりの犯罪発生件数） 〔広島県警察「犯罪統計資料」から算出〕	目標値	—	—	6.6‰	6.4‰	6.2‰	6.0‰	5.8‰
	実績値	6.9‰	5.9‰	5.6‰	5.1‰	4.9‰	5.4‰	3.3‰

‰[パーミル]

施策2 消防力の強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
条例定数に対する消防団員の割合	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	95%	100%	99.4%	99.3%	99.7%	95.4%	93.9%

施策3 災害・危機に強いまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域での自主的な防災訓練や防災教室の実施率 (自治会・自主防災組織単位)	目標値	—	—	38%	44%	47%	50%	53%
	実績値	35%	29%	37%	34%	40%	38%	5%
水や食糧を3日分程度備蓄している人の割合 ※26年度:説明会等の参加者アンケート / 27年度:大竹市民の 幸せ感に関するアンケート / 28年度以降:イベント会場でのアン ケート調査。	目標値	—	—	—	45%	47%	50%	50%
	実績値	—	—	39%	32%	33%	27%	30%
地震時のために家具等の転倒防止策を施している人 の割合 ※26年度:説明会等の参加者アンケート / 27年度:大竹市民の 幸せ感に関するアンケート / 28年度以降:イベント会場でのアン ケート調査。	目標値	—	—	—	50%	55%	60%	60%
	実績値	—	—	47%	40%	37%	32%	25%

施策4 救急・救助体制の充実

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
救急講習の受講率（対人口比）	目標値	—	—	24.0%	26.0%	28.0%	30.0%	32.0%
	実績値	20.0%	20.0%	25.2%	27.2%	30.5%	33.1%	32.1%

施策5 医療体制の充実

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
休日診療所及び在宅当番医の診療科目数 ※診療4科目：内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科	目標値	—	—	4科目	4科目	4科目	4科目
	実績値	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目

施策6 地域活動の促進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
自治会の加入率 （全世帯に対する自治会活動助成金の交付対象世帯数の割合）	目標値	—	—	82.0%	83.0%	82.5%	82.5%
	実績値	81.8%	81.2%	83.2%	81.5%	79.1%	76.9%

施策7 市民主体のまちづくりの推進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことを やってみたいと思う」人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	47.3%	48.2%	44.2%	44.2%
	実績値	45.5%	40.3%	39.2%	39.9%	40.5%	29.7%

目標3－⑤ 健康づくりの推進

施策1 健康づくりの推進と医療保険事業の安定化

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
がん検診の平均受診率 ※	目標値	—	—	15.6%	20.0%	26.0%	32.0%
	実績値	(25.6%)	12.4%	11.6%	12.4%	16.0%	19.1%
特定健康診査の受診率	目標値	—	—	37.0%	45.0%	45.0%	48.0%
	実績値	24.7%	26.6%	33.1%	34.6%	36.2%	37.9%
							36.0% (R2速報値)

※がん検診の受診率の算出方法が、平成27年度分から変更となりました。26年度の受診率は、新しい算出方法で算定できないため、従来の算出方法のまま掲載しています。(指標の各がん検診の受診率も、同様です。)

施策2 食育の推進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
食生活改善推進員の人数	目標値	—	—	40人	43人	43人	45人
	実績値	35人	35人	46人	38人	36人	34人

目標3－⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策1 社会教育の推進

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公民館等で開催する講座の受講者数(延数)	目標値	—	—	5,300人	5,300人	5,300人	5,300人
	実績値	5,338人	5,294人	5,749人	5,440人	6,703人	2,334人

施策2 生涯学習の充実

重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
生涯学習施設の年間利用者の割合(人口比)	目標値	—	—	11.3倍	11.3倍	11.4倍	11.5倍
	実績値	11.1倍	10.7倍	10.8倍	10.6倍	10.5倍	5.6倍

施策3 スポーツの推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
スポーツ大会等の参加者(利用者)数	目標値	—	—	187,000人	191,000人	196,000人	200,000人	200,000人
	実績値	177,759人	193,295人	210,075人	204,151人	187,885人	189,402人	134,923人

施策4 芸術・文化活動の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市文化祭への出展者数	目標値	—	—	280人	290人	300人	300人	300人
	実績値	276人	277人	252人	252人	274人	249人	文化祭展示 中止

目標3ー⑦ 情報発信力の向上

施策1 積極的な情報発信

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市ホームページのアクセス数(延数)	目標値	—	—	339,000件	354,000件	369,000件	800,000件	900,000件
	実績値	290,717件	303,004件	781,855件	809,197件	944,729件	962,826件	1,312,542件
市内への観光客数(延数)	目標値	—	—	367,592人	377,592人	387,592人	398,800人	406,700人
	実績値	337,592人	389,170人	394,390人	393,590人	432,120人	470,318人	378,791人

第3節 指標の達成状況

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

目標1－① 工業の振興

施策1 工業の振興

(1) 企業支援事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
産業奨励金の措置指定件数 ※工業・サービス業等複数の業種の合計	目標値	—	—	3件	5件	6件	7件
	実績値	2件	1件	5件	4件	1件	7件
融資件数(設備近代化資金) ※工業・サービス業等複数の業種の合計	目標値	—	—	3件	4件	4件	5件
	実績値	2件	0件	0件	2件	0件	1件
技能者等人材育成事業の増加(H27比)受講者数	目標値	—	—	15人	20人	25人	30人
	実績値	—	18人	7人	30人	△3人	16人

(2) 工業用水道設備維持管理事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
給水を制限・停止した件数(天災地変等やむを得ない場合を除く。)	目標値	—	—	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(3) 港湾施設管理事業

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大竹港(東栄地区)入港船舶数 〔国土交通省「港湾調査」〕	目標値	—	—	3,950隻	4,000隻	4,000隻	4,000隻	4,000隻
	実績値	3,759隻	3,612隻	3,629隻	3,850隻	3,638隻	3,445隻	3,237隻 (速報値)
大竹港(東栄地区)岸壁使用料収入	目標値	—	—	17,000千円	17,500千円	17,500千円	17,500千円	17,500千円
	実績値	—	16,224千円	15,635千円	16,088千円	17,323千円	20,404千円	17,143千円

目標1ー② サービス業の振興

施策1 商業等の振興

(1) 商業振興事業

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地元商店などで新規に取り組む事業の数	目標値	—	—	1件	6件	6件	6件	6件
	実績値	—	0件	4件	3件	3件	3件	3件
創業支援事業による※創業者(起業家)数 (累計) ※ 商業に限定しません。	目標値	—	—	4人	8人	12人	17人	20人
	実績値	—	0人	1人	2人	5人	8人	15人

(2) 伝統文化生産性付加事業

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
手すき和紙作業所改修工事進捗率	目標値	—	—	—	—	—	100%	100%
	実績値	—	—	—	0%	100%	100%	100%

目標1－③ 1次産業の振興

施策1 水産業の振興

(1) 養殖漁業経営支援事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
漁協が自営事業として実施するブランドハマチ事業の数	目標値	—	—	1事業	1事業	1事業	1事業
	実績値	0事業	0事業	1事業	1事業	1事業	1事業
かきの採苗量	目標値	—	—	必要量の確保	必要量の確保	必要量の確保	必要量の確保
	実績値	必要量の2割程度	概ね必要量確保	概ね必要量確保	概ね必要量の確保	概ね必要量の確保	概ね必要量の確保

(2) 漁港施設管理事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
漁港施設で対策が必要な箇所※のうち、改修等に着手した箇所数（累計） ※平成26年度に広島県から移譲を受けた時にa判定評価であった箇所及び移譲後に新たなa判定評価となった修繕箇所が対象。	目標値	—	—	—	5	6	7
	実績値	—	—	—	3	6	8

施策2 農業の振興

(1) 集落営農担い手育成事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人・農地プラン※の作成件数 ※人・農地プラン(地域農業マスタープラン):持続可能な力強い農業を実現するために、基本となる人と農地の問題を一体的に解決しようとするためのプランです。集落や地域でしっかりと話し合い、農地の問題を解決するための「未来の設計図」を作ります。	目標値	—	—	1件	1件	1件	1件
	実績値	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(2) 農業振興対策事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
イノシシによる農作物被害額(農済集計)	目標値	—	—	680千円	595千円	510千円	425千円	425千円
	実績値	850千円	794千円	1,160千円	1,026千円	663千円	299千円	377千円
農地パトロール実施地域	目標値	—	—	全地域	全地域	全地域	全地域	全地域
	実績値	—	全地域	全地域	全地域	全地域	全地域	全地域

(3) 農業施設維持補修事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
農道・農水路の保全計画の策定数 (地区ごとに策定)	目標値	—	—	—	—	1 地区	1 地区	—
	実績値	—	—	—	—	0地区	0地区	R1年度に策定しないと決定

(4) ひろしま給食地産地消促進事業

指 標	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
給食センター用農作物のマロンの里への出荷者数	目標値	—	—	10人	30人	40人	50人	60人
	実績値	—	—	10人	30人	30人	20人	20人

施策3 林業の振興

(1) 森づくり普及促進事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
里山整備事業により整備した里山の数(累計)	目標値	—	—	1力所	1力所	1力所	2力所	2力所
	実績値	0力所	0力所	1力所	1力所	1力所	2力所	2力所

(2) 森林保育事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
玖波財産区の森林間伐面積(昭和61年からの累計)	目標値	—	—	38.6ha	40.1ha	41.6ha	43.1ha	44.6ha
	実績値	35.6ha	37.1ha	37.1ha	37.1ha	37.1ha	38.7ha	38.7ha

目標1－④ 雇用の促進

施策1 雇用対策の促進・勤労者福祉の充実

(1)雇用対策事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公共職業安定所などと新規に連携して取り組んだ事業の数(累計)	目標値	—	—	—	1件	1件	2件
	実績値	—	—	—	1件	1件	2件

(2)勤労者福祉事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
労働金庫新規融資件数	目標値	—	—	14件	16件	18件	20件
	実績値	10件	19件	12件	5件	3件	5件
女性活躍促進セミナーの参加者数	目標値	—	—	20人	30人	30人	35人
	実績値	—	30人	23人	45人	46人	7人

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標2－① 出会いの場の創出

施策1 勤労青少年の福祉の向上

(1) 勤労青少年ホーム運営事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
勤労青少年ホーム周知回数 (広報紙・ホームページなどの情報発信媒体への掲載数)	目標値	—	—	13回	14回	15回	15回
	実績値	12回	12回	18回	14回	13回	4回

目標2－② 母子保健環境の充実

施策1 母子保健施策

(1) 医療体制整備事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
JA広島総合病院の産科医の人数	目標値	—	—	5人	5人	5人	5人
	実績値	5人	6人	6人	5人	5人	6人
JA広島総合病院の助産師の人数	目標値	—	—	26人	26人	26人	26人
	実績値	26人	30人	26人	26人	25人	29人

(2) 母子保健事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
不妊治療助成制度の利用者数	目標値	—	—	—	10人	10人	10人
	実績値	—	—	—	8人	26人	19人
妊娠11週までに妊娠届を行う割合	目標値	—	—	94.0%	95.0%	95.0%	96.0%
	実績値	94%	91%	95.9%	93.8%	96.2%	97.4%
妊産婦健康診査等支援制度の利用者数【R2削除】	目標値	—	—	208人	210人	200人	
	実績値	204人	200人	183人	188人	146人	

(2) 母子保健事業(つづき)

指 標	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
妊産婦健康診査等支援制度の利用率 ※利用率の算出は、分母を「地域保健・健康増進事業報告の2(1)母子保健(妊娠の届け出数)」とし、任簿を当該年度内(4～3月)の支援費制度申請者数としています。年度をまたいで支援制度を申請する場合があります。分子が分母を上回る場合があります。	目標値	—	—	95.0%	96.0%	96.0%	96.0%	97.0%
	実績値	—	94.3%	107.0%	97.4%	91.8%	92.5%	106.0%
阿多田地区妊産婦健康診査交通費助成制度の利用者数	目標値	—	—	1人	2人	1人	2人	2人
	実績値	—	—	0人	1人	2人	0人	0人
妊産婦歯科健康診査の受診率(妊婦)	目標値	—	—	40.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実績値	—	38.0%	43.8%	47.0%	47.0%	52.4%	55.7%
妊産婦歯科健康診査の受診率(産婦)	目標値	—	—	30.0%	40.0%	40.0%	40.0%	50.0%
	実績値	—	22.0%	35.2%	25.2%	47.0%	40.2%	35.9%
乳児一般健康診査(医療機関で実施)の受診率	目標値	—	—	80.0%	81.0%	82.0%	82.0%	82.0%
	実績値		79.2%	75.5%	77.0%	71.4%	76.5%	77.5%
生後4カ月までに赤ちゃん訪問を実施する割合	目標値	—	—	96.0%	98.0%	98.0%	100%	100.0%
	実績値	95.0%	98.0%	96.4%	95.3%	95.0%	90.3%	66.7%
乳児健康相談の受診率	目標値	—	—	95.0%	96.0%	96.0%	97.0%	97.0%
	実績値	95%	94%	97.0%	96.3%	95.9%	96.4%	81.5%
1歳6か月児健康診査の受診率	目標値	—	—	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	97.0%
	実績値	96.0%	95.0%	97.1%	96.1%	96.5%	97.8%	97.0%
3歳児健康診査の受診率	目標値	—	—	91.0%	92.0%	93.0%	94.0%	96.0%
	実績値	90.0%	90.0%	97.0%	97.5%	95.0%	94.8%	96.4%

目標2－③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

施策1 幼児期の教育

(1)家庭教育・子育て支援事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
家庭教育・子育て支援に関する講座数	目標値	—	—	13講座	13講座	13講座	13講座
	実績値	13講座	12講座	12講座	16講座	13講座	9講座

施策2 児童福祉の充実(幼児期まで)

(1)子ども・子育て支援事業計画の推進

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子育て短期支援事業(ショートステイ)の年間利用可能日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	14日	14日	42日
	実績値	—	—	—	14日	14日	42日
利用者支援事業の実施箇所 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	1カ所	1カ所
	実績値	—	—	—	—	0カ所	1カ所
ファミリーサポートセンター事業の年間利用日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	50日	25日
	実績値	—	—	—	—	0日	0日

(2)こども医療費助成事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
医療費助成拡充対象者への申請勧奨率	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%
	実績値	—	—	100%	100%	100%	100%

(3) 特別保育の実施

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
延長保育を実施する保育所等の数	目標値	—	—	3力所	3力所	3力所	4力所	3力所
	実績値	3力所	3力所	3力所	3力所	3力所	3力所	3力所
休日保育を実施する保育所等の数	目標値	—	—	0力所	0力所	1力所	1力所	1力所
	実績値	0力所	0力所	0力所	0力所	0力所	0力所	0力所
病児・病後児保育利用可能人数(年間延人数)	目標値	—	—	750人	750人	750人	750人	750人
	実績値	750人	750人	750人	750人	750人	750人	750人

(4) 安全な保育に向けて

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
保育所アンケート安心度	目標値	—	—	60.0%	60.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績値	—	—	79.6%	84.3%	76.0%	70.2%	78.0%
保育所メールシステムの登録率※ ※保育所入所児童数に対する割合	目標値	—	—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
	実績値	—	—	96.5%	97.0%	98.0%	98.0%	98.0%

目標2ー④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策1 学校教育の充実

(1) 不登校等の対策

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
不登校の児童・生徒数	目標値	—	—	25人	23人	20人	17人	25人
	実績値	27人	20人	25人	28人	30人	32人	28人

(3)教育推進事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率【R2削除】 (県平均との比較) ★削除理由 県の「基礎・基本」定着状況調査のうち学力テストがH30年度から行われなくなったため。	目標値	—	—	±0.0 ポイント	+1.0 ポイント	+2.0 ポイント	+3.0 ポイント
	実績値	+1.3 ポイント	△1.3 ポイント	△1.2 ポイント	△0.8 ポイント	実施無	実施無
全国学力・学習状況調査の平均正答率 (県平均との比較)	目標値	—	—	+1.3 ポイント	+1.5 ポイント	+2.0 ポイント	+3.0 ポイント
	実績値	+0.4 ポイント	+1.3 ポイント	△1.0 ポイント	△0.4 ポイント	△0.6 ポイント	△2.4 ポイント
体力・運動能力テストで県平均以上の項目数 ※ 全項目数:34項目 ※ 評価対象:小学校5年生男子・女子、中学校2年生男子・女子	目標値	—	—	13項目	13項目	13項目	16項目
	実績値	10項目	12項目	10項目	17項目	17項目	18項目
特別支援教育支援員を配置した割合	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
いじめの認知件数	目標値	—	—	15件	13件	10件	10件
	実績値	17件	11件	12件	14件	24件	18件
学級支援員の配置数	目標値	—	—	11人	12人	12人	12人
	実績値	9人	9人	11人	12人	10人	11人
読書活動推進員の配置数	目標値	—	—	2人	2人	2人	2人
	実績値	2人	2人	2人	2人	2人	2人
中学3年生の英検3級以上取得者割合	目標値	—	—	—	—	40.0%	50.0%
	実績値	—	—	11.7%	31.4%	29.7%	31.7%

(4)奨学金返還免除制度

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
免除制度の利用者数	目標値	—	—	43人	45人	47人	50人
	実績値	28人	41人	41人	41人	43人	37人
新規貸付者数	目標値	—	—	15人	15人	15人	15人
	実績値	—	9人	5人	3人	6人	4人

施策2 青少年の健全育成

(1) 21世紀を担う人材育成事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
ジュニアリーダー育成事業の参加者数 (小・中学生)	目標値	—	—	25人	25人	25人	25人
	実績値	15人	29人	44人	21人	22人	21人
ジュニアリーダー育成事業のリピーター人数 (小・中学生)	目標値	—	—	15人	15人	15人	15人
	実績値	6人	13人	18人	18人	10人	12人
中学生交歓交流事業の参加者数 (大竹市分)	目標値	—	—	12人	12人	10人	10人
	実績値	10人	10人	14人	14人	13人	中止

(2) 子ども居場所づくり事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
おおたけっ子らんらんカレッジの教室数	目標値	—	—	41教室	41教室	42教室	43教室
	実績値	41教室	39教室	41教室	36教室	42教室	中止
おおたけっ子らんらんカレッジ(企業・学校連携)の 教室数	目標値	—	—	9教室	9教室	10教室	10教室
	実績値	8教室	8教室	8教室	8教室	10教室	中止
おおたけっ子らんらんカレッジの参加者数	目標値	—	—	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人
	実績値	1,024人	1,275人	1,333人	1,082人	1,330人	中止
放課後子ども教室の数	目標値	—	—	10教室	10教室	10教室	10教室
	実績値	8教室	10教室	10教室	9教室	10教室	9教室
放課後子ども教室の登録者数	目標値	—	—	130人	140人	150人	160人
	実績値	128人	174人	166人	170人	185人	101人

施策3 学校給食を活用した食育の推進

(1) 学校における食育の推進

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
学校給食における地場産物(広島県産)の使用割合	目標値	—	—	26%	27%	28%	30%
	実績値	25%	25%	25%	26%	27%	26%

施策4 児童福祉の充実(小学生以降)

(1) 子ども・子育て支援事業計画の推進(再掲)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子育て短期支援事業(ショートステイ)の年間利用日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	14日	14日	14日	42日
	実績値	—	—	14日	14日	14日	42日
利用者支援事業の実施箇所 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	1カ所	1カ所
	実績値	—	—	—	—	0カ所	1カ所
ファミリーサポートセンター事業の年間利用日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	50日	25日
	実績値	—	—	—	—	0日	0日

(2) こども医療費助成事業(再掲)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
医療費助成拡充対象者の申請勧奨率	目標値	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	—	100%	100%	100%	100%	100%

(3) 放課後児童クラブの運営

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
放課後児童クラブにおける低学年の待機児童数	目標値	—	0人	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	0人	0人	0人
放課後児童クラブメールシステムの登録率	目標値	—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
	実績値	—	98.0%	98.0%	98.0%	99.6%	100%

基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

目標3－① 良好な市域の整備

施策1 良好な市域の整備

(1)小方地区のまちづくり事業

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
小方地区の人口 ※対象地区:立戸1～4丁目、御幸町、御園1・2丁目、 御園台、小方1・2丁目、小方ヶ丘、晴海1・2丁目、 黒川1～3丁目、港町1・2丁目、湯舟町、三ツ石町、 阿多田、小方町黒川	目標値	—	—	8,700人	8,750人	8,800人	9,000人	9,000人
	実績値	8,475人	8,365人	8,227人	8,061人	7,905人	7,720人	7,598人

(2)都市計画(都市計画に関する基本的な方針)の見直し

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
都市計画マスタープラン(見直し)の策定率	目標値	—	—	—	100%		
	実績値	—	—	—	59%	100%	100%
立地適正化計画の策定率	目標値	—	—	—	100%		20%
	実績値	—	—	—	0%	0%	20%

施策2 雨水排水対策

(1)河川保全事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
改善事業に着手した浸水対策対象地区数(累計)	目標値	—	—	1地区	2地区	2地区	2地区
	実績値	—	—	1地区	1地区	1地区	1地区

施策3 公共交通機関の整備促進

(1) 地域公共交通整備事業

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
こいこいバスと支線交通の利用者数	目標値	—	—	108,300人	156,000人	156,000人	156,000人	153,000人
	実績値	103,822人	120,315人	153,927人	155,327人	149,749人	148,149人	106,351人
大竹・栗谷線と坂上線の利用者数 ※大竹・栗谷線と坂上線は、利用者が減少傾向のため、目標値は基準値より低くなっています。	目標値	—	—	26,000人	26,000人	25,500人	25,000人	22,000人
	実績値	26,935人	26,557人	25,641人	24,167人	23,230人	21,428人	16,715人

(2) 玖波駅西口駅舎維持管理事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
玖波駅の乗車人数(1日あたり)	目標値	—	—	1,866人	1,878人	1,889人	1,900人	1,800人
	実績値	1,844人	1,845人	1,823人	1,798人	1,726人	1,700人	1,429人
玖波・黒川地域の住宅新築戸数	目標値	—	—	5戸	5戸	5戸	5戸	5戸
	実績値	5戸	20戸	19戸	11戸	23戸	20戸	24戸

(3) 大竹駅周辺整備事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大竹駅の整備率 (事業費ベース)	目標値	—	—	—	—	20.2%	27.7%	35.2%
	実績値	18.8%	19.2%	19.6%	20.2%	20.2%	23.6%	33.3%
大竹駅周辺エリアの転入・転居者数(累計) 対象地区:北栄、西栄1・2・3丁目、東栄1・2丁目、 南栄1・2・3丁目、立戸4丁目、新町1・2丁目、油見3丁目	目標値	—	—	920人 (H27-28)	1,320人 (H27-29)	1,720人 (H27-30)	2,100人 (H27-R1)	2,500人 (H27-R2)
	実績値	413人	695人	1,158人	1,623人	2,154人	2,746人	3,212人

施策4 公園・緑地の整備

(1) 都市公園整備事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
晴海臨海公園の整備率(面積)	目標値	—	—	31.3%	33.8%	49.0%	49.0%	50.5%
	実績値 (Ⅰ期工事完了時)	31.3% (Ⅰ期工事完了時)	31.3% (Ⅰ期工事完了時)	31.6%	36.4%	45.1%	49.7%	49.7%
さかえ公園の整備率(事業費)	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	4.6%	64.2%	100%				

(2) 公園緑地維持管理事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
公園施設の修繕・更新数(長寿命化計画に基づく優先順位に沿った整備)	目標値	—	—	30件	30件	30件	30件	30件
	実績値	0件	14件	25件	28件	30件	34件	29件

施策5 環境美化の推進

(1) 環境衛生・美化推進事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
市民花壇の設置箇所数(累計) (市民や市民団体などが管理する花壇の数)	目標値	—	—	27力所	28力所	29力所	38力所	40力所
	実績値	24力所	27力所	33力所	37力所	39力所	45力所	52力所

施策6 環境の保全

(1)環境保全事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
公害に関する苦情件数	目標値	—	—	33件	32件	31件	30件	25件
	実績値	35件	27件	40件	41件	22件	16件	23件
温室効果ガス排出量 (市の業務に関連した二酸化炭素等の排出量)	目標値	—	—	10,250t	10,150t	10,050t	9,800t	9,700t
	実績値	10,398t	9,974t	9,870t	9,828t	9,680t	集計中	7,956t

(2)環境学習事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
環境学習会の参加者数(延数)	目標値	—	—	420人	1,600人	2,200人	3,800人	5,200人
	実績値	308人	668人	1,015人	2,285人	3,710人	4,847人	中止

施策7 交通安全対策の充実

(1)道路施設維持事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
歩道床版改修事業における整備対象箇所の完了数 (整備対象6路線のうち平成31年までに優先3路線を整備する。)	目標値	—	—	1路線	2路線	2路線	3路線	3路線
	実績値	1路線	1路線	1路線	1路線	1路線	1路線	1路線

施策8 広域連携による効率的な行財政運営

(1)連携中枢都市圏制度の活用事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
広島広域都市圏内における他の地方公共団体との連携協約締結状況	目標値	—	—	締結済	締結済	締結済	締結済	締結済
	実績値	未締結	締結済	締結済	締結済	締結済	締結済	締結済

目標3－② 良質な住宅・宅地の供給促進

施策1 良質な住宅・宅地の供給促進

(1)市営住宅整備事業

指 標	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
市営御園団地整備事業の進捗率	目標値	—	—	—	86%	95%	96%	99.6%
	実績値	0%	0%	43.8%	84.2%	95.3%	96.0%	99.6%

(2)住宅改修等補助業務

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
住宅リフォーム補助事業の申請件数(年間)	目標値	—	—	50件	37件	14件	14件	15件
	実績値	24件	24件	19件	20件	14件	18件	15件

(3)空き家対策業務

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
空き家バンク登録件数(累計)	目標値	—	—	—	5件	10件	10件
	実績値	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(4)市営住宅管理事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市営木造平屋住宅の管理戸数	目標値	—	—	238戸	233戸	228戸	223戸	190戸
	実績値	287戸	243戸	239戸	233戸	218戸	194戸	185戸

(5)道路施設新設、改良事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
狭あい道路を改善した箇所数	目標値	—	—	—	2箇所	4箇所	6箇所	2箇所
	実績値	—	—	—	—	—	—	—

目標3－③ 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策1 高齢者施策の充実

(1)介護保険地域支援事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
従前の訪問介護相当実施率 (従前の訪問介護相当サービス実施事業者数/訪問介護事業所数)	目標値	—	—	—	100%	100%	100%
	実績値	—	—	—	100%	100%	100%
従前の通所介護相当実施率 (従前の通所介護相当サービス実施事業者数/通所介護事業所数)	目標値	—	—	—	100%	100%	100%
	実績値	—	—	—	100%	100%	100%
地域介護予防自主グループの設置数	目標値	—	—	—	5力所	10力所	10力所
	実績値	—	—	—	10力所	17力所	19力所
地域ケア会議の開催件数(事例数)	目標値	—	—	3件	4件	4件	5件
	実績値	1件	2件	2件	8件	5件	20件
認知症初期集中支援チームの訪問件数	目標値	—	—	15件	20件	25件	30件
	実績値	1件	19件	17件	10件	17件	15件
緊急通報システム登録者数	目標値	—	—	340人	350人	355人	360人
	実績値	327人	323人	314人	300人	253人	218人

※従前の指標「(2)介護保険地域支援事業(包括的支援事業)」及び「(3)介護保険地域支援事業(任意事業)」は、(1)に統合されています。

(4)シルバー人材センター活動促進事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
シルバー人材センターの会員数	目標値	—	—	505人	520人	535人	550人
	実績値	499人	511人	505人	475人	493人	479人

(5) 在宅老人対策事業

07 社会福祉対策事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
単位老人クラブの会員数	目標値	—	—	1,580人	1,585人	1,590人	1,600人	1,500人
	実績値	1,572人	1,414人	1,328人	1,284人	1,210人	1,220人	1,285人
単位老人クラブ数	目標値	—	—	48クラブ	48クラブ	48クラブ	48クラブ	48クラブ
	実績値	—	48クラブ	43クラブ	43クラブ	43クラブ	44クラブ	45クラブ
敬老会の開催数	目標値	—	—	—	—	23カ所	23カ所	23カ所
	実績値	—	—	—	17カ所	25カ所	25カ所	3カ所
老人集会所設置数	目標値	—	—	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所
	実績値	—	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所

施策2 地域福祉の推進

(1) 地域福祉事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
民生委員・児童委員定数	目標値	—	—	68人	68人	68人	68人	68人
	実績値	67人	67人	68人	68人	68人	68人	68人
地域福祉活動支援員(協力員)の数	目標値	—	—	—	—	10人	20人	20人
	実績値	—	—	—	—	0人	0人	0人
地域福祉支援システム情報の蓄積件数	目標値	—	—	1,400件	1,600件	1,800件	2,000件	2,200件
	実績値	1,259件	1,300件	1,247件	1,960件	2,573件	2,530件	2,475件

(2) 地域福祉担い手育成事業

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域福祉担い手育成講座の開講数	目標値	—	—	—	3回	3回	3回	3回
	実績値	—	—	—	3回	5回	7回	3回
地域福祉担い手育成事業の支援が決定した団体数 (累計)	目標値	—	—	2団体	4団体	6団体	8団体	10団体
	実績値	—	—	2団体	4団体	6団体	12団体	12団体

目標3－④ 地域力の向上
 施策1 地域安全対策の充実

(1)地域安全対策事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
青色回転灯パトロール実施車の登録車両台数	目標値	—	—	17台	18台	9台	10台	11台
	実績値	8台	8台	8台	8台	9台	13台	13台
青色回転灯パトロール実施者証保持者数	目標値	—	—	325人	350人	250人	260人	270人
	実績値	216人	219人	230人	193人	269人	308人	316人

施策2 消防力の強化

(1)消防団の強化

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
消防団の資機材の更新計画達成率	目標値	—	—	80%	85%	87%	92%	95%
	実績値	75%	75%	79%	88%	92%	95%	89%
消防団員の教育・研修受講率	目標値	—	—	25%	28%	30%	33%	34%
	実績値	—	21%	38%	26%	30%	31%	2%
消防団員の訓練参加者数(延数)	目標値	—	—	1,300人	1,400人	1,500人	1,500人	1,500人
	実績値	—	1,154人	1,341人	1,240人	1,255人	1,074人	1,086人

施策3 災害・危機に強いまちづくり

(1) 防災体制整備事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
食糧・日用品・避難場所等災害時の応援協定を締結している民間事業者数(累計)	目標値	—	—	6事業者	7事業者	8事業者	9事業者	15事業者
	実績値	—	5事業者	6事業者	6事業者	10事業者	11事業者	13事業者
防災情報メールシステムの登録者数(累計)	目標値	—	—	2,500人	4,000人	5,500人	7,000人	7,000人
	実績値	—	1,400人	1,800人	2,300人	2,829人	3,144人	3,606人
自主防災組織の加入率	目標値	—	—	65%	70%	75%	80%	80%
	実績値	62%	62%	62%	62%	63%	72%	75%
要支援者を支援する人の割合	目標値	—	—	65%	70%	75%	80%	80%
	実績値	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
市と地域の連携による防災訓練・防災学習会・防災講演会等の実施件数	目標値	—	—	1件	2件	5件	5件	5件
	実績値	—	1件	1件	5件	9件	9件	6件

※従前の指標「自主防災組織の育成指導事業」及び「(3)避難行動要支援者支援事業」は、(1)に統合されています。

(4) 災害時の相互応援(給水)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
災害訓練の実施回数	目標値	—	—	4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	4回	4回	2回	3回	3回

施策4 救急・救助体制の充実

(1) 救急・救助体制の充実

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
普通救命講習修了証の保有率(対人口比)	目標値	—	—	9.3%	10.2%	11.1%	12.0%	12.9%
	実績値	7.5%	8.2%	8.3%	9.0%	10.2%	11.2%	13.7%
救急車への救急救命士の乗車率	目標値	—	—	99%	100%	100%	100%	100%
	実績値	97%	97%	97%	97.0%	97.6%	97.5%	98.4%

施策5 医療体制の充実

(1) 医療体制整備事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
救急医療体制に関する年間周知回数（広報紙など）	目標値	—	—	13回	14回	14回	14回	14回
	実績値	13回	13回	13回	13回	13回	13回	13回
休日診療所の数	目標値	—	—	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所
	実績値	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所
広島西二次保健医療圏域で、二次及び三次救急医療を担う医療機関数 ※広島西二次保健医療圏域（大竹市・廿日市市）	目標値	—	—	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所
	実績値	—	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所
休日在宅当番医制を行う診療科目の数	目標値	—	—	2科目	2科目	2科目	2科目	2科目
	実績値	—	2科目	2科目	2科目	2科目	2科目	2科目
へき地診療所の数	目標値	—	—	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所
	実績値	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所

施策6 地域活動の促進

(1) 地域活動の促進

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
集会所建設等補助金を活用して改修などをした自治会 の数(累計)	目標値	—	—	8自治会 (H25-H28)	10自治会 (H25-H29)	12自治会 (H25-H30)	14自治会 (H25-R1)	22自治会 (H25-R2)
	実績値	2自治会 (H25-H26)	6自治会 (H25-H27)	8自治会 (H25-H28)	8自治会 (H25-H29)	19自治会 (H25-H30)	21自治会 (H25-R1)	23自治会 (H25-R2)

(2) コミュニティ活動の支援

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
宝くじ助成事業で備品等を整備したコミュニティ団体数 (累計)	目標値	—	—	10団体 (H23-H28)	12団体 (H23-H29)	14団体 (H23-H30)	16団体 (H23-R1)	16団体 (H23-R2)
	実績値	6団体 (H23-H26)	8団体 (H23-H27)	9団体 (H23-H28)	10団体 (H23-H29)	12団体 (H23-H30)	14団体 (H23-R1)	16団体 (H23-R2)

施策7 市民主体のまちづくりの推進

(1) 協働のまちづくり推進事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
新規に発足した団体数(累計) (スタート支援助成金の交付を受けた団体の累計数)	目標値	—	—	19団体 (H19-H28)	21団体 (H19-H29)	23団体 (H19-H30)	26団体 (H19-R1)	30団体 (H19-R2)
	実績値	16団体 (H19-H26)	17団体 (H19-H27)	20団体 (H19-H28)	25団体 (H19-H29)	25団体 (H19-H30)	29団体 (H19-R1)	31団体 (H19-R2)
市民活動助成金の交付を受けた団体を対象とした情報交換会の開催数(累計)	目標値	—	—	1回	1回 (H28-H29)	2回 (H28-H30)	2回 (H28-R1)	2回 (H28-R2)
	実績値	—	—	1回 (H28)	1回 (H28-H29)	2回 (H28-H30)	2回 (H28-R1)	2回 (H28-R2)

目標3－⑤ 健康づくりの推進

施策1 健康づくりの推進と医療保険事業の安定化

(1)健康づくり推進事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と回答した人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
	実績値	78.0%	66.4%	67.5%	70.1%	83.0%	73.5%
健康相談件数	目標値	—	—	—	—	1,200人	1,200人
	実績値				1,145人	1,062人	1,018人
健康増進教室(女子力UP講座)の参加人数(延べ人数)	目標値	—	—	—	—	600人	450人
	実績値				410人	328人	130人
節目歯科健診の受診率 ※受診率は、40歳から70歳までの10歳刻みに達した方を対象とした受診者により算出	目標値	—	—	—	15.0%	20.0%	20.0%
	実績値	—	—	—	16.2%	16.7%	14.4%
胃がん検診の受診率 ※受診率は、H28年度までは40から69歳、H29年度より50から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%
	実績値	9.8%	4.1%	6.5%	5.9%	9.4%	8.1%
肺がん検診の受診率 ※受診率は、40から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	8.0%	10.0%	15.0%	20.0%
	実績値	14.8%	6.5%	5.6%	6.2%	14.5%	16.5%
大腸がん検診の受診率 ※受診率は、40から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	15.0%	20.0%	30.0%	40.0%
	実績値	31.6%	11.9%	11.3%	11.9%	26.9%	29.9%
乳がん検診の受診率 ※受診率は、40から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%
	実績値	35.9%	19.0%	18.4%	17.1%	26.3%	24.2%

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子宮頸がん検診の受診率 ※受診率は、20から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%
	実績値	36.1%	20.3%	19.6%	18.9%	23.9%	21.6% 21.9% (速報値)
特定健康診査の受診者数	目標値	—	—	1,850人	2,250人	2,250人	2,250人
	実績値	—	1,454人	1,731人	1,721人	1,701人	1,595人 1,208人
特定保健指導の実施率	目標値	—	—	54.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績値	31.3%	57.4%	20.9%	51.9%	37.0%	31.3% 39.1% (利用率)

※従前の指標「(2)特定健康診査等事業、健康づくり事業」は、(1)に統合されています。

施策2 食育の推進

(1)食育推進事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
広報紙への掲載回数	目標値	—	—	1回	3回	3回	3回
	実績値	0回	3回	2回	2回	2回	3回
離乳食講座(もぐぱくひろば)の参加組数	目標値	—	—	85組	90組	95組	100組
	実績値	—	72組	81組	60組	64組	74組 12組

目標3－⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策1 社会教育の推進

(1)社会教育推進事業

指 標	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域の課題などの解決を目的とした講座数	目標値	—	—	8講座	9講座	10講座	10講座	12講座
	実績値	7講座	9講座	13講座	13講座	16講座	13講座	13講座
公民館等で開催する講座数 (社会教育・生涯学習に関する講座)	目標値	—	—	100講座	100講座	100講座	100講座	85講座
	実績値	101講座	100講座	103講座	83講座	102講座	95講座	34講座

施策2 生涯学習の充実

(1)生涯学習推進事業

指 標	基準値(H26)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
公民館まつり・総合市民会館まつりの展示・発表グループ数	目標値	—	—	120グループ	120グループ	120グループ	120グループ	120グループ
	実績値	140グループ	126グループ	116グループ	118グループ	123グループ	33グループ	41グループ
市民1人あたりの図書貸出冊数	目標値	—	—	4.9冊	4.9冊	5.0冊	5.0冊	5.0冊
	実績値	4.9冊	4.4冊	4.6冊	4.5冊	4.4冊	4.3冊	4.0冊

施策3 スポーツの推進

(1) スポーツ推進事業

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
スポーツ教室への子どもの参加者数(延数)	目標値	—	—	190人	230人	260人	300人	300人
	実績値	119人	203人	205人	239人	345人	455人	28人
市民参加型のニュースポーツ大会の開催数	目標値	—	—	3件	3件	3件	4件	4件
	実績値	3件	3件	3件	3件	3件	4件	大会中止
スポーツ推進委員の人数	目標値	—	—	19人	19人	20人	20人	20人
	実績値	18人	18人	20人	20人	19人	21人	20人

※従前の指標「(2)スポーツ推進委員育成事業」は、(1)に統合されています。

施策4 芸術・文化活動の推進

(1) 文化祭等開催事業

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市文化祭の来場者数	目標値	—	—	3,200人	3,300人	3,400人	3,500人	3,500人
	実績値	3,316人	3,069人	2,426人	3,385人	3,146人	3,439人	107人

(2) 文化財保存・継承事業

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
手すき和紙ボランティア活動への延べ参加者数	目標値	—	—	—	—	290人	300人	300人
	実績値	203人	356人	267人	445人	334人	443人	318人

目標3－⑦ 情報発信力の向上

施策1 積極的な情報発信

(1) 市政広報事業・観光事業

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
情報発信回数 (特に、定住促進・子育て支援・観光資源等に関するもの)	目標値	—	—	12回	12回	12回	12回
	実績値	—	10回	12回	12回	12回	12回

(2) 情報公開促進事業(市議会)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
ケーブルテレビ・ホームページで発信する本会議・委員会の情報	目標値	—	—	5	6	7	7
	実績値	3	3	5	7	6	9